

尾張旭市環境基本計画策定に向けた
環境に関するアンケート
調査結果報告書

令和5年1月

尾張旭市

目次

I 調査の概要.....	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査の設計.....	1
3. 報告書の見方.....	2
II 市民調査結果.....	3
1. 回答者属性.....	3
2. あなたが住んでいる地域や尾張旭市全体の環境について.....	5
3. これからの尾張旭市の環境について.....	18
4. 環境保全に関するあなたの活動状況や行動について.....	20
5. 地球温暖化対策に関する取り組みについて.....	30
6. 生物多様性に関する取り組みについて.....	33
III 事業者調査結果.....	41
1. 回答者属性.....	41
2. 事業活動と環境保全について.....	43
3. 環境に配慮した行動の実践状況について.....	45
4. 今後の尾張旭市の環境について.....	52
5. 今後実施すべき環境保全のための施策について.....	54
IV 小学生・中学生調査結果.....	55
V 学校・保育所・幼稚園調査結果.....	64
1. 環境教育に対する取り組みについて.....	64
2. 環境教育に対する、園児・児童・生徒、保護者、地域への効果や影響について.....	69
3. 環境教育を行う際の課題について.....	71
4. 今後実施すべき環境保全のための施策について.....	72
VI 市民団体調査結果.....	73
1. 活動について.....	73
2. 環境に配慮した行動の実践状況について.....	75
3. これからの尾張旭市の環境政策について.....	80
4. 今後実施すべき環境保全のための施策について.....	81

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、「尾張旭市環境基本計画」の策定にあたり、環境政策に関するご意見を把握するため実施しました。

2. 調査の設計

- 調査対象者：①尾張旭市内在住の無作為抽出した18歳以上の市民
②尾張旭市に本社・支店を置く民間事業所
③市内の小学生（5年生）・中学生（2年生）
④市内の小中学校・保育所（小規模保育事業所を除く）・幼稚園
⑤環境に関する活動を行う市民団体

調査方法・調査期間・回収結果：以下の通り

区分	調査方法	調査期間	配布数	回収数	回収率
①市民	郵送配布 郵送回収又は WEB 回答	令和4年9月1日（木） ～9月22日（木）	2,000	823	41.1%
②事業所	郵送配布 郵送回収又は WEB 回答	令和4年9月1日（木） ～9月22日（木）	200	54	27.0%
③-1 小学生	学校で実施 WEB 回答	令和4年9月2日（金） ～9月22日（木）	各小学校の5年生1クラス 回答数：277		
③-2 中学生			各中学校の2年生1クラス 回答数：100		
④学校・保育所・幼稚園	郵送回収又は WEB 回答	令和4年9月1日（木） ～10月5日（水）	31	31	100.0%
⑤市民団体	郵送配布 郵送回収又は WEB 回答	令和4年9月1日（木） ～9月22日（木）	11	7	63.6%

3. 報告書の見方

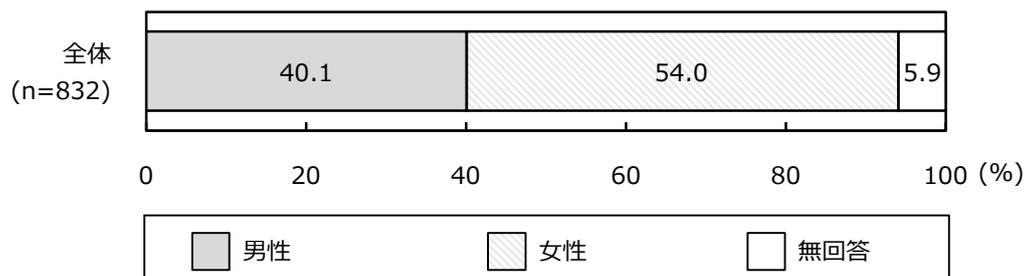
- 図表中の「n (number of case) 」は、集計対象者数を表しています。
- 回答結果は、小数第 2 位を四捨五入した有効サンプル数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0 %にならない場合があります。
- 複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。
- 図表中の「無回答」とは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 本文中の「前回調査」は平成 26 年度に実施した市民アンケートを指します。

Ⅱ 市民調査結果

1. 回答者属性

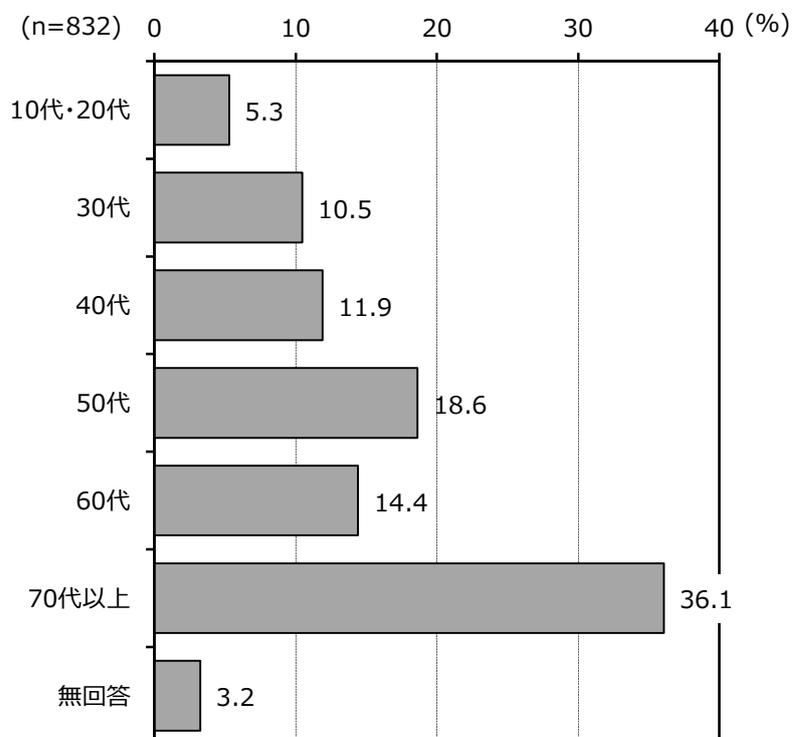
◎ 性別【単数回答】

性別では、「男性」は40.1%、「女性」は54.0%となっています。



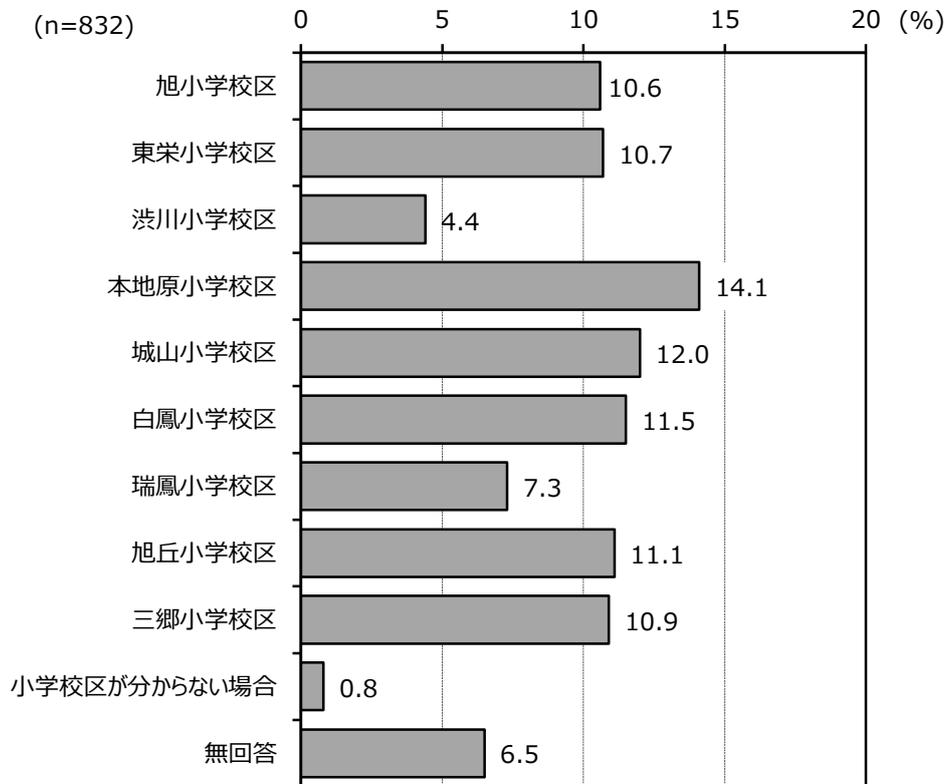
◎ 年齢【単数回答】

年齢では、70代以上が36.1%と最も高く、次いで50代が18.6%、60代が14.4%となっています。



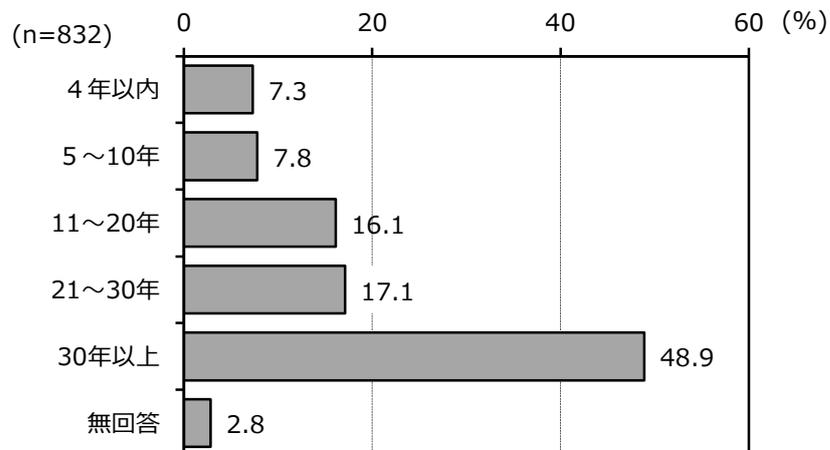
◎ お住まいの小学校区【単数回答】

居住地区では、「本地原小学校区」が 14.1%と最も高く、次いで「城山小学校区」が 12.0%、「白鳳小学校区」が 11.5%となっています。



◎ 居住年数【単数回答】

居住年数では、「30年以上」が 48.9%と最も高く、次いで「21～30年」が 17.1%、「11～20年」が 16.1%となっています。



2. あなたが住んでいる地域や尾張旭市全体の環境について

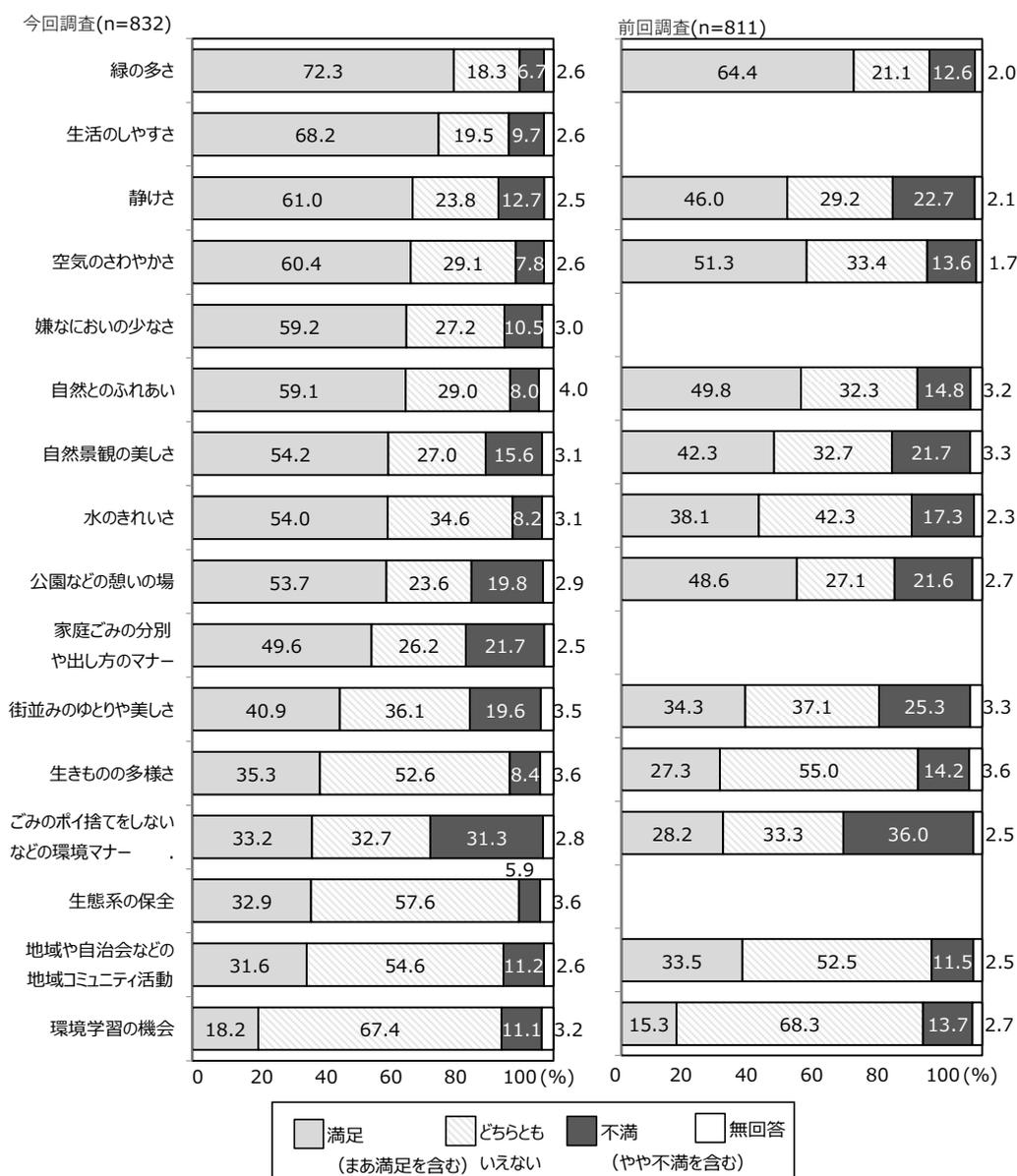
問1 環境に関する以下の各項目について、どの程度満足されていますか。また、将来の望ましい環境にどの程度重要だと思えますか。【単数回答】

I 自然や生活に関すること

<満足度>

自然や生活に関することの『満足（まあ満足を含む）』では、「緑の多さ」が72.3%と最も高く、次いで「生活のしやすさ」が68.2%、「静けさ」が61.0%となっています。一方、『不満（やや不満を含む）』では「ごみのポイ捨てをしないなどの環境マナー」が31.3%、「家庭ごみの分別や出し方のマナー」が21.7%となっています。

前回調査との比較については、満足度が「静けさ」「自然景観の美しさ」「水のきれいさ」で前回より10ポイント以上高くなっています。



年代別では、10・20代、50代、70代以上は「生活のしやすさ」が最も高くなっています。

小学校区別では、旭小学校区、渋川小学校区、三郷小学校区は「生活のしやすさ」が最も高くなっています。

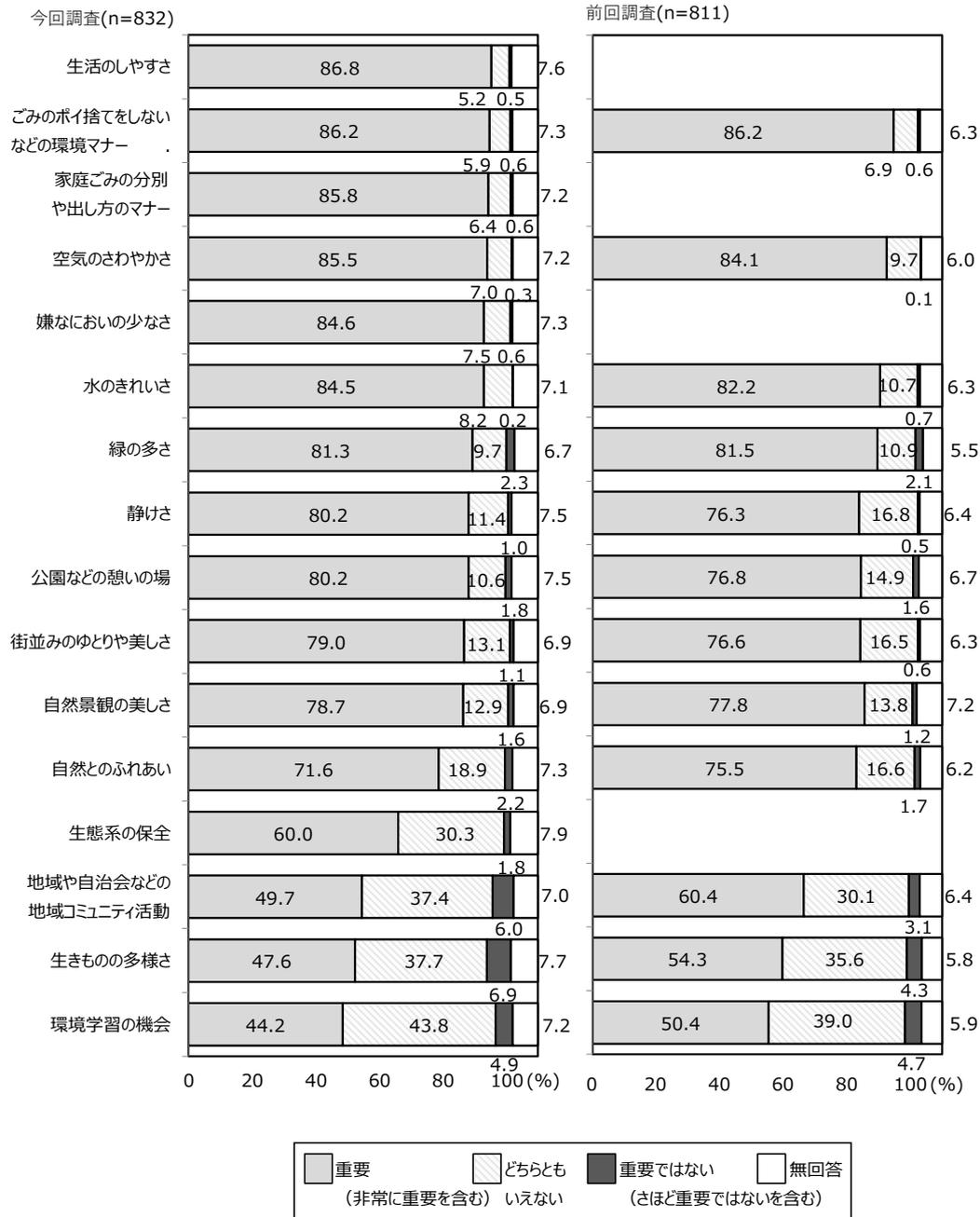
		I 自然や生活に関すること 満足度（満足+やや満足） 上位3項目		
		1	2	3
年代別	全体	緑の多さ	生活のしやすさ	静けさ
	10・20代	生活のしやすさ	緑の多さ 空気のさわやかさ	自然とのふれあい 公園などの憩いの場
	30代	緑の多さ	生活のしやすさ	静けさ
	40代	緑の多さ	生活のしやすさ	自然とのふれあい
	50代	生活のしやすさ	緑の多さ	自然とのふれあい
	60代	緑の多さ	生活のしやすさ	嫌なにおいの少なさ
	70代以上	空気のさわやかさ	緑の多さ	嫌なにおいの少なさ

		I 自然や生活に関すること 満足度（満足+やや満足） 上位3項目		
		1	2	3
小学校区別	全体	緑の多さ	生活のしやすさ	静けさ
	旭小学校区	生活のしやすさ	緑の多さ	静けさ
	東栄小学校区	緑の多さ	生活のしやすさ	空気のさわやかさ
	渋川小学校区	生活のしやすさ	緑の多さ 静けさ	公園などの憩いの場
	本地原小学校区	緑の多さ	生活のしやすさ	静けさ
	城山小学校区	緑の多さ	自然とのふれあい 公園などの憩いの場	生活のしやすさ
	白鳳小学校区	緑の多さ	生活のしやすさ	公園などの憩いの場
	瑞鳳小学校区	緑の多さ	嫌なにおいの少なさ	空気のさわやかさ
	旭丘小学校区	緑の多さ	生活のしやすさ	自然とのふれあい 自然景観の美しさ
	三郷小学校区	生活のしやすさ	緑の多さ	空気のさわやかさ

<重要度>

自然や生活に関することの『重要（非常に重要を含む）』では、「生活のしやすさ」が86.8%と最も高く、次いで「ごみのポイ捨てをしないなどの環境マナー」が86.2%、「家庭ごみの分別や出し方のマナー」が85.8%となっています。

前回調査との比較については、重要度が「地域や自治会などの地域コミュニティ活動」で前回より10ポイント以上低くなっています。



年代別では、「生活のしやすさ」と合わせて、10・20代は「ごみのポイ捨てをしないなどの環境マナー」、50代は「水のきれいさ」「ごみのポイ捨てをしないなどの環境マナー」「家庭ごみの分別や出し方のマナー」も、最も高くなっています。また、60代は「ごみのポイ捨てをしないなどの環境マナー」、70代以上は「家庭ごみの分別や出し方のマナー」が、それぞれ最も高くなっています。

小学校区別では、「生活のしやすさ」と合わせて、旭小学校区は「嫌なにおいの少なさ」も最も高くなっています。また、東栄小学校区は「空気のさわやかさ」「家庭ごみの分別や出し方のマナー」、渋川小学校区は「ごみのポイ捨てをしないなどの環境マナー」「家庭ごみの分別や出し方のマナー」、本地原小学校区と三郷小学校区は「ごみのポイ捨てをしないなどの環境マナー」、瑞鳳小学校区は「水のきれいさ」、旭丘小学校区は「嫌なにおいの少なさ」がそれぞれ最も高くなっています。

		I 自然や生活に関すること 重要度（非常に重要+重要） 上位3項目		
		1	2	3
年代別	全体	生活のしやすさ	ごみのポイ捨てをしないなどの環境マナー	家庭ごみの分別や出し方のマナー
	10歳・20代	生活のしやすさ ごみのポイ捨てをしないなどの環境マナー	街並みのゆとりや美しさ 嫌なにおいの少なさ	水のきれいさ 空気のさわやかさ 家庭ごみの分別や出し方のマナー
	30代	生活のしやすさ	嫌なにおいの少なさ	ごみのポイ捨てをしないなどの環境マナー 家庭ごみの分別や出し方のマナー
	40代	嫌なにおいの少なさ	空気のさわやかさ	生活のしやすさ
	50代	生活のしやすさ 水のきれいさ ごみのポイ捨てをしないなどの環境マナー 家庭ごみの分別や出し方のマナー	嫌なにおいの少なさ	空気のさわやかさ
	60代	ごみのポイ捨てをしないなどの環境マナー	水のきれいさ	生活のしやすさ 空気のさわやかさ
	70代以上	家庭ごみの分別や出し方のマナー	ごみのポイ捨てをしないなどの環境マナー	生活のしやすさ 空気のさわやかさ

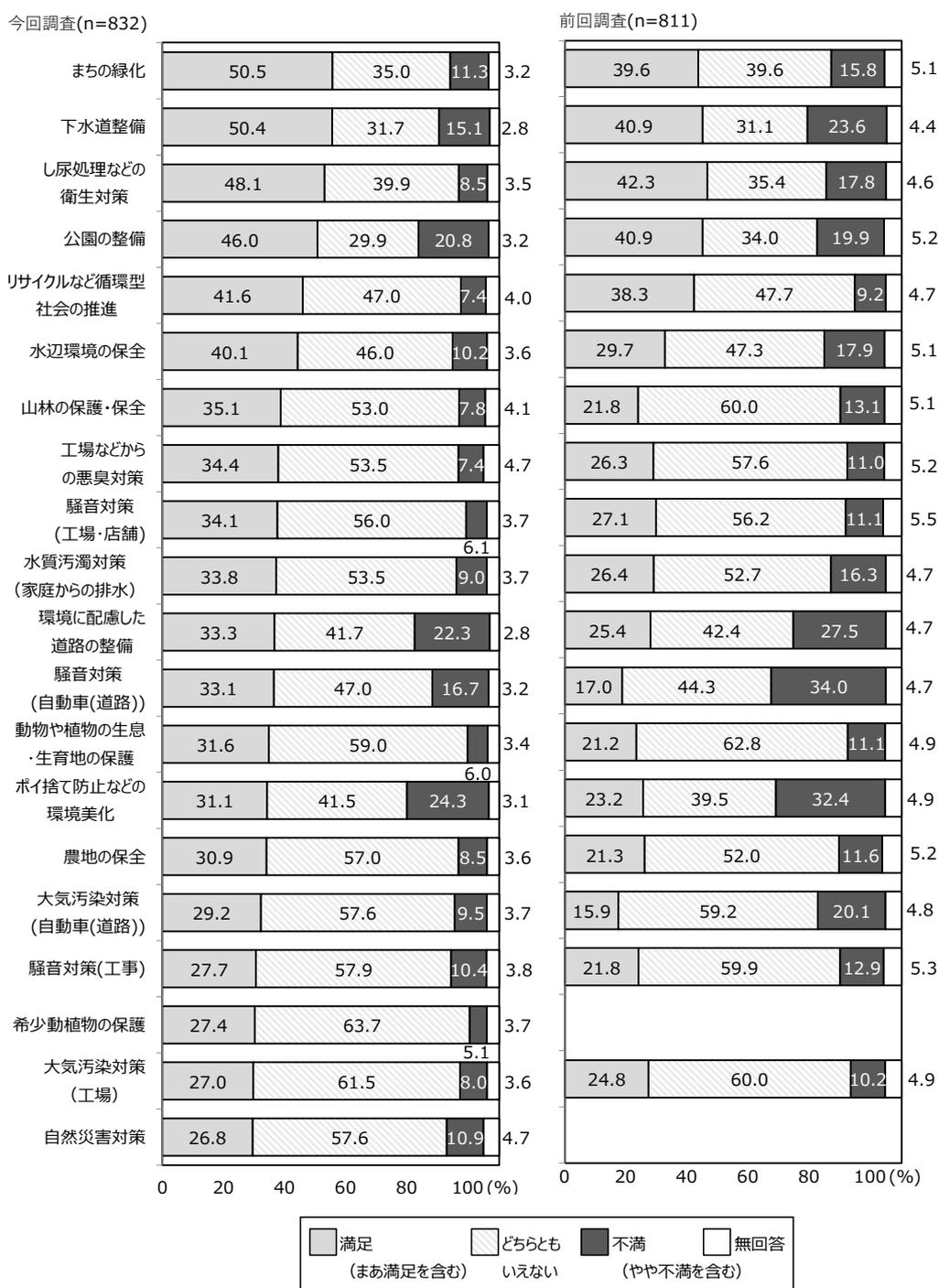
		I 自然や生活に関すること 重要度（非常に重要+重要） 上位3項目		
		1	2	3
小学校区別	全体	生活のしやすさ	ごみのポイ捨てをしないなどの環境マナー	家庭ごみの分別や出し方のマナー
	旭小学校区	生活のしやすさ 嫌なにおいの少なさ	ごみのポイ捨てをしないなどの環境マナー	家庭ごみの分別や出し方のマナー
	東栄小学校区	空気のさわやかさ 家庭ごみの分別や出し方のマナー	緑の多さ ごみのポイ捨てをしないなどの環境マナー	生活のしやすさ
	渋川小学校区	ごみのポイ捨てをしないなどの環境マナー 家庭ごみの分別や出し方のマナー	生活のしやすさ	嫌なにおいの少なさ
	本地原小学校区	ごみのポイ捨てをしないなどの環境マナー	生活のしやすさ	家庭ごみの分別や出し方のマナー
	城山小学校区	生活のしやすさ	空気のさわやかさ ごみのポイ捨てをしないなどの環境マナー 家庭ごみの分別や出し方のマナー	水のきれいさ 嫌なにおいの少なさ
	白鳳小学校区	生活のしやすさ	緑の多さ	空気のさわやかさ 嫌なにおいの少なさ 家庭ごみの分別や出し方のマナー
	瑞鳳小学校区	水のきれいさ	空気のさわやかさ	生活のしやすさ
	旭丘小学校区	嫌なにおいの少なさ	空気のさわやかさ	水のきれいさ
	三郷小学校区	ごみのポイ捨てをしないなどの環境マナー	家庭ごみの分別や出し方のマナー	水のきれいさ

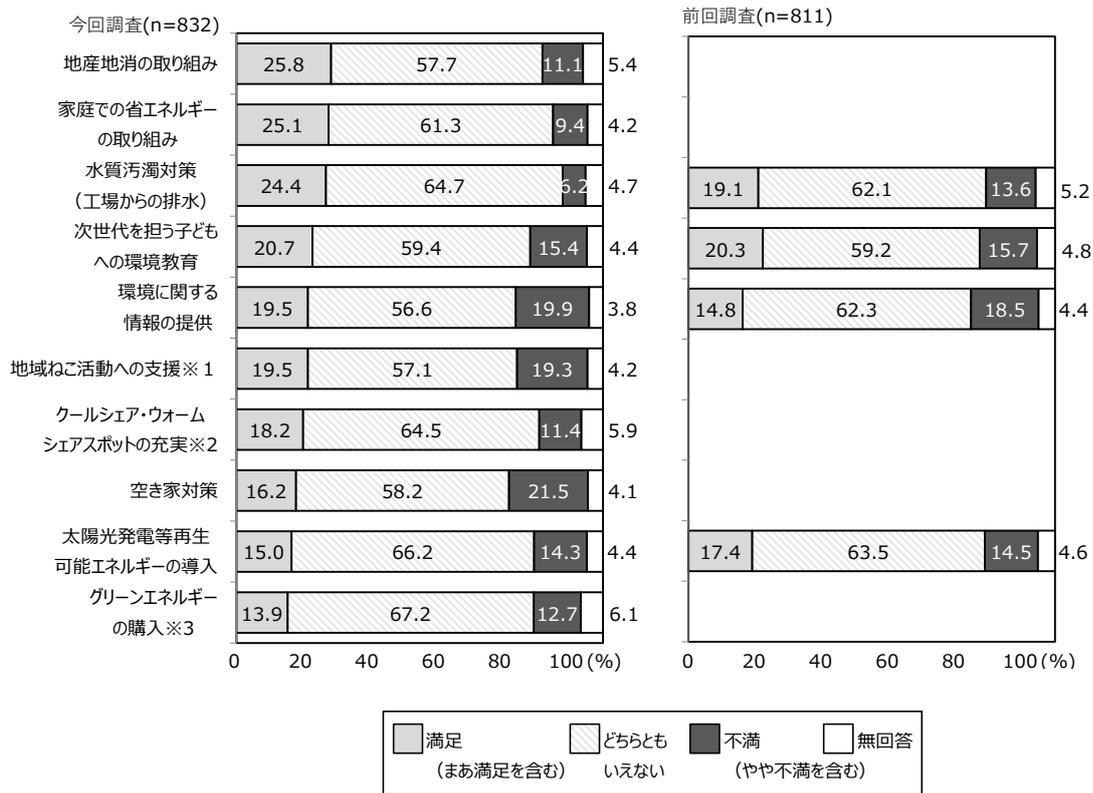
II 行政の取り組みに関すること

<満足度>

行政の取り組みに関することの『満足（まあ満足を含む）』では、「まちの緑化」が50.5%と最も高く、次いで「下水道整備」が50.4%、「し尿処理などの衛生対策」が48.1%となっています。一方、『不満（やや不満を含む）』では「ポイ捨て防止などの環境美化」が24.3%、「環境に配慮した道路の整備」が22.3%、「空き家対策」が21.5%となっています。

前回調査との比較については、満足度が「まちの緑化」「山林の保護・保全」「騒音対策（自動車（道路））」「大気汚染対策（自動車（道路））」で前回より10ポイント以上高くなっています。





- ※1 地域ねこ活動：野良猫（飼い主のいない猫）に避妊・去勢手術を施して繁殖を防ぎ、一代限りの命を全うするまでその地域で衛生的に管理する活動のこと。
- ※2 クールシェア・ウォームシェアスポット：涼や暖を分かち合って過ごすことのできる冷暖房のある公共施設や民間施設のこと。家庭でのエアコン使用を止めることで節電対策につながる。
- ※3 グリーンエネルギー：石油などの化石由来のエネルギーではなく、太陽光、風力、水力、地熱、バイオマス等から作られるエネルギーのこと。

年代別では、「まちの緑化」と合わせて、10・20代、30代は「公園の整備」、60代は「下水道整備」も、最も高くなっています。また、70代以上は「下水道整備」が最も高くなっています。

小学校区別では、東栄小学校区、本地原小学校区、瑞鳳小学校区、旭丘小学校区、三郷小学校区は「下水道整備」、城山小学校区は「公園の整備」が、それぞれ最も高くなっています。

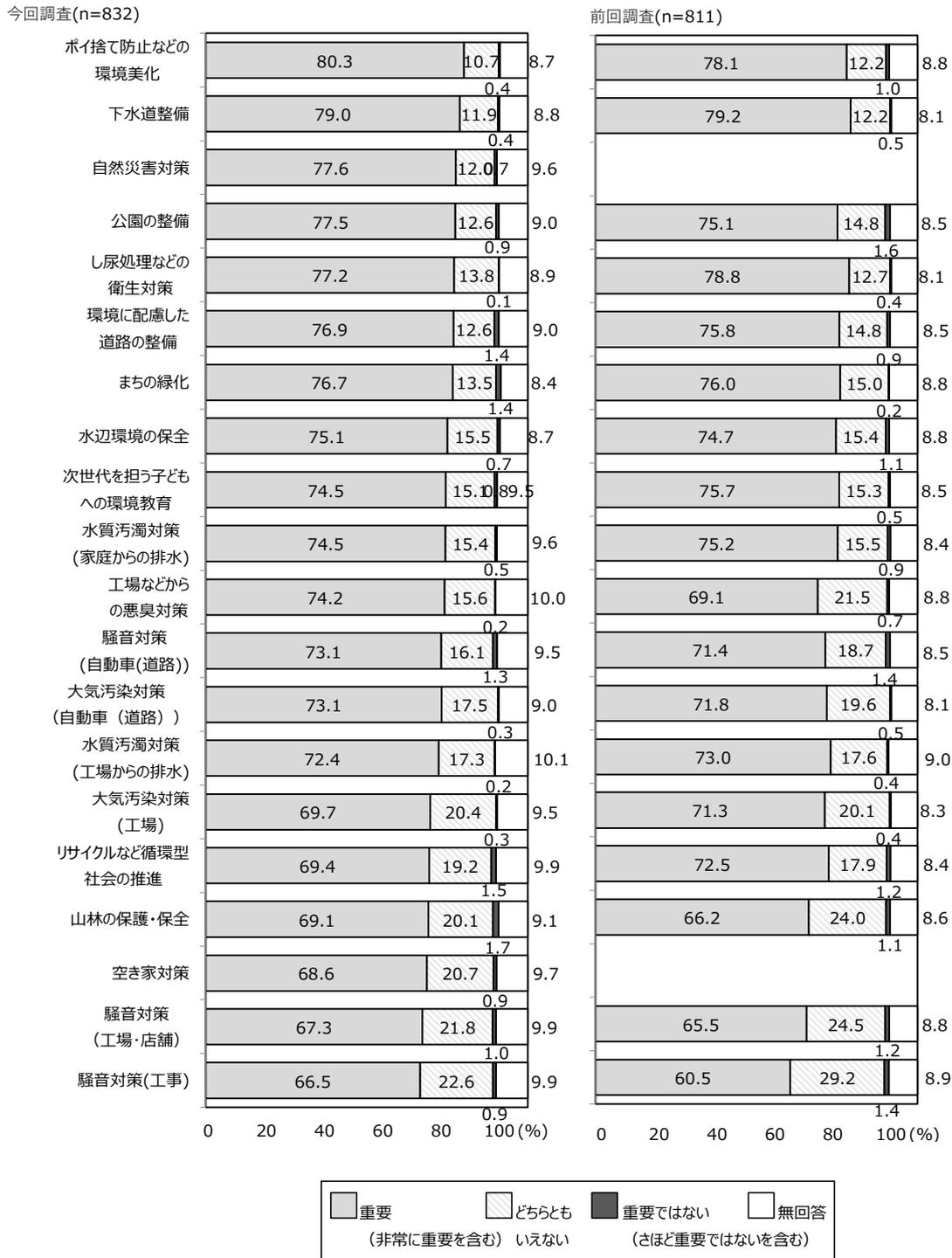
		II 行政の取り組みに関すること 満足度（満足+やや満足） 上位3項目		
		1	2	3
年代別	全体	まちの緑化	下水道整備	し尿処理などの衛生対策
	10歳・20代	まちの緑化 公園の整備	下水道整備	工場などからの悪臭対策 リサイクルなど循環型社会の推進
	30代	まちの緑化 公園の整備	リサイクルなど循環型社会の推進	山林の保護・保全
	40代	まちの緑化	し尿処理などの衛生対策	水辺環境の保全
	50代	まちの緑化	下水道整備	し尿処理などの衛生対策
	60代	まちの緑化 下水道整備	し尿処理などの衛生対策	公園の整備
	70代以上	下水道整備	し尿処理などの衛生対策	まちの緑化

		II 行政の取り組みに関すること 満足度（満足+やや満足） 上位3項目		
		1	2	3
小学校区別	全体	まちの緑化	下水道整備	し尿処理などの衛生対策
	旭小学校区	まちの緑化	公園の整備	リサイクルなど循環型社会の推進
	東栄小学校区	下水道整備	まちの緑化	公園の整備
	渋川小学校区	まちの緑化	公園の整備 リサイクルなど循環型社会の推進	下水道整備 工場などからの悪臭対策
	本地原小学校区	下水道整備	し尿処理などの衛生対策	まちの緑化
	城山小学校区	公園の整備	まちの緑化	し尿処理などの衛生対策
	白鳳小学校区	まちの緑化	公園の整備	し尿処理などの衛生対策
	瑞鳳小学校区	下水道整備	し尿処理などの衛生対策	まちの緑化
	旭丘小学校区	下水道整備	まちの緑化	し尿処理などの衛生対策
	三郷小学校区	下水道整備	し尿処理などの衛生対策	まちの緑化

<重要度>

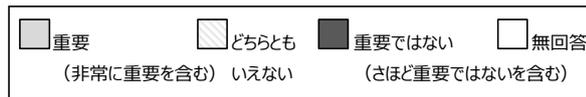
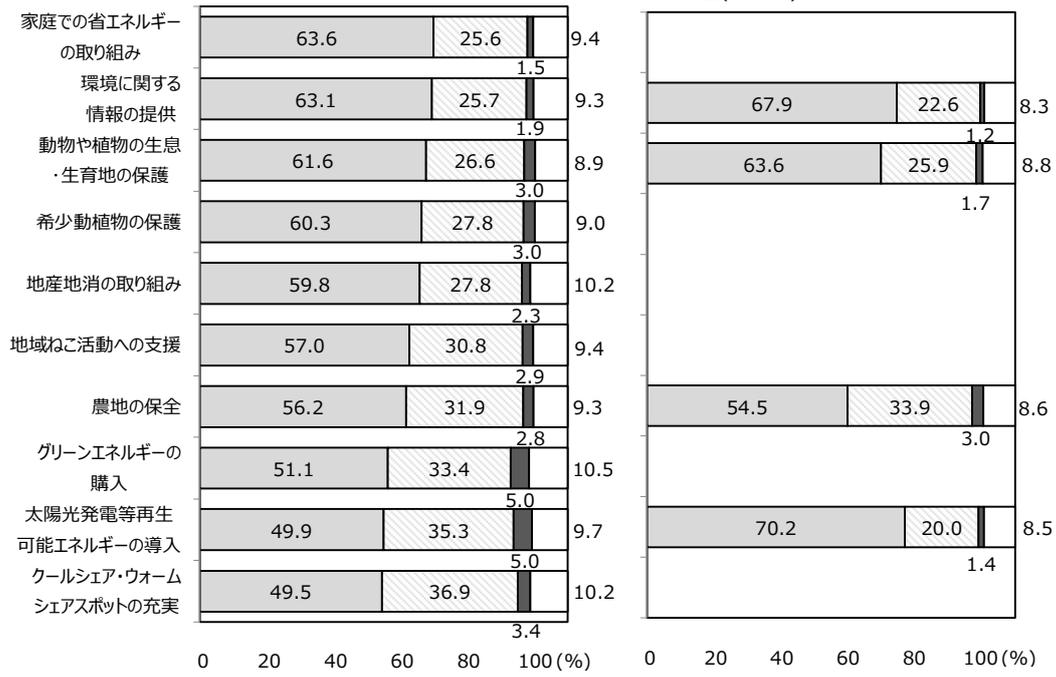
行政の取り組みに関することの『重要（非常に重要を含む）』では、「ポイ捨て防止などの環境美化」が80.3%と最も高く、次いで「下水道整備」が79.0%、「自然災害対策」が77.6%、「公園の整備」が77.5%となっています。

前回調査との比較については、「太陽光発電等再生可能エネルギーの導入」が前回より10ポイント以上低くなっています。



今回調査(n=832)

前回調査(n=811)



年代別では、「ポイ捨て防止などの環境美化」と合わせて、10・20代は「希少動植物の保護」「山林の保護・保全」「環境に配慮した道路の整備」「自然災害対策」も、最も高くなっています。30代は「公園の整備」が最も高くなっています。60代、70代以上は「下水道整備」が最も高くなっています。

小学校区別では、「ポイ捨て防止などの環境美化」と合わせて、本地原小学校区は「下水道整備」「自然災害対策」「次世代を担う子どもへの環境教育」、三郷小学校は「騒音対策（自動車（道路））」も、最も高くなっています。城山小学校区は「し尿処理などの衛生対策」「下水道整備」、瑞鳳小学校区では「下水道整備」、旭丘小学校区では「まちの緑化」「環境に配慮した道路の整備」「下水道整備」が、それぞれ最も高くなっています。

		Ⅱ 行政の取り組みに関すること 重要度（非常に重要+重要） 上位3項目		
		1	2	3
年代別	全体	ポイ捨て防止などの環境美化	下水道整備	自然災害対策
	10歳・20代	希少動植物の保護 山林の保護・保全 環境に配慮した道路の整備 ポイ捨て防止などの環境美化 自然災害対策	公園の整備 水辺環境の保全	大気汚染対策（自動車（道路）） 水質汚濁対策（家庭からの排水） 水質汚濁対策（工場からの排水）
	30代	公園の整備	自然災害対策	ポイ捨て防止などの環境美化
	40代	ポイ捨て防止などの環境美化	自然災害対策	環境に配慮した道路の整備 し尿処理などの衛生対策
	50代	ポイ捨て防止などの環境美化	し尿処理などの衛生対策	水質汚濁対策（家庭からの排水） 水質汚濁対策（工場からの排水） 工場などからの悪臭対策
	60代	下水道整備	ポイ捨て防止などの環境美化	まちの緑化
	70代以上	下水道整備	まちの緑化	公園の整備 ポイ捨て防止などの環境美化 し尿処理などの衛生対策

		Ⅱ 行政の取り組みに関すること 重要度（非常に重要+重要） 上位3項目		
		1	2	3
小学校区別	全体	ポイ捨て防止などの環境美化	下水道整備	自然災害対策
	旭小学校区	ポイ捨て防止などの環境美化	公園の整備	下水道整備
	東栄小学校区	ポイ捨て防止などの環境美化	自然災害対策	まちの緑化 公園の整備
	渋川小学校区	ポイ捨て防止などの環境美化	環境に配慮した道路の整備	大気汚染対策（自動車（道路））
	本地原小学校区	ポイ捨て防止などの環境美化 下水道整備 自然災害対策 次世代を担う子どもへの環境教育	環境に配慮した道路の整備	まちの緑化 公園の整備 し尿処理などの衛生対策 水質汚濁対策（家庭からの排水）
	城山小学校区	し尿処理などの衛生対策 下水道整備	ポイ捨て防止などの環境美化 自然災害対策	工場などからの悪臭対策
	白鳳小学校区	ポイ捨て防止などの環境美化	し尿処理などの衛生対策 下水道整備	公園の整備
	瑞鳳小学校区	下水道整備	空き家対策	自然災害対策
	旭丘小学校区	まちの緑化 環境に配慮した道路の整備 下水道整備	水辺環境の保全 自然災害対策	し尿処理などの衛生対策 水質汚濁対策（家庭からの排水）
	三郷小学校区	ポイ捨て防止などの環境美化 騒音対策（自動車（道路））	環境に配慮した道路の整備	公園の整備 下水道整備

**問2 問1の「Ⅱ 行政の取り組みに関すること」の各項目のうち、あなたが特に重要であると思
うもの【複数回答（3つまで）】**

行政の取り組みに関することのうち特に重要であると思うものでは、「自然災害対策」が30.9%と最も高く、次いで「公園の整備」が21.4%、「環境に配慮した道路の整備」が20.9%となっています。

前回調査との比較については、前回調査よりも自然災害への対策や公共設備や道路などハード面への整備が求められています。



前回調査(n=811)



年代別では、30代は「公園の整備」が最も高くなっています。

小学校区別では、「自然災害対策」と合わせて、渋川小学校区は「公園の整備」も、最も高くなっています。

		行政に関するこのうち、特に重要だと思うこと 上位3項目		
		1	2	3
年代別	全体	自然災害対策	公園の整備	環境に配慮した道路の整備
	10歳・20代	自然災害対策	環境に配慮した道路の整備	まちなみ緑化 ポイ捨て防止などの環境美化
	30代	公園の整備	自然災害対策	次世代を担う子どもへの環境教育
	40代	自然災害対策	公園の整備	環境に配慮した道路の整備
	50代	自然災害対策	環境に配慮した道路の整備	公園の整備
	60代	自然災害対策	環境に配慮した道路の整備 下水道整備 次世代を担う子どもへの環境教育	ポイ捨て防止などの環境美化
	70代以上	自然災害対策	次世代を担う子どもへの環境教育	下水道整備

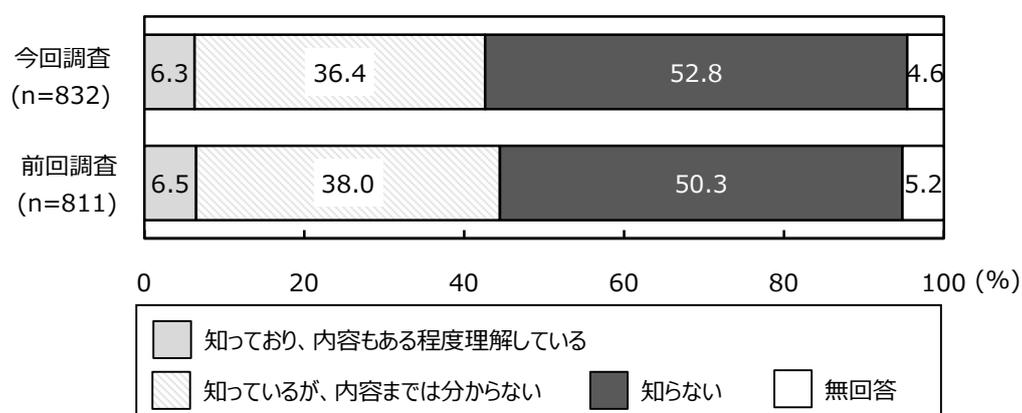
		行政に関するこのうち、特に重要だと思うこと 上位3項目		
		1	2	3
小学校区別	全体	自然災害対策	公園の整備	環境に配慮した道路の整備
	旭小学校区	自然災害対策	環境に配慮した道路の整備	下水道整備
	東栄小学校区	自然災害対策	公園の整備	次世代を担う子どもへの環境教育
	渋川小学校区	自然災害対策 公園の整備	動物や植物の生息・生育地の保護 まちなみ緑化	水辺環境の保全 環境に配慮した道路の整備
	本地原小学校区	自然災害対策	まちなみ緑化	公園の整備
	城山小学校区	自然災害対策	次世代を担う子どもへの環境教育	公園の整備
	白鳳小学校区	自然災害対策	次世代を担う子どもへの環境教育	下水道整備
	瑞鳳小学校区	自然災害対策	次世代を担う子どもへの環境教育	環境に配慮した道路の整備
	旭丘小学校区	自然災害対策	環境に配慮した道路の整備	公園の整備
	三郷小学校区	自然災害対策	公園の整備 環境に配慮した道路の整備	次世代を担う子どもへの環境教育

3. これからの尾張旭市の環境について

問3 あなたは、「尾張旭市環境基本計画」についてご存知ですか。【単数回答】

「尾張旭市環境基本計画」の認知度では、「知らない」が52.8%と最も高く、次いで「知っているが、内容までは分からない」が36.4%、「知っており、内容もある程度理解している」が6.3%となっています。

前回調査との比較については、大きな差は見られませんでした。

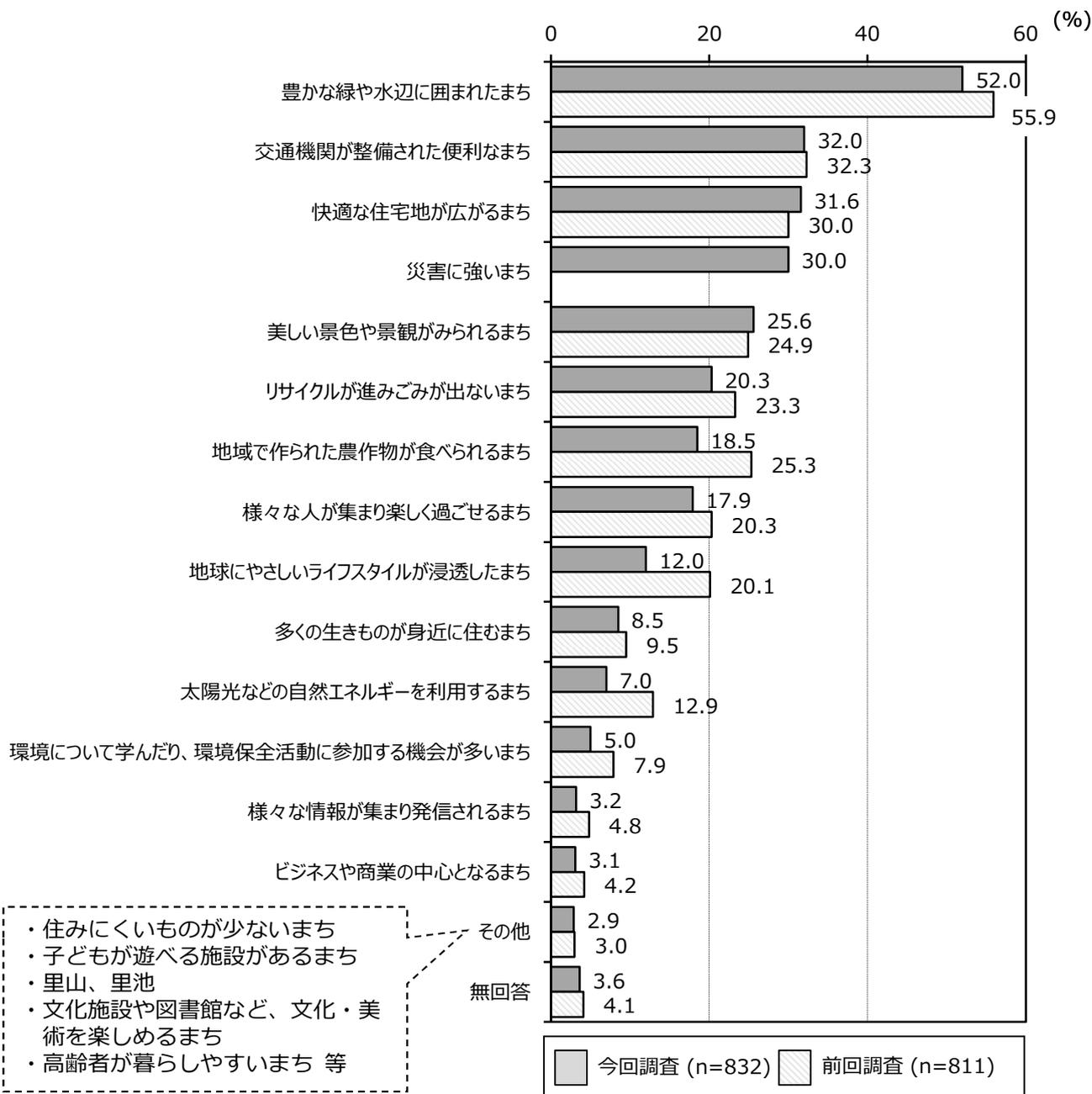


問4 将来の尾張旭市の環境を表すキーワードとして何をイメージしますか。

【複数回答（3つまで）】

将来の環境を表すキーワードのイメージでは、「豊かな緑や水辺に囲まれたまち」が52.0%と最も高く、次いで「交通機関が整備された便利なまち」が32.0%、「快適な住宅地が広がるまち」が31.6%となっています。

前回調査との比較については、「地球にやさしいライフスタイルが浸透したまち」が8.1ポイント低くなっています。



※前回調査には「災害に強いまち」の項目の設定なし

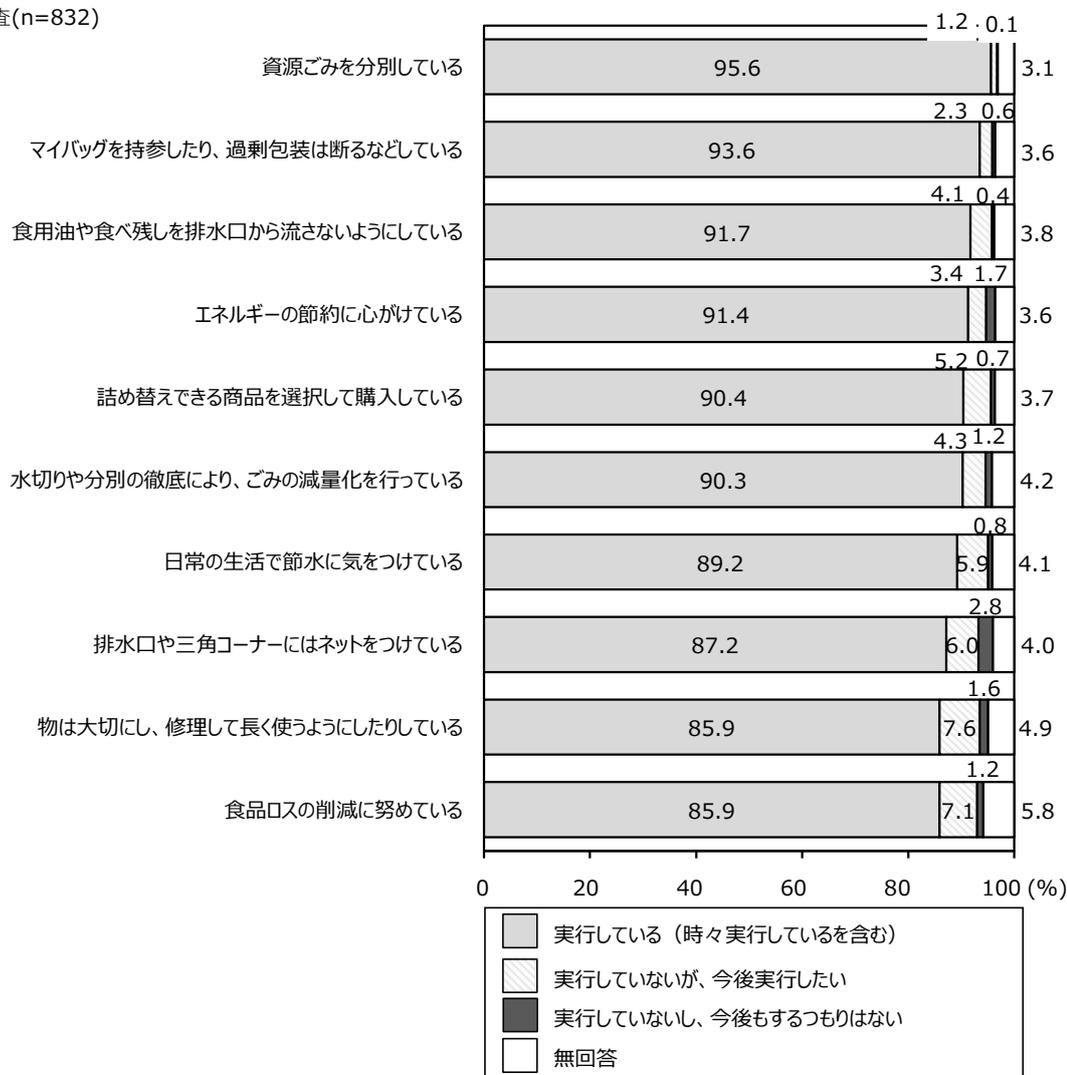
4. 環境保全に関するあなたの活動状況や行動について

問5 あなたは、よりよい環境づくりのために普段どのようなことを行っていますか。【単数回答】

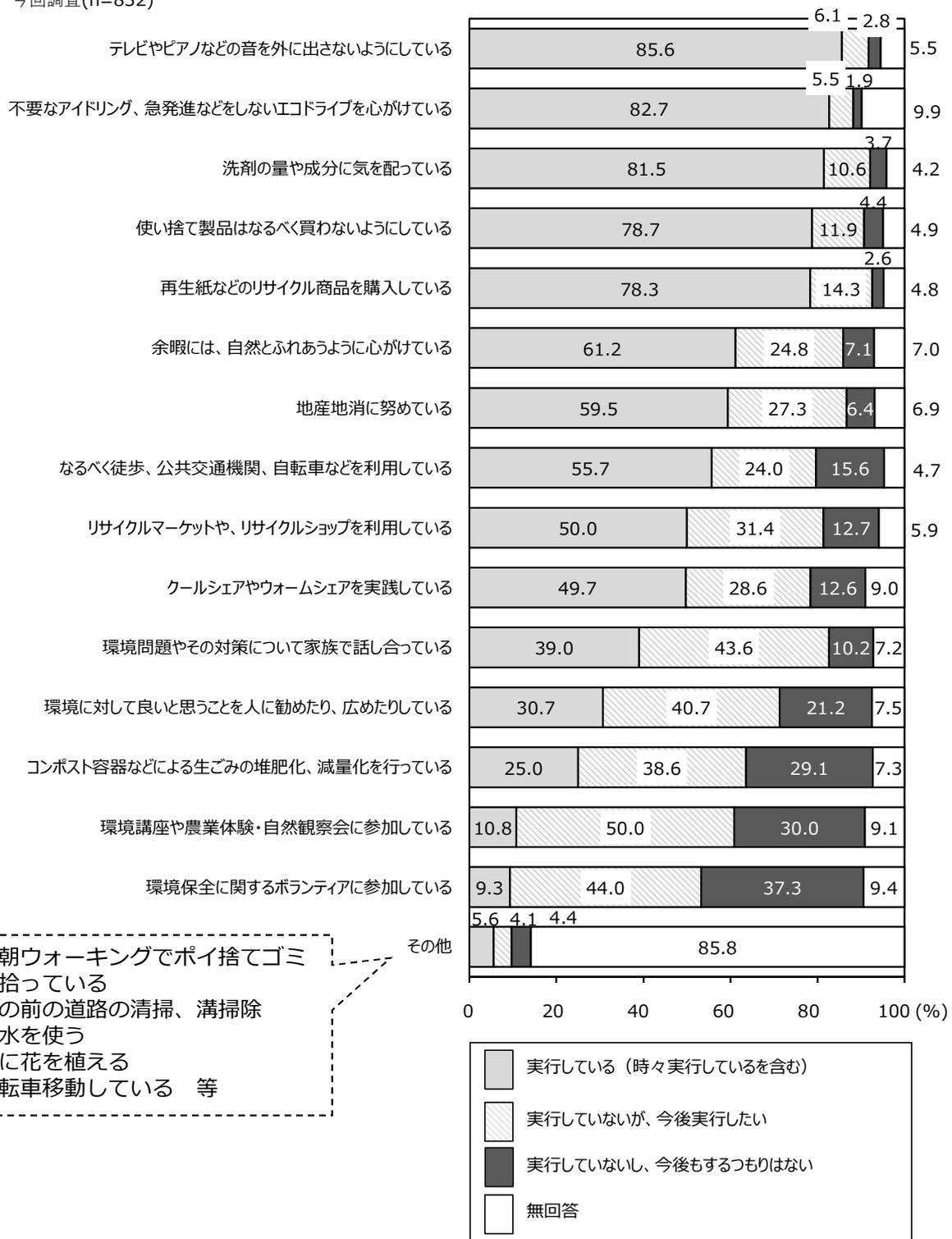
環境づくりのために普段行っていることでは、『実行している（時々実行しているを含む）』で「資源ごみを分別している」が95.6%と最も高く、次いで「マイバッグを持参したり、過剰包装は断るなどしている」が93.6%、「食用油や食べ残しを排水口から流さないようにしている」が91.7%となっています。一方、『実行していないし、今後もしないつもりはない』で「環境保全に関するボランティアに参加している」が37.3%と最も高くなっています。

前回調査との比較については、『実行している（時々実行しているを含む）』が「テレビやピアノなどの音を外に出さないようにしている」「リサイクルマーケットや、リサイクルショップを利用している」で前回より10ポイント前後高くなっています。

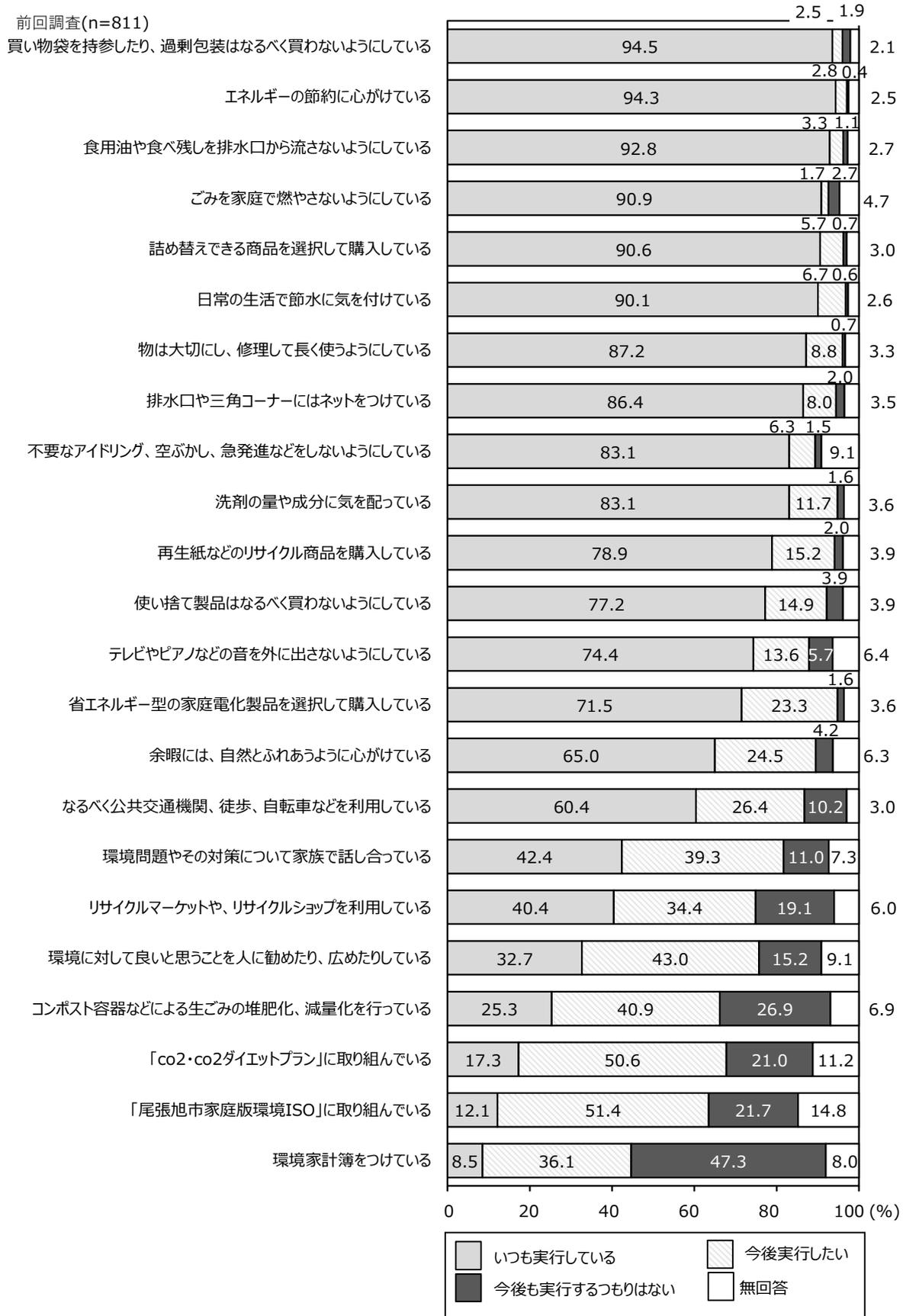
今回調査(n=832)



今回調査(n=832)



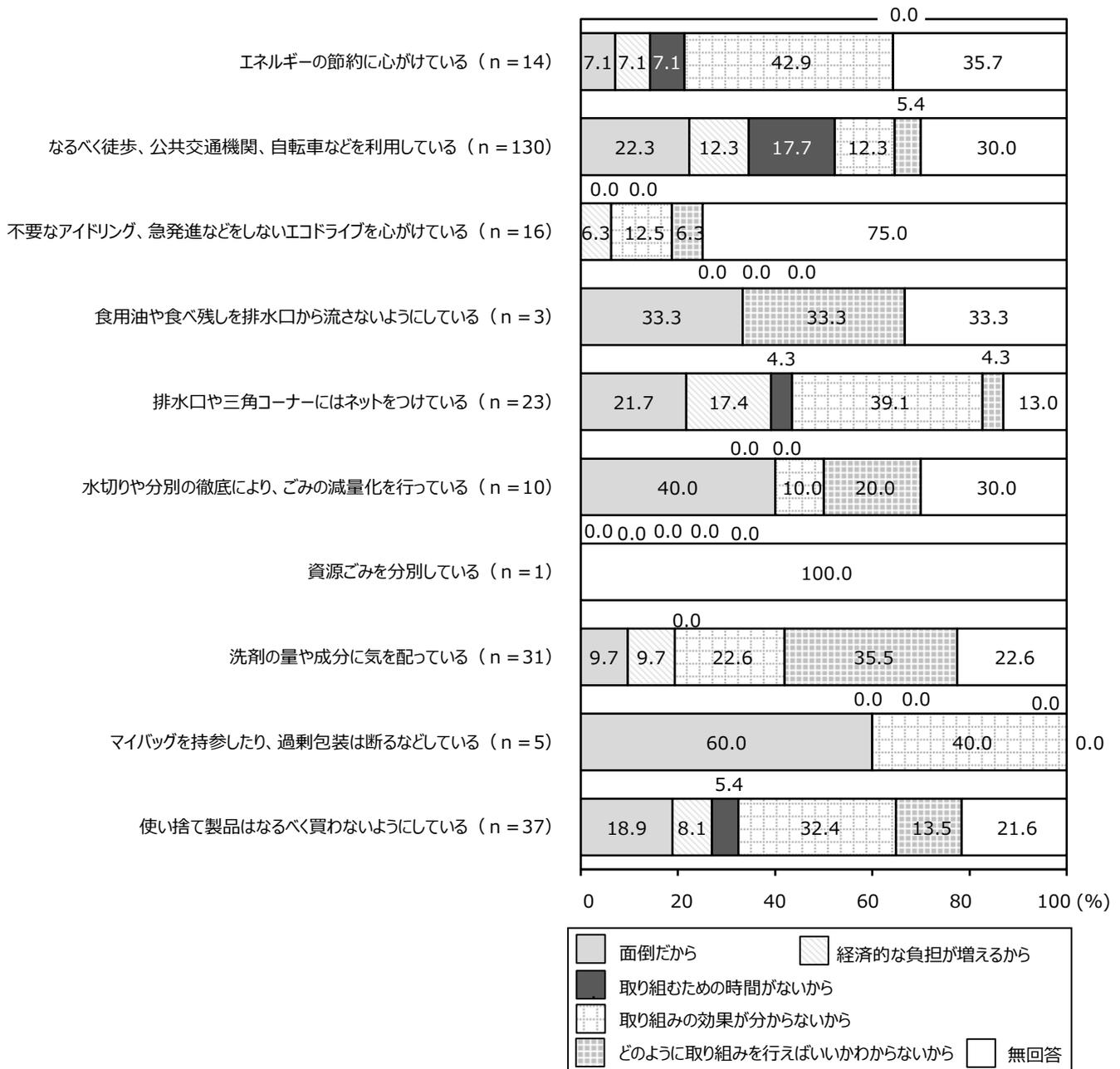
- ・早朝ウォーキングでポイ捨てゴミを拾っている
- ・家の前の道路の清掃、溝掃除
- ・雨水を使う
- ・庭に花を植える
- ・自転車移動している 等

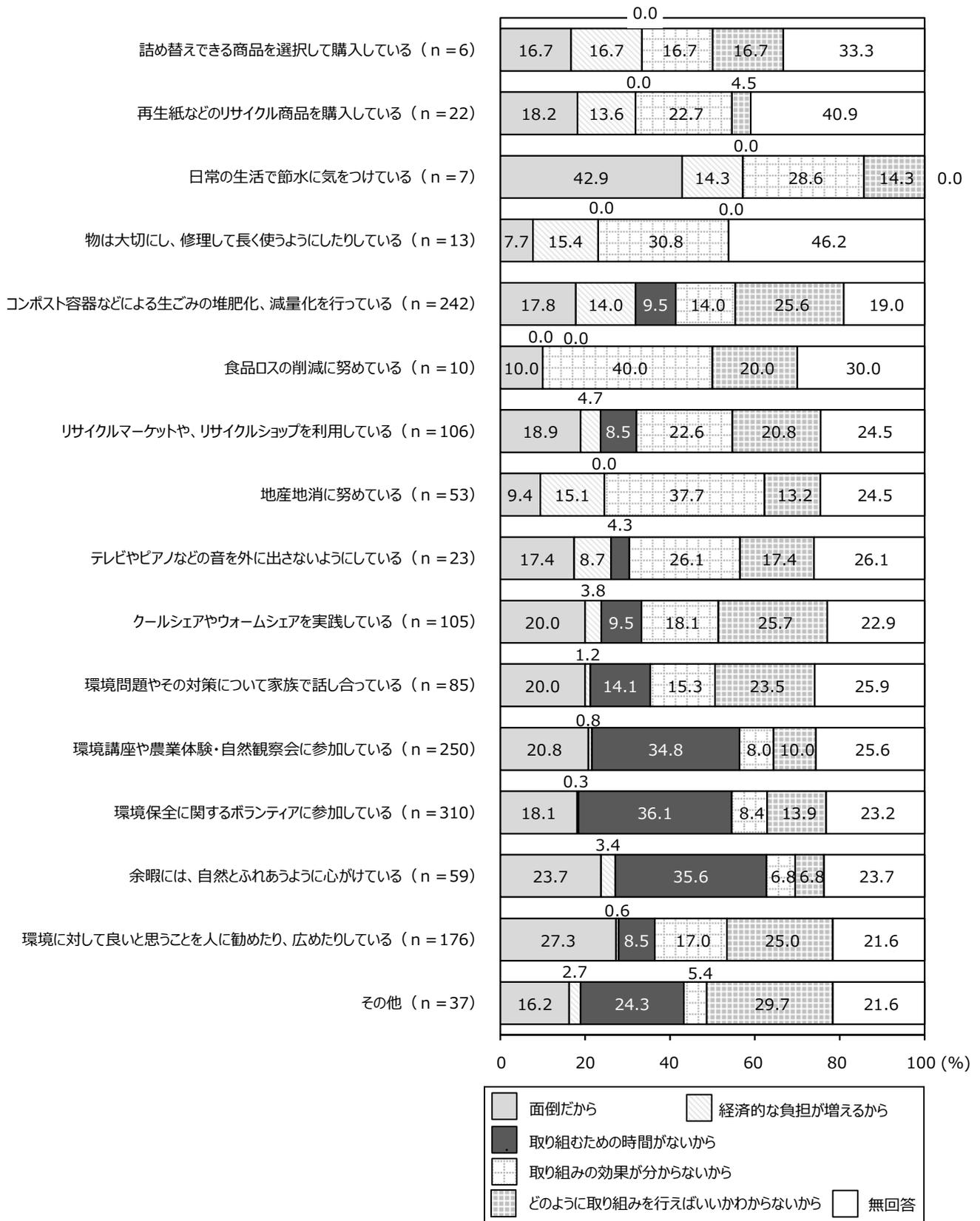


【実行していないし、今後もするつもりはない理由】

(問5で「実行していないし、今後もするつもりはない」と回答した方のみ)

実行していないし、今後もするつもりはない理由では、回答者数が200件を超えるものに注目すると、「コンポスト容器などによる生ごみの堆肥化、減量化を行っている」で『どのように取り組みを行えばいいかわからないから』、「環境講座や農業体験・自然観察会に参加している」「環境保全に関するボランティアに参加している」で『取り組むための時間がないから』が最も高くなっています。

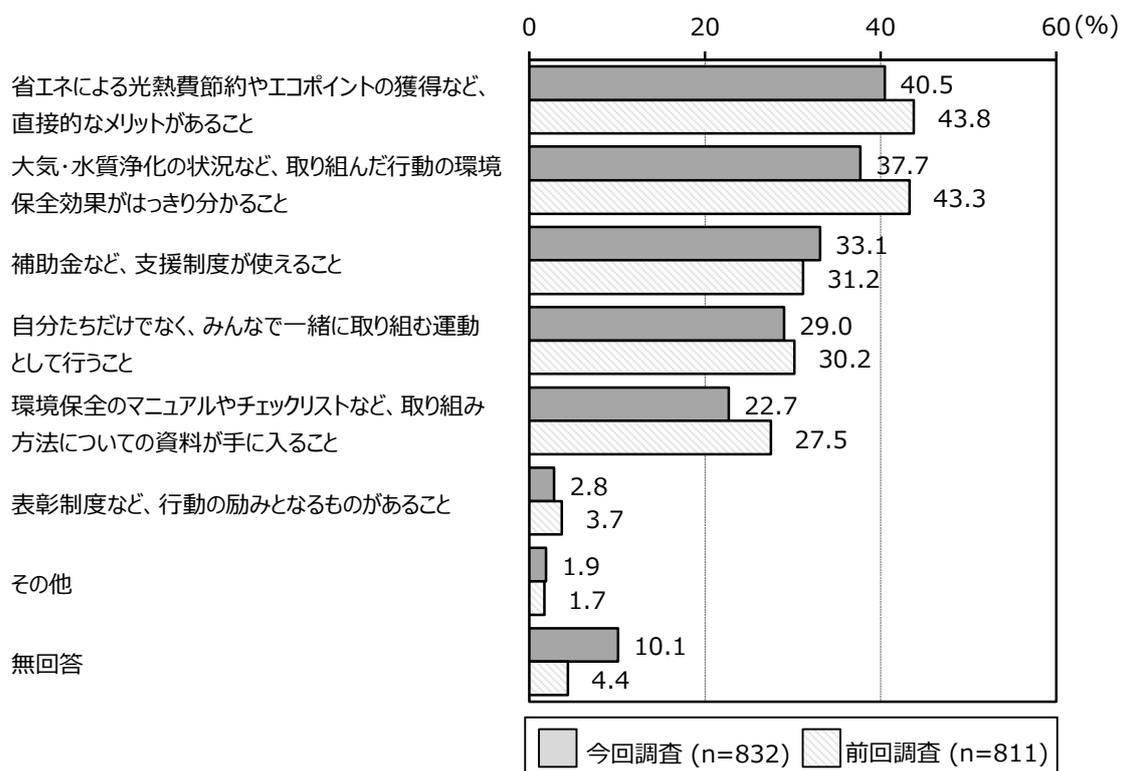




問6 問5にあげた項目について、より積極的に取り組むには、どのようなことが必要だと思いますか。【複数回答（2つまで）】

積極的な取り組みに必要だと思うことでは、「省エネによる光熱費節約やエコポイントの獲得など、直接的なメリットがあること」が40.5%と最も高く、次いで「大気・水質浄化の状況など、取り組んだ行動の環境保全効果がはっきり分かること」が37.7%、「補助金など、支援制度が使えること」が33.1%となっています。

前回調査との比較については、10ポイント以上変化のある項目はありませんでした。

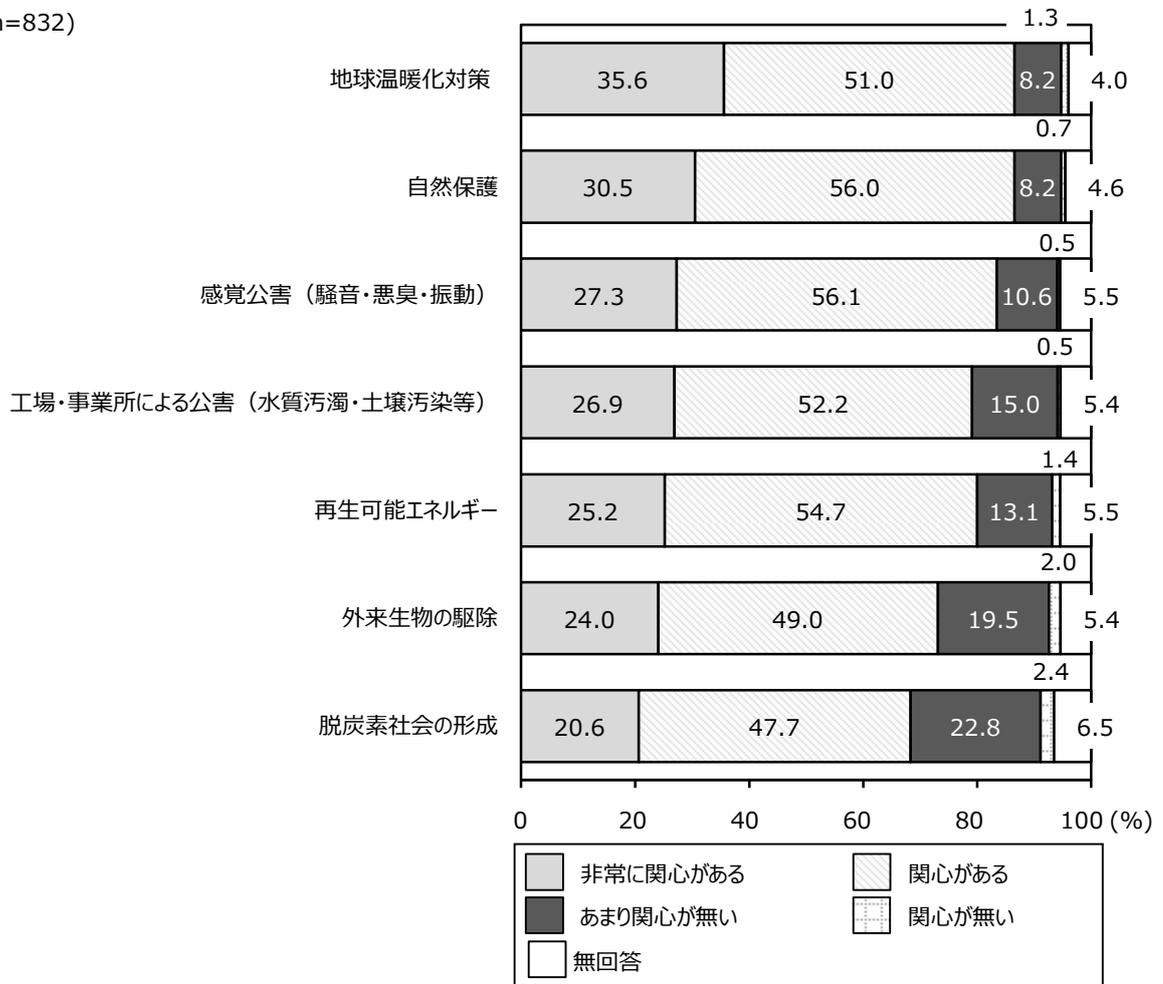


- ※その他の回答
- ・幼稚園や学校、家庭での子どもへの教育により、知識や取り組み方法を身に付け、習慣化させること
 - ・個人のお願いベースでは無理なので、企業、販売店から強制、ルール化して取り組めないか
 - ・町内会を活用して市民（町内の）に訴える行動を
 - ・わかりやすい説明の場
 - ・市民への教育・情報の提供 等

問7 あなたは、環境に関する以下の取り組みについて、どのくらい関心がありますか。【単数回答】

関心のある環境に関する取り組みでは、すべての項目において『関心がある』が最も高く、『非常に関心がある』と『関心がある』を合わせると「地球温暖化対策」が86.6%と最も高く、次いで「自然保護」が86.5%、「感覚公害（騒音・悪臭・振動）」が83.4%となっています。

(n=832)

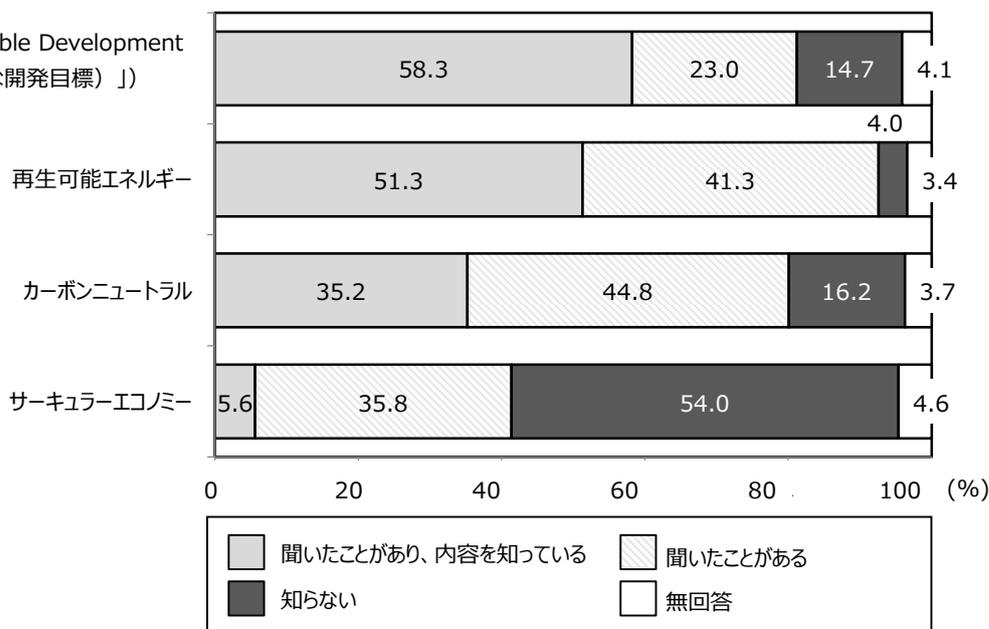


問8 あなたは、環境保全の取り組みに関する次の用語をご存知ですか。【単数回答】

環境保全に関する用語の認知度では、『聞いたことがあり、内容を知っている』で「SDGs（「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」）」が58.3%と最も高く、次いで「再生可能エネルギー」が51.3%となっています。一方、『知らない』で「サーキュラーエコノミー」が54.0%と最も高くなっています。

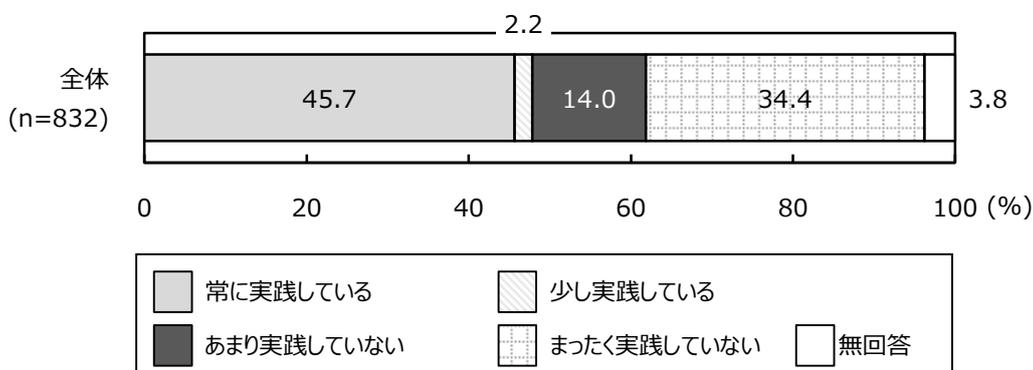
(n=832)

SDGs（「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」）



問9 あなたは、家庭や仕事などの日常生活において、SDGsを意識した取り組みを実践していますか。【単数回答】

日常生活においてSDGを意識した取り組みを実践しているかでは、「常に実践している」が45.7%と最も高く、次いで「まったく実践していない」が34.4%、「あまり実践していない」が14.0%となっています。

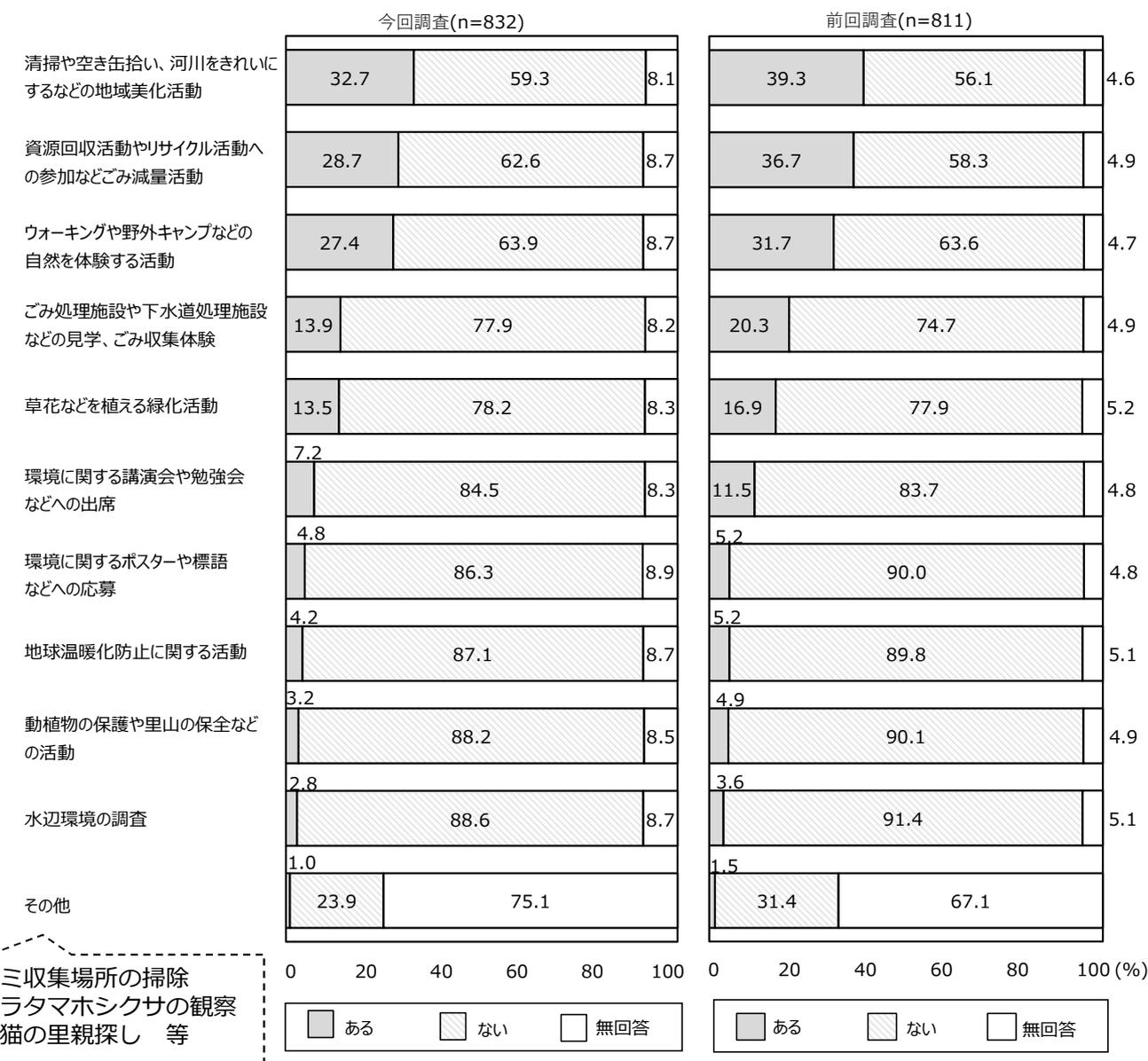


問 10 あなたは、次あげる環境保全活動や、自然とのふれあいに関連した市民活動に参加していることがありますか。また、今後も参加したいと思いますか。【単数回答】

<参加経験>

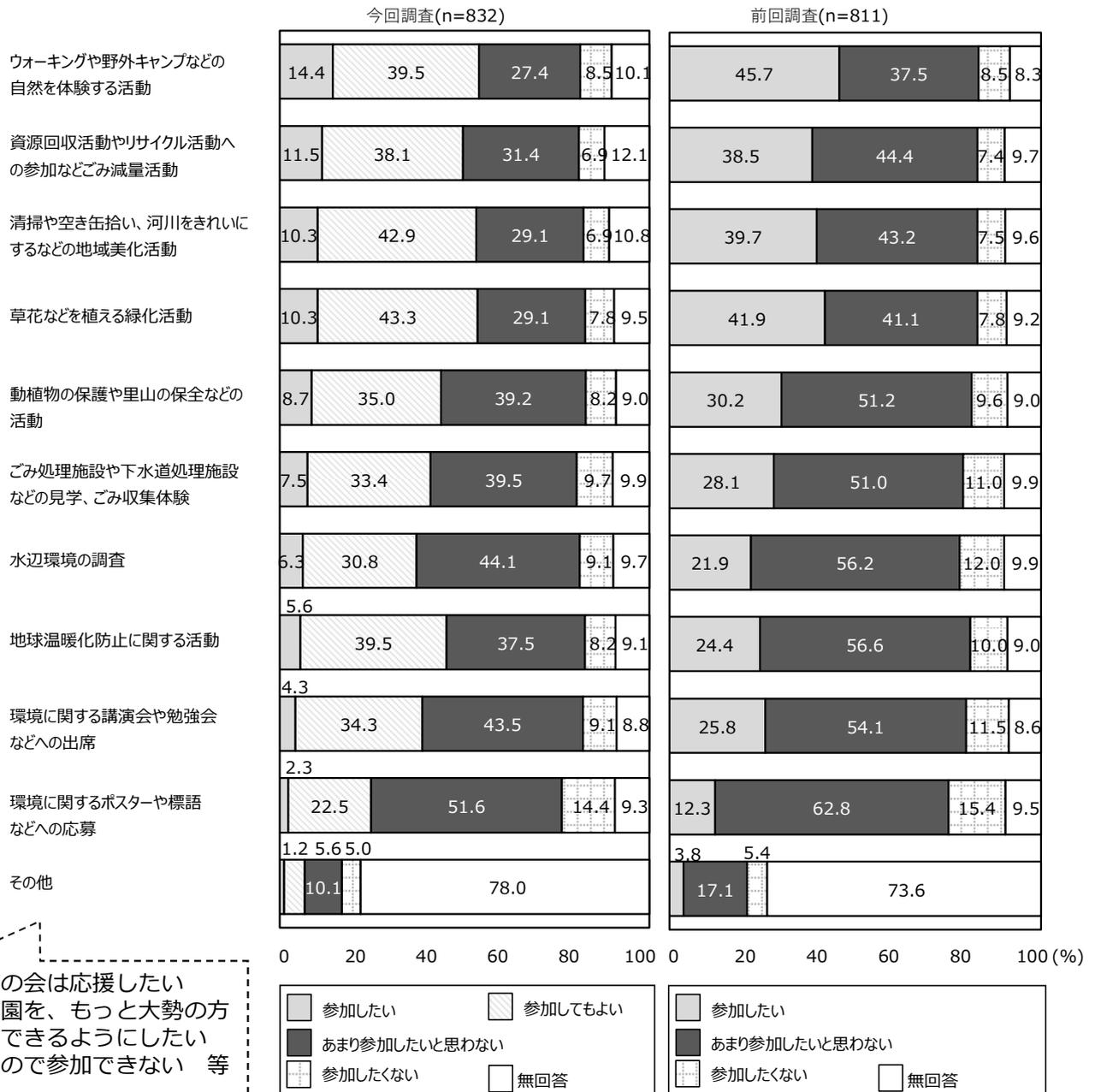
環境保全活動や自然とのふれあいに関連した市民活動への参加経験の有無では、『ある』で「清掃や空き缶拾い、河川をきれいにするなどの地域美化活動」が 32.7%と最も高く、次いで「資源回収活動やリサイクル活動への参加などごみ減量活動」が 28.7%、「ウォーキングや野外キャンプなどの自然を体験する活動」が 27.4%となっています。

前回調査との比較については、『ある』で「資源回収活動やリサイクル活動への参加などごみ減量活動」が前回より 8.0 ポイント低くなっています。



<今後の参加意向>

環境保全活動や自然との触れ合いに関連した市民活動への今後の参加意向では、『参加してもよい』で「草花などを植える緑化活動」が43.3%と最も高く、次いで「清掃や空き缶拾い、河川をきれいにするなどの地域美化活動」が42.9%、「ウォーキングや野外キャンプなどの自然を体験する活動」「地球温暖化防止に関する活動」がともに39.5%となっています。参考に、今回調査の「参加したい」と「参加してもよい」を合わせた『参加したい』と前回調査と比較すると「水辺の調査」「地球温暖化防止に関する活動」等で前回よりも高くなっています。

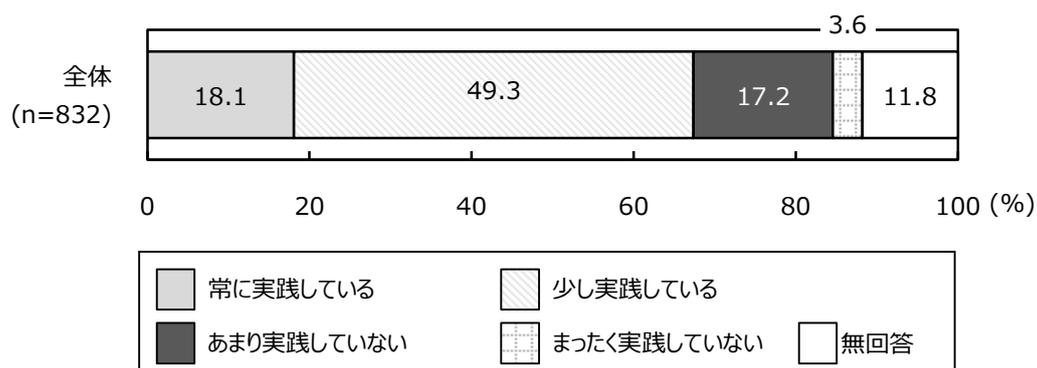


5. 地球温暖化対策に関する取り組みについて

問 11 あなたは、家庭内で省エネルギーなど地球温暖化防止への取り組みを実践していますか。

【単数回答】

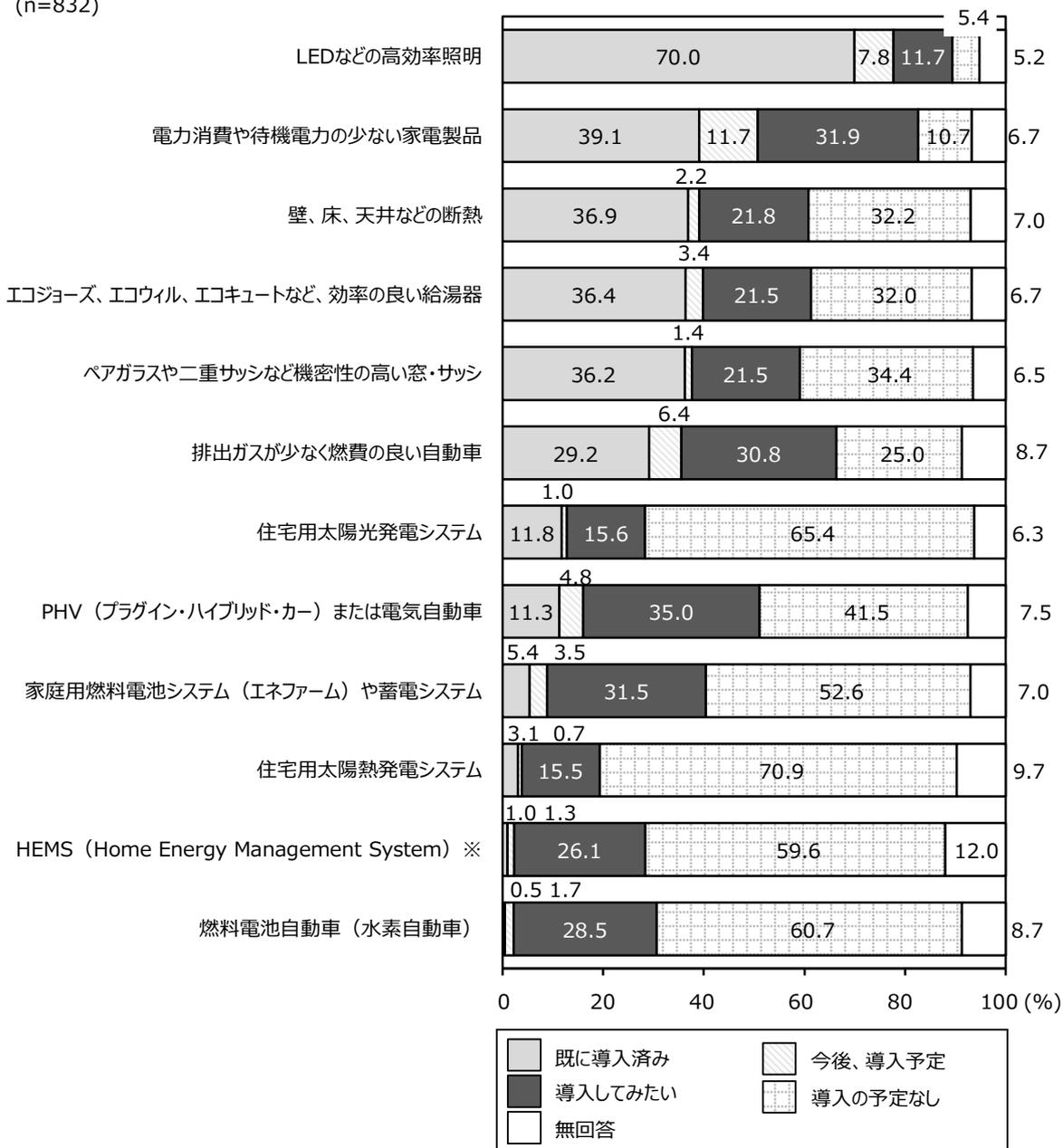
地球温暖化防止への取り組み状況では、「少し実践している」が 49.3%と最も高く、次いで「常に実践している」が 18.1%、「あまり実践していない」が 17.2%となっています。



問 12 地球温暖化防止につながる機器や設備などの導入状況を教えてください。【単数回答】

地球温暖化防止につながる機器や設備などの導入状況では、『既に導入済み』で「LED などの高効率照明」が 70.0%と最も高く、次いで「電力消費や待機電力の少ない家電製品」が 39.1%、「壁、床、天井などの断熱」が 36.9%となっています。一方、『導入の予定なし』で「住宅用太陽熱発電システム」が 70.9%と最も高く、次いで「住宅用太陽光発電システム」が 65.4%、「燃料電池自動車（水素自動車）」が 60.7%となっています。

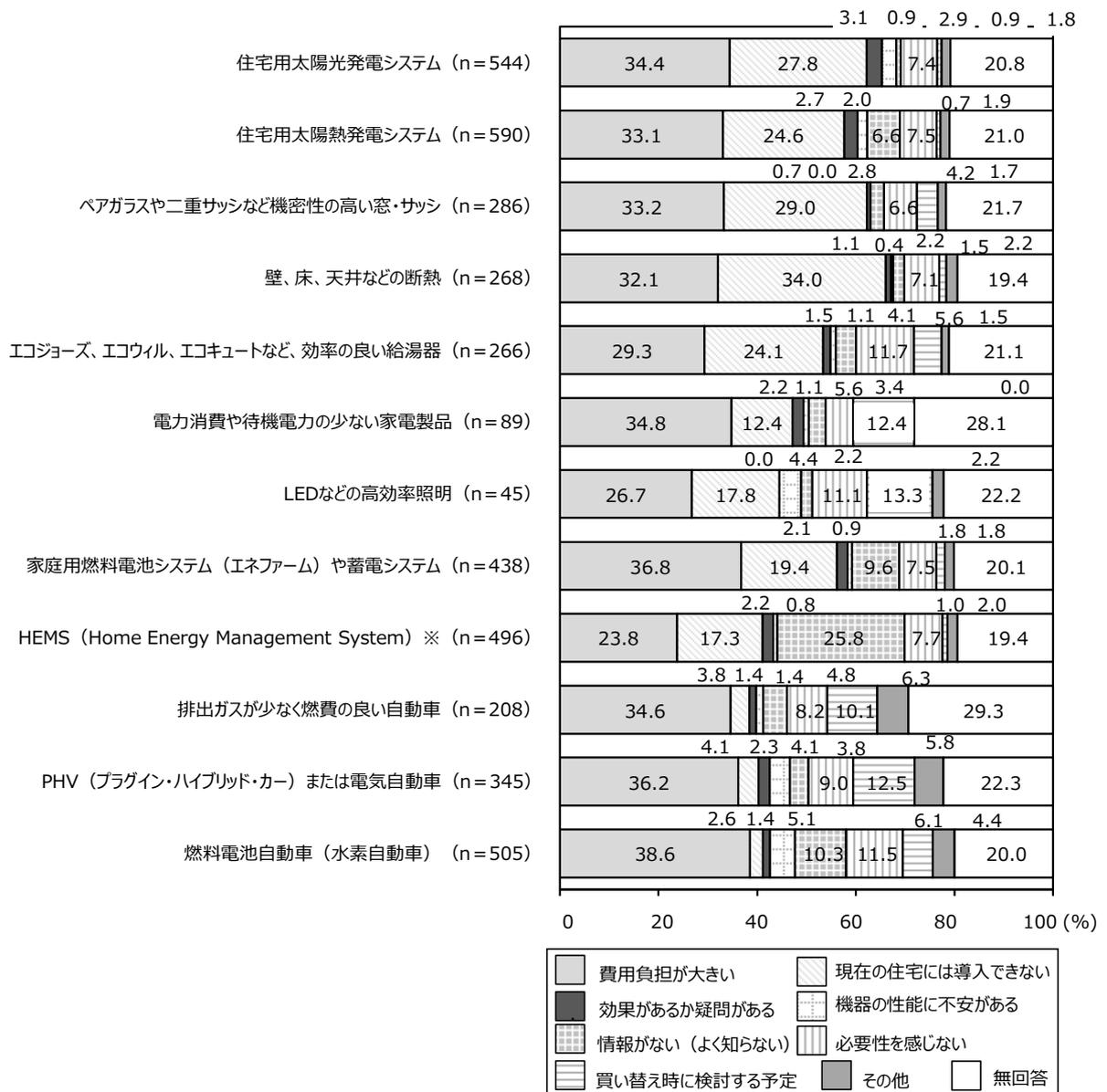
(n=832)



【導入しない理由】

(問 12 で「導入の予定なし」と回答した方のみ)

導入しない理由では、『費用負担が大きい』で「燃料電池自動車（水素自動車）」が 38.6%と最も高く、次いで「家庭用燃料電池システム（エネファーム）や蓄電システム」が 36.8%、「PHV（プラグイン・ハイブリッド・カー） または電気自動車」が 36.2%となっています。また『現在の住宅には導入できない』で「壁、床、天井などの断熱」が 34.0%と最も高く、次いで「ペアガラスや二重サッシなど機密性の高い窓・サッシ」が 29.0%、「住宅用太陽光発電システム」が 27.8%となっています。



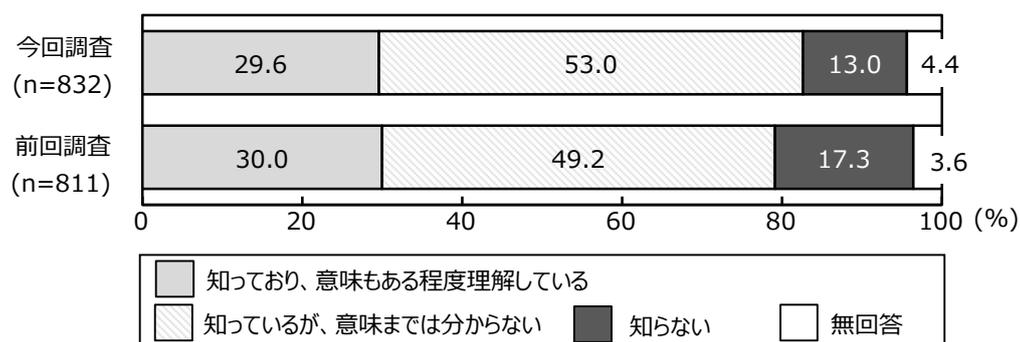
※HEMS（Home Energy Management System）：「ホームエネルギーマネジメントシステム」の略で、家庭のエネルギーを効率よくコントロールするシステムのこと。

6. 生物多様性に関する取り組みについて

問 13 平成 22 年 10 月、名古屋市で「生物多様性条約第 10 回締約国会議(C O P 10)」が開催され、生物多様性の保全について世界的に話し合いが行われました。あなたは、「生物多様性」についてご存知ですか。【単数回答】

「生物多様性」の認知度では、「言葉は知っているが、意味までは分からない」が 53.0%と最も高く、次いで「言葉を知っており、意味もある程度理解している」が 29.6%、「知らない」が 13.0%となっています。

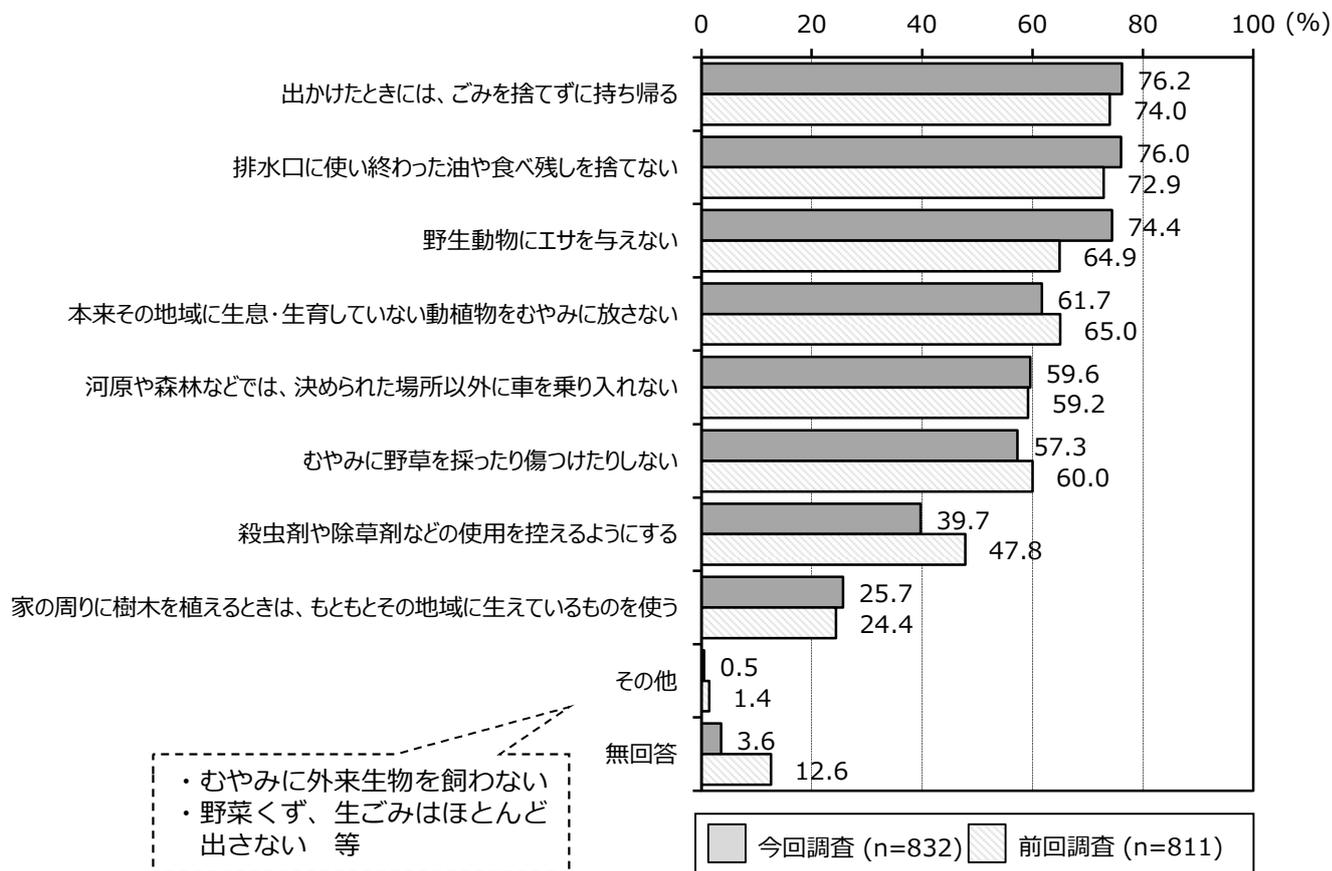
前回調査との比較については、大きな差は見られませんでした。



問 14 生物多様性を保全するために、あなたはどのようなことができますか。【複数回答】

生物多様性を保全するためにできることでは、「出かけたときには、ごみを捨てずに持ち帰る」が76.2%と最も高く、次いで「排水口に使い終わった油や食べ残しを捨てない」が76.0%、「野生動物にエサを与えない」が74.4%となっています。

前回調査との比較については、大きな差は見られませんでした。



問 15 尾張旭市の環境において、優れている点や劣っている点は何だと思えますか。また、今後尾張旭市で実施すべき環境保全施策などがありましたら、自由にご記入ください。【記述回答】

優れている点は、緑が多い、大きな公園が多いなど、劣っている点は、通学路の危険箇所が多い、ごみ出しにおけるごみの散乱、川や池の水質が悪いなど、今後実施すべき環境保全施策については、住宅地の緑化政策、SDGsの推進、できるだけ自然を残すなどの意見があがっています。

①優れている点

■「学び広げるまちづくり」に関すること（環境教育・保全活動）

- ・緑の保全と維持。溜め池の維持と管理、その周辺の保全。
- ・市の広報における環境活動の啓蒙。
- ・環境保全について考えて取り組む姿勢。
- ・矢田川周辺の河原がいつも綺麗に整備されている。散歩するのにとても良い環境だと思う。
- ・森林公園辺りの道路整備。森林保存はとても良いと思う。
- ・今、公園雑草管理において環境にやさしい除草をしようとしている。公園だけに子供や自然を守る意味は大きい。また、地下水、特に井戸を使用している家があれば、いずれ影響が出る市、井戸から水道水へも。
- ・ため池そのものや、ため池及びその周辺の環境。森林公園はじめ、継続的な保全がみこまれる山林や樹林地が多いこと。
- ・緑を守っていくスタンスが市内にいると感じ取れる。
- ・自治会や個人のボランティアの方が毎日少しずつ努力してくれているところ。
- ・地域美化活動。

■「ごみのないまちづくり」に関すること（ごみを減らす、リユース、リサイクル、ごみ処理）

- ・ゴミの分別回収やリサイクル活動。（4件）
- ・ポイ捨てゴミの少なさ。（2件）
- ・市役所にゴミステーションが出来て便利になった。ゴミの分別もその場で教えてもらえるし、手伝ってもらえて助かっている。
- ・公園整備、資源ごみのリサイクル、ゴミの分別等すごく良くなっていると思う。
- ・ゴミの収集処理。

■「地域で地球を考えるまちづくり」に関すること（地球温暖化対策、エネルギー）

- ・全体としては自然災害も無く良い環境

■「自然とふれあうまちづくり」に関すること（緑、水、生き物）

- ・緑が多い。（50件）
- ・森林公園があり、自然に恵まれている。（17件）
- ・自然が多い。（13件）
- ・公園が多い。（12件）

- ・樹木が多い。(2件)
- ・街路樹の剪定が定期的きちんと行われている点。
- ・キレイなお花を植えて並べてあるのを見るととても気持ちがいい。
- ・市の規模に対し、大きな公園(森林公園、城北公園、小幡緑地東園)が3つある。
- ・ため池の遊歩道はいつも使っている。その季節により美しいと思う。
- ・田んぼがあり、尾張旭の農産物が収穫できる。
- ・適度に自然が残っており、昆虫や植物が身近に楽しめるところ。

■「暮らしやすい快適なまちづくり」に関すること(土壌、騒音、振動、大気、水質等公害対策、環境美化、マナー等生活環境や都市づくり)

- ・住みやすい。(5件)
- ・道路の整備。(4件)
- ・悪臭がしない。(3件)
- ・静かな環境。(2件)
- ・高層建築が少ないので見晴らしが良い。(2件)
- ・空気がきれい。
- ・市全体がコンパクトで色々取り組むには都合が良い。
- ・道路が割合広いこと、電車など駅が3つ均等にあること。

②劣っている点

■「学び広げるまちづくり」に関すること(環境教育・保全活動)

- ・行政が行っている環境保全施策の広報不足。環境保全に対するセミナー等の実施。(3件)
- ・エコ教育
- ・各家庭への環境保全の進めかた。
- ・子どもをもっと巻き込んで活動をして欲しい。

■「ごみのないまちづくり」に関すること(ごみを減らす、リユース、リサイクル、ごみ処理)

- ・ポイ捨てが多い(タバコの吸い殻、コンビニで買った飲食物、カン・ビン・生ごみ、河川敷や空地へのポイ捨て)。(11件)
- ・ごみの回収(各々自宅前にすべき、ゴミ置き場ボックスなどの設置、ごみの散乱、ルールを守らない人がいる、ごみの回収の時間が早すぎる・遅すぎる、ごみの分別)。(9件)
- ・家庭内不要品の処理。
- ・ごみ出しのマナー(アルミ缶同様、不燃ごみの日に、車で不燃ごみを持って行く人がいる、)。
- ・生ごみの堆肥化はもっと人に見える化を進めて、たとえば市民農園近くなどに作ってもっと市から設備費をかけてPRしてほしい。今はあまりにも目につかないところで、設備も悪くて劣っている。ゴミの減量に力を入れて欲しい。ポイント制も利用できると思う。

■「地域で地球を考えるまちづくり」に関すること(地球温暖化対策、エネルギー)

- ・太陽光発電等、再生可能エネルギーの導入。グリーンエネルギーの導入。(3件)

- ・住宅用太陽光発電を導入したが、早めに申請したにもかかわらず補助金がいただけなかった。予算に限りがあるのはわかるが、代替として少しでもポイント等を与えれば、「結構応募者が多いのでなんとかしたほうがよいと思います。」等と担当者は上申しているのか。市も（職員ひとりひとりまで）真剣に取り組む姿勢を示してもらいたい。
- ・行政で、太陽光などを利用した電力を再生していることが分かりづらい点。
- ・EV車（バイク含む）等の購入補助制度。緑のカーテンやマイクロ水力発電等、わずかな施策をもって市の取り組みと列記しているが、危機感を持って環境施策を展開しようとする熱が感じられない。

■「自然とふれあうまちづくり」に関すること（緑、水、生き物）

- ・河川の整備やきれいにすること。（6件）
- ・市街地の公園緑地、河川緑地化、農地保全。
- ・市の花がひまわりなのに街の中でひまわりの花があまり見当たらない。
- ・スズメバチ対策なのか、蜜の出ている木を伐採しすぎている。カブトムシやクワガタ、カナブンなどのエサがなくなり、数が激減している。
- ・生物に対するアプローチは少ない様を感じる。森林公園辺りの環境を生かした生物へのアプローチがあると、環境だけではなく、生物との考え、ひとつ上の思考について考えていけると思う。
- ・自転車道路をもっと整備すると良い。街路樹の種類を選ぶべき、育ちすぎはムダが多い。
- ・ため池が汚れていて、きれいにしてほしい。
- ・どこの公園も今一つ花が少ない。
- ・山が削られて失っていく事。

■「暮らしやすい快適なまちづくり」に関すること（土壌、騒音、振動、大気、水質等公害対策、環境美化、マナー等生活環境や都市づくり）

- ・下水道の整備の遅れ。（11件）
- ・交通が不便。（10件）
- ・公園の雑草。（7件）
- ・道路沿いの雑草。（6件）
- ・空き家への対策（草木手入れ、倒壊放置）。（3件）
- ・樹木、草等が個々の家より道路側に伸びているのは即切ってほしい。
- ・お城下の田んぼについて、地区によっては、田んぼにあぜ道がきれいになっていて気持ち良い。ただ、お城下の田んぼについては、米がかりとられた後も、あぜ道の草がいつまでもそのままになっている。草の中に稲が…。これがおいしい米になるか、不思議です。一度あぜ道の草を刈っていただきたい。コスモス畑も映えると思う。
- ・工業地と住宅地が隣接しすぎている所あり。騒音、におい、照明、路上駐車多い。
- ・公共の乗り物などの利便性が低いので、自家用車の複数台所有が多く、排気ガスなど目に見えない空気汚染が気になる。
- ・野良猫が多い。餌をやっている人がいる。家の周りに猫の糞が落ちている時がある。

③今後実施すべき環境保全施策

■「学び広げるまちづくり」に関すること（環境教育・保全活動）

- ・小さい時期から環境の教育をもっと推進する。（3件）
- ・小中学校における環境保全教育の充実、強化。（2件）
- ・イベントを開催。市民祭など利用。
- ・点在する池辺環境を保全。保全できる範囲で公園に。ボランティア活動で環境意識を高める。
- ・まず、絶対に家庭から。1人1人の責任が大切と思う。その講座対策など。
- ・SDGS、身近に出来る環境への配慮（ノープラスチック、マイバック、マイ箸、ストロー等）子供や若い子育て世代にも伝わるような体験型のイベント等あるといいなと思う。先日、維摩池のキャンドルナイトに行ったが、沢山人が集まっていたので、そういったイベントに環境をテーマとしたすぐにでも取り組めることを入れ込んで知ってもらおう。体験してもらおうはどうか（環境マルシェ、ワークショップ（イチジクのスイーツもっとアピールできそう）など）。森林公園や城山公園など良い会場が尾張旭にはあるので若い世代のアピール、ぜひお願いしたい。
- ・1.河川ウォーキングの草刈り。2.月1回程度ゴミひろいウォーキング実施。3.緑を増やしてほしい。4.ポイ捨てしない様学校でもっと教えて欲しい。5.シニアにゴミ袋とゴミ取バサミを持ってウォーキングを兼ねて清掃したらどうか。
- ・モリコロみたいな自然に関するテーマパークを新設してほしい。
- ・自然を知ってもらえるよう池にカフェなどと、資料館を設置して広く知ってもらおうことが大切。

■「ごみのないまちづくり」に関すること（ごみを減らす、リユース、リサイクル、ごみ処理）

- ・小さな頃からゴミの分別やポイ捨て防止の指導を増やして欲しい。
- ・ペットボトルの収集日を作ってほしい。
- ・ゴミ出しマナーの徹底。ゴミ集積所を明確にし、看板などを設置する。一定数以上の戸数がある集合住宅ではゴミ集積所を設置してほしい。
- ・ゴミの分別は市民ひとりひとりにとって、最も身近で取り組むべき課題。ルールを明確化し、遵守が確定化するまで徹底的に取り組むことが、ひとりひとりが環境保全に関心を持つ近道だと思う。
- ・ゴミ処理後の灰の始末（金属がとれると）、温水、電気に変えるとか。
- ・地域ゴミステーション（ゴミ出し）の設置。
- ・リサイクル広場で捨ててあった本を持ち帰ろうとしたら注意された。リサイクルになるのになぜ？と思った。リサイクル広場を利用してポイント制にする。〇点で→ゴミ袋プレゼント！係員さんにハンコを押してもらおう（経費削減）。
- ・ゴミを捨てるのに道路に網をかぶせるだけ。せめてタタミ一枚分の広さでもいいから、コンクリートで場所を作ってほしい。ゴミを捨てる時、ちりとりとほうきを持って行って掃除をしている。

- ・ゴミの分別が出来ていない人がたくさんいる。生ゴミもペットボトルも一緒に入っている。外国人にも徹底するべき。
- ・町内会に加入していない人が最近増えたせいか、ゴミ出しルールを守れない人が多く、収集日以外にゴミ、プラが出されている場所があって、衛生上良くないので、何とかして欲しいです。
- ・ゼロ・ウェイストタウン（モデル徳島県上勝町）テレビで観た。尾張旭市くらいの大きさの市であれば、やればやれるのではないかと…。但し、高齢なので自分で市の中心まで持って行くことはできません。
- ・リサイクル品の活用。
- ・リサイクルステーションで金属ゴミも回収してほしいです。リサイクルステーションが充実するのが一番ごみを減らすことができそうなので。（一度に片付けられる方がリサイクル率は上がる）。
- ・家庭でのコンポストの導入の助成金。若い世代が増えれば、税収も増加したり将来的にも安定して環境に取り組めると思う。
- ・燃えるゴミの戸別回収。アミやカゴの置き放しが見苦しい。無責任なゴミ出しもなくなる。

■「地域で地球を考えるまちづくり」に関すること（地球温暖化対策、エネルギー）

- ・地産地消
- ・新しい住宅地に街路樹を植えて欲しい。温暖化対策として。
- ・太陽光発電で使われるパネルにウイグルからの材料が使われていたり、国産の製品は少なく中国産のものが多いこと、数十年先にそのパネルを廃棄する場合のコストや環境汚染のことなどをもっと広めていただきたい。脱炭素社会と言って二酸化炭素をゼロにすると言うが、二酸化炭素を必要としている植物はどうなるのか。火力で発電する場合にも二酸化炭素は出る。正しい情報を子供たちに教えていただきたい。
- ・交通量の多い道路に対しての草木等で熱対策。
- ・再生可能エネルギーの促進。

■「自然とふれあうまちづくり」に関すること（緑、水、生き物）

- ・図書館で土地の歴史を読んだら、市内の洞光寺にて昔、尾張三名水の井戸・湧き水が出ていたとのこと。水源が豊かな土地であれば井戸・湧き水を復活させる支援をしていただきたい。水源があり水の豊かな土地は全てにおいて繁栄するそう。湧き水ツアーなどあれば参加してみたい。長久手に岐阜の御嶽山からつながる地下水脈があるそうで、尾張旭にもシラサギがいるので関係あるのかも。
- ・山林の手入れ。
- ・田畑を残す施策を希望する。
- ・よく、堤防道路や池のそばでタヌキやカメがひかれて死んでいる。道路に出ないように対策があればいいなと思う。

- ・矢田川の河川敷に何年か前に作った花壇、その後うまく活用がなされていなくて税金の無駄だと感じる。せっかく作ったので、有効に使ってほしい。貸し畑とか、近隣の学校に何か使ってもらおうとか…。作って自治会に丸投げになって負担になってしまっているように思った。
- ・緑を増やす。緑を減らさない。
- ・緑化対策。住宅に植樹を条例化。区画整理内の植込みが少ない。
- ・最近ゴーヤの苗など支給されているが球根なども良いと思う。
- ・野山の清掃活動。
- ・尾張旭の自然を守る。農産物が収穫できる町作り。

■「暮らしやすい快適なまちづくり」に関すること（土壌、騒音、振動、大気、水質等公害対策、環境美化、マナー等生活環境や都市づくり）

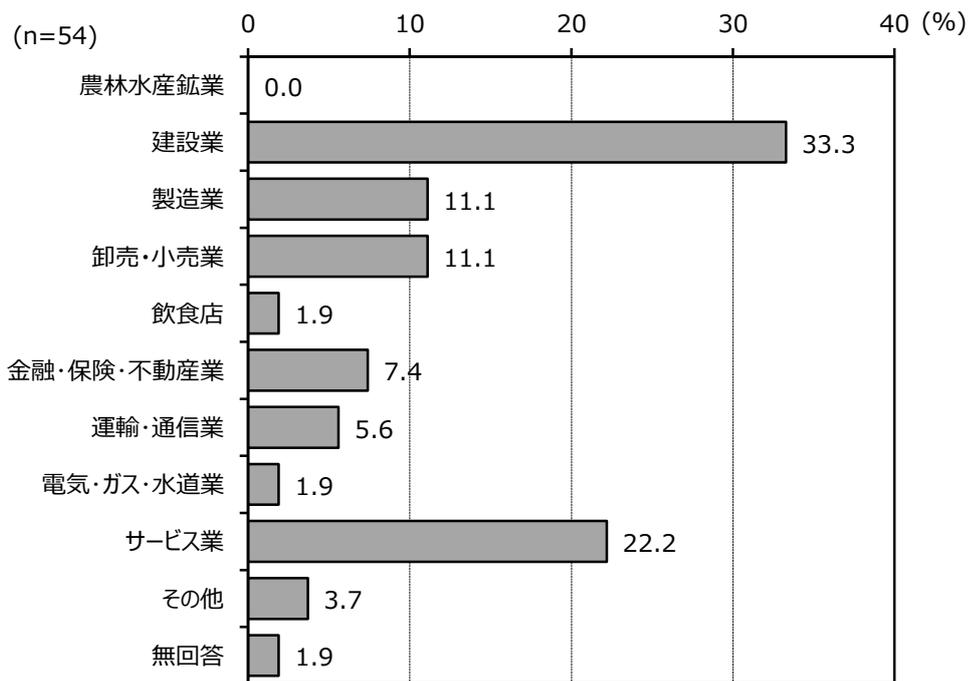
- ・汚染土壌をむやみに捨てさせないようにする条例による制限等の規制。
- ・溝の昔の古い鉄の蓋を鉄片ではない物に取り換えて欲しい。人がその上を通ると音がうるさいし、古いので危険。
- ・市内全域でタバコを禁止する。ポイ捨てがなくなり、街の景観が良くなる。タバコの悪臭がなくなる。健康増進。
- ・公園に日かげが少ないので大き目の木をもっと植えてほしい。
- ・車数が多い大きい道路は草木、緑を植えて欲しい。排出ガス、汚染対策の為に。緑の町尾張旭市をスローガンとして欲しい。緑と一緒に住む街尾張旭市として欲しい。道路はできる限り緑をお願いしたいです。
- ・地域猫活動の認知。飼い犬の注射済シール（登録）の復活。
- ・住宅地の生活道路の交通規制強化。印場駅から北にのびる生活道路に抜け道として通過する車が大量にあり、生活環境を劣化させている。
- ・下水の臭い対策。雨の日は特にくさい。区画整理地の道路整備。車が汚れる。雨水で道が通りにくくなる。
- ・空き家対策。自然災害対策もとても重要だと思うが、空き家問題に対応する市の課も多数になるかと思うし、空き家になる前からの準備も必要か？と考える。「空き家にしない」ためには…？
- ・空家は増えている印象です。使わない家ならば、更地にして緑化した方が良い（持ち主の意向はあるが）。
- ・側溝の整備等。フタもなく、深くてゴミが捨ててあり、においもする。子供等落下する危険がある。
- ・せっかく下水道が整備され続けているにもかかわらず、浄化槽から下水道への切替が進んでいないと思う。補助金制度も視野に入れ、環境に配慮した街並みを願う。

Ⅲ 事業者調査結果

1. 回答者属性

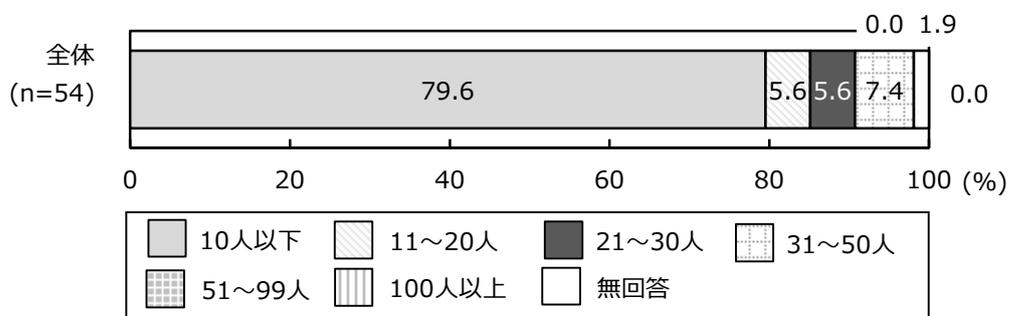
◎ 業種【単数回答】

業種では、「建設業」が33.3%と最も高く、次いで「サービス業」が22.2%、「製造業」「卸売・小売業」がともに11.1%となっています。



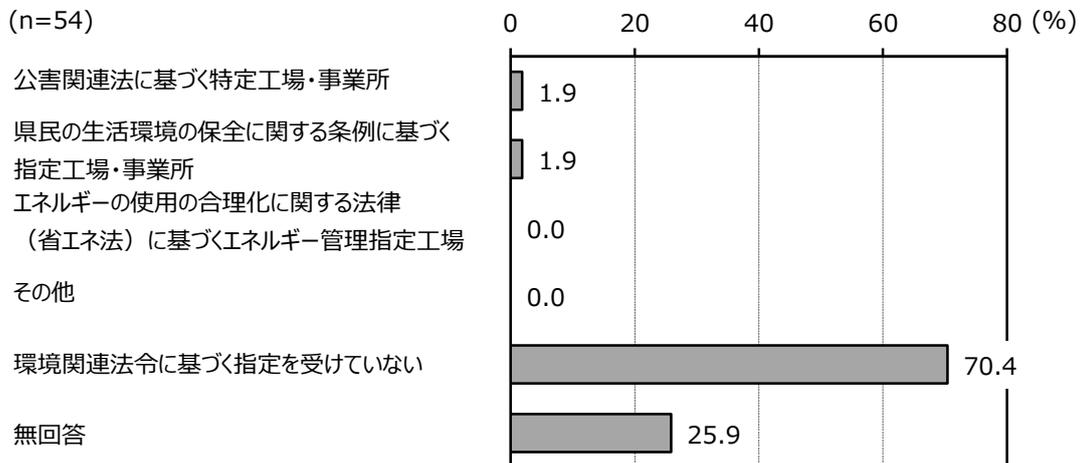
◎ 従業員数（パート含む）【単数回答】

従業員数（パート含む）では、「10人以下」が79.6%と最も高く、次いで「31～50人」が7.4%、「11～20人」「21～30人」がともに11.1%となっています。



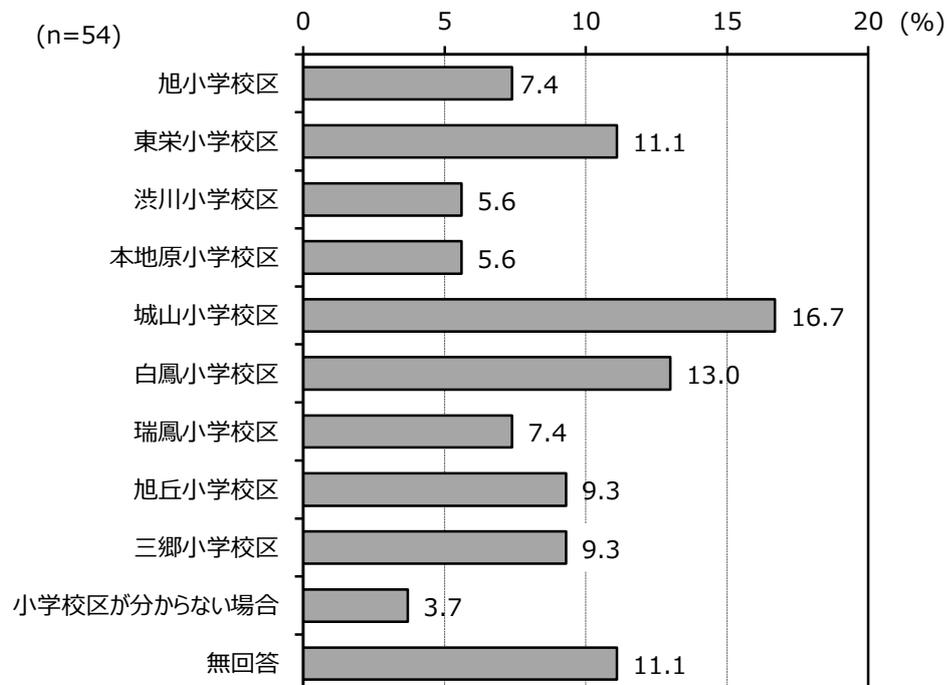
◎ 環境関連法令の指定状況【単数回答】

環境関連法令の指定状況では、「環境関連法令に基づく指定を受けていない」が70.4%と最も高くなっています。



◎ 所在地【単数回答】

所在地では、「城山小学校区」が16.7%と最も高く、次いで「白鳳小学校区」が13.0%、「東栄小学校区」が11.1%となっています。

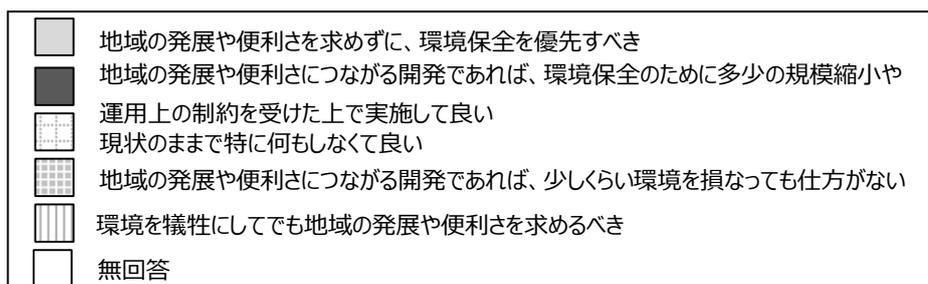
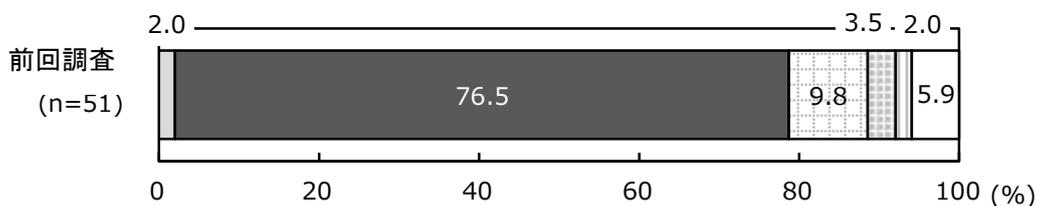
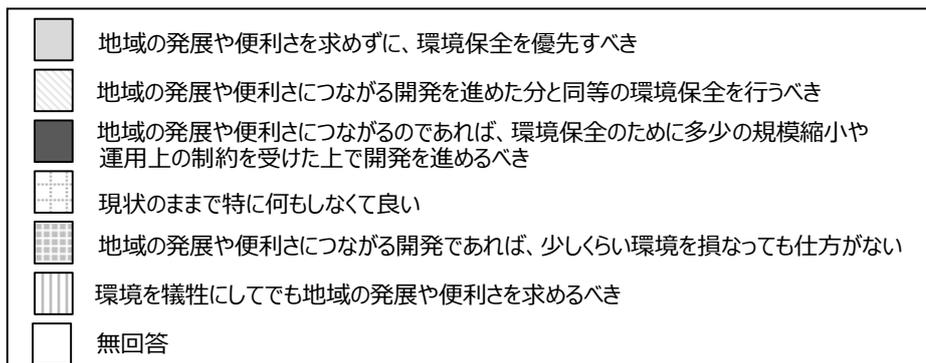
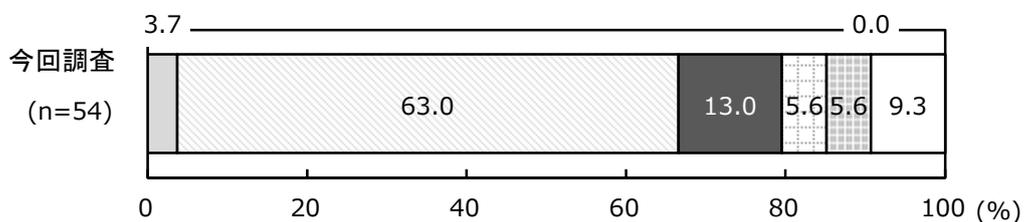


2. 事業活動と環境保全について

問1 貴事業者では、開発と環境保全のバランスについて、どのようにお考えですか。【単数回答】

開発と環境保全のバランスについての考えでは、「地域の発展や便利さにつながる開発を進めた分と同等の環境保全を行うべき」が63.0%と最も高く、次いで「域の発展や便利さにつながるのであれば、環境保全のために多少の規模縮小や運用上の制約を受けた上で開発を進めるべき」が13.0%となっています。

前回調査との比較については、「地域の発展や便利さにつながる開発を進めた分と同等の環境保全を行うべき」の項目が前回調査にはないため、「地域の発展や便利さにつながる開発であれば、環境保全のために多少の規模縮小や運用上の制約を受けた上で実施して良い」が76.5%と最も高くなっています。

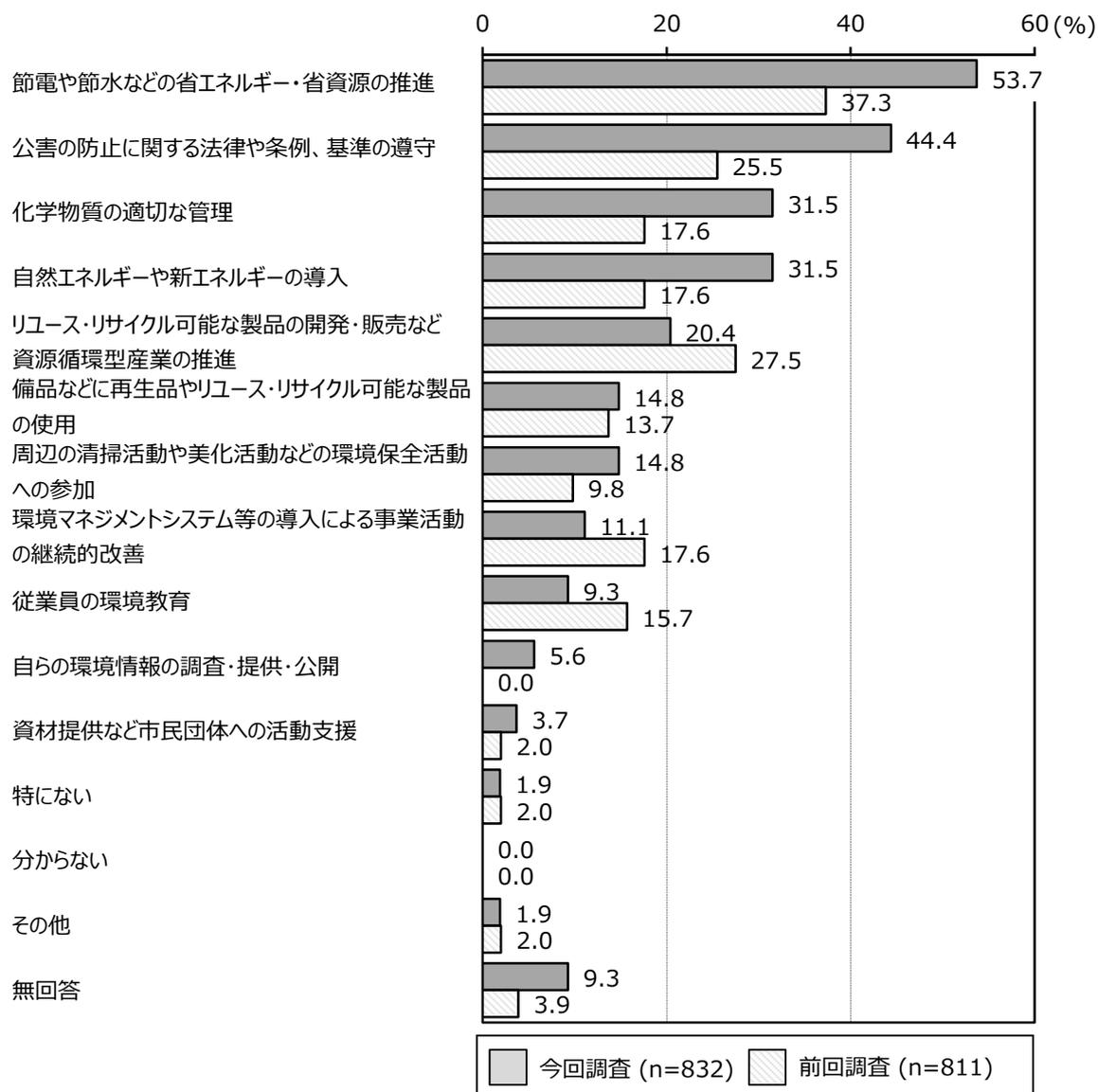


問2 環境保全のために、事業者に求められる取り組みは何であるとお考えですか。

【複数回答（3つまで）】

環境保全のために、事業者が求められる取り組みでは、「節電や節水などの省エネルギー・省資源の推進」が53.7%と最も高く、次いで「公害の防止に関する法律や条例、基準の遵守」が44.4%、「化学物質の適切な管理」が31.5%となっています。

前回調査との比較については、上記3項目に加えて「自然エネルギーや新エネルギーの導入」が前回より10ポイント以上高くなっています。

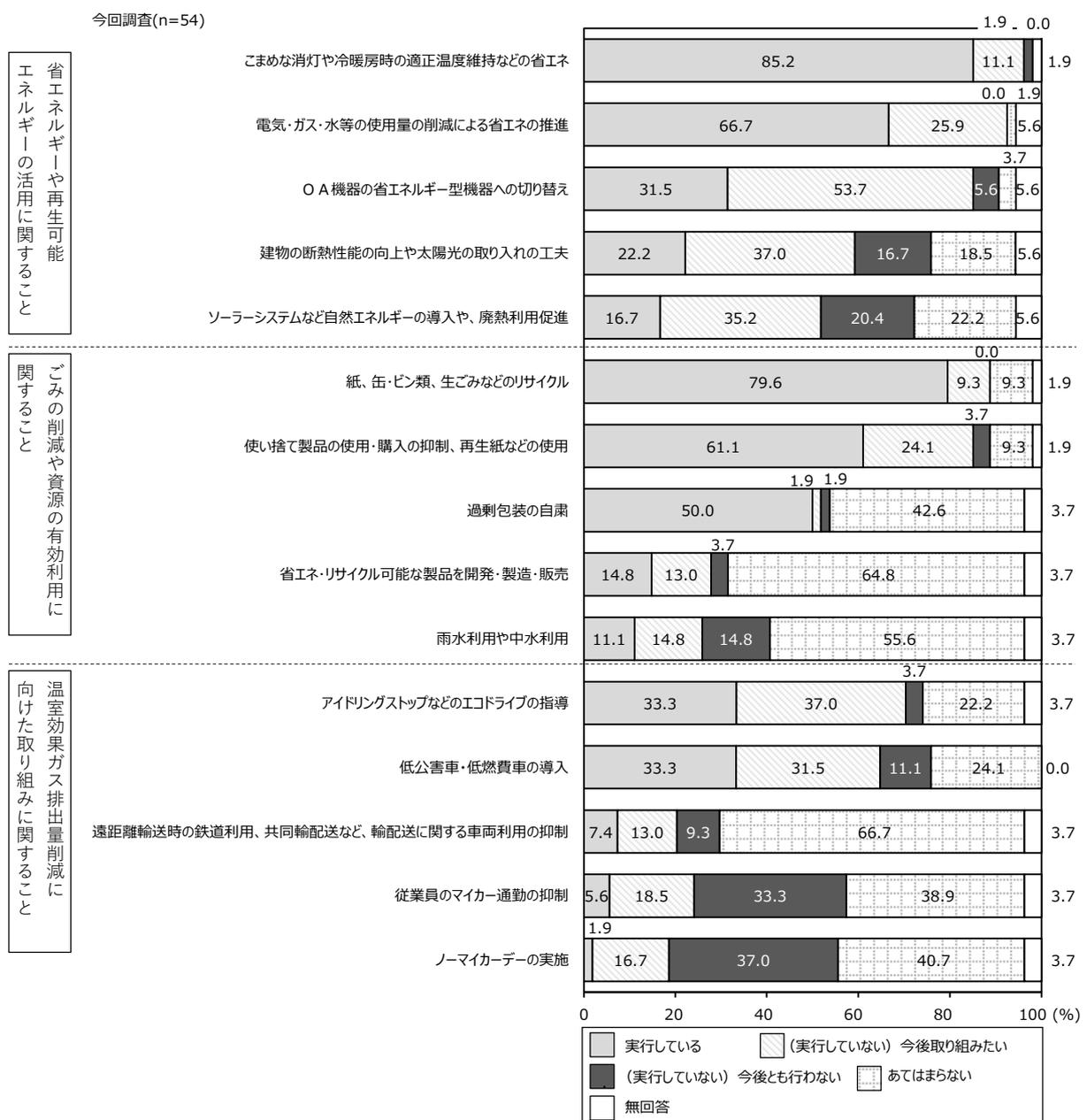


3. 環境に配慮した行動の実践状況について

問3 貴事業者が現在行っている環境保全に関する行動について、項目ごとにあてはまるものを選んでください。【単数回答】

現在行っている環境保全に関する行動では、『実行している』で「こまめな消灯や冷暖房時の適正温度維持などの省エネ」が85.2%と最も高く、次いで「紙、缶・ビン類、生ごみなどのリサイクル」が79.6%、「電気・ガス・水等の使用量の削減による省エネの推進」が66.7%となっています。一方、『（実行していない）今後とも行わない』では「ノーマイカーデーの実施」が37.0%と最も高く、次いで「従業員のマイカー通勤の抑制」が33.3%となっています。

前回調査との比較については、「アイドリングストップなどの環境にやさしい運転の指導」「社員の環境教育の実施」「電力使用効率の向上」を『実行している』割合は、前回より17.5ポイント以上低くなっています。

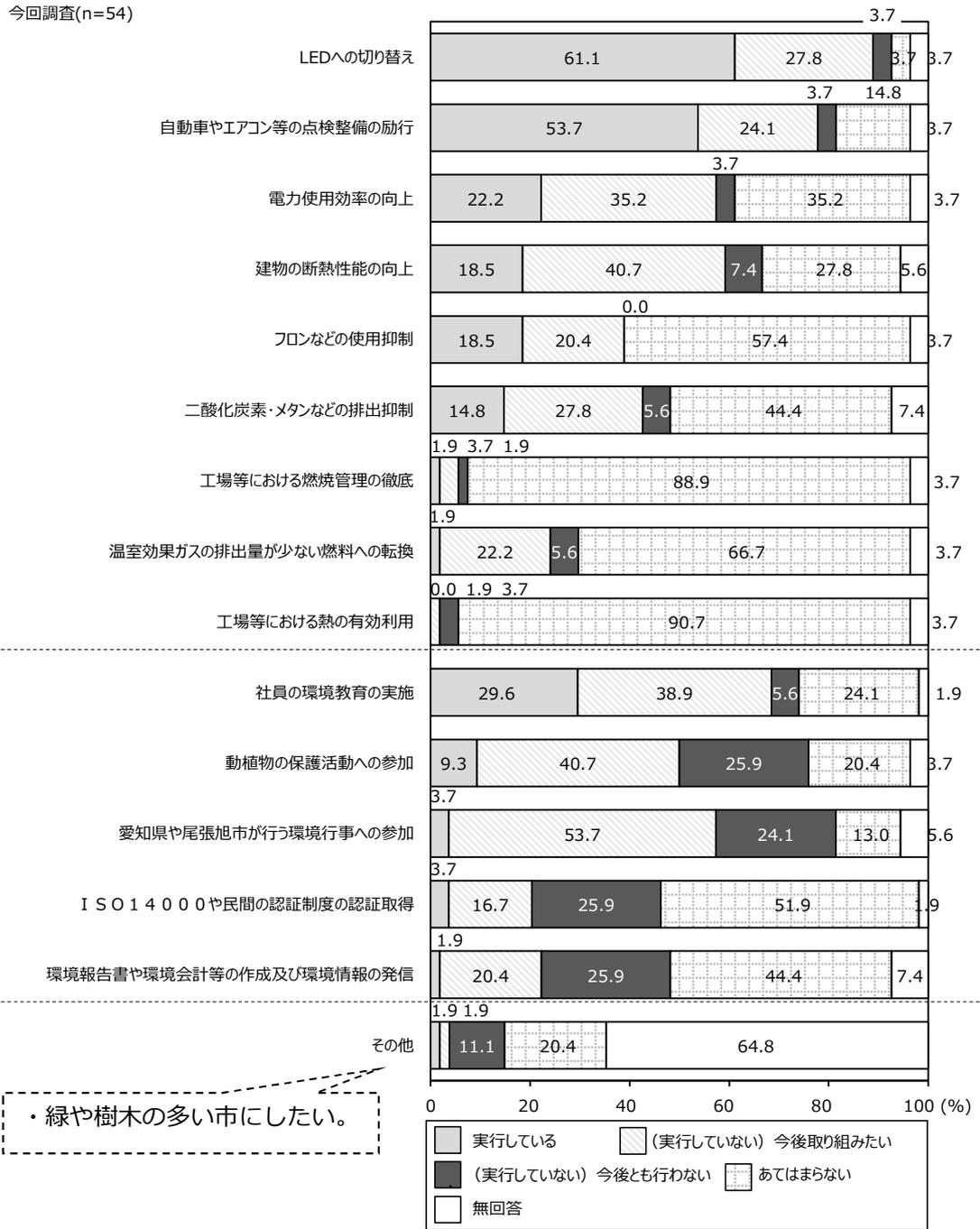


今回調査(n=54)

温室効果ガス排出量削減に向けた取り組みに関すること

環境マネジメントシステムや環境教育・保全活動に関すること

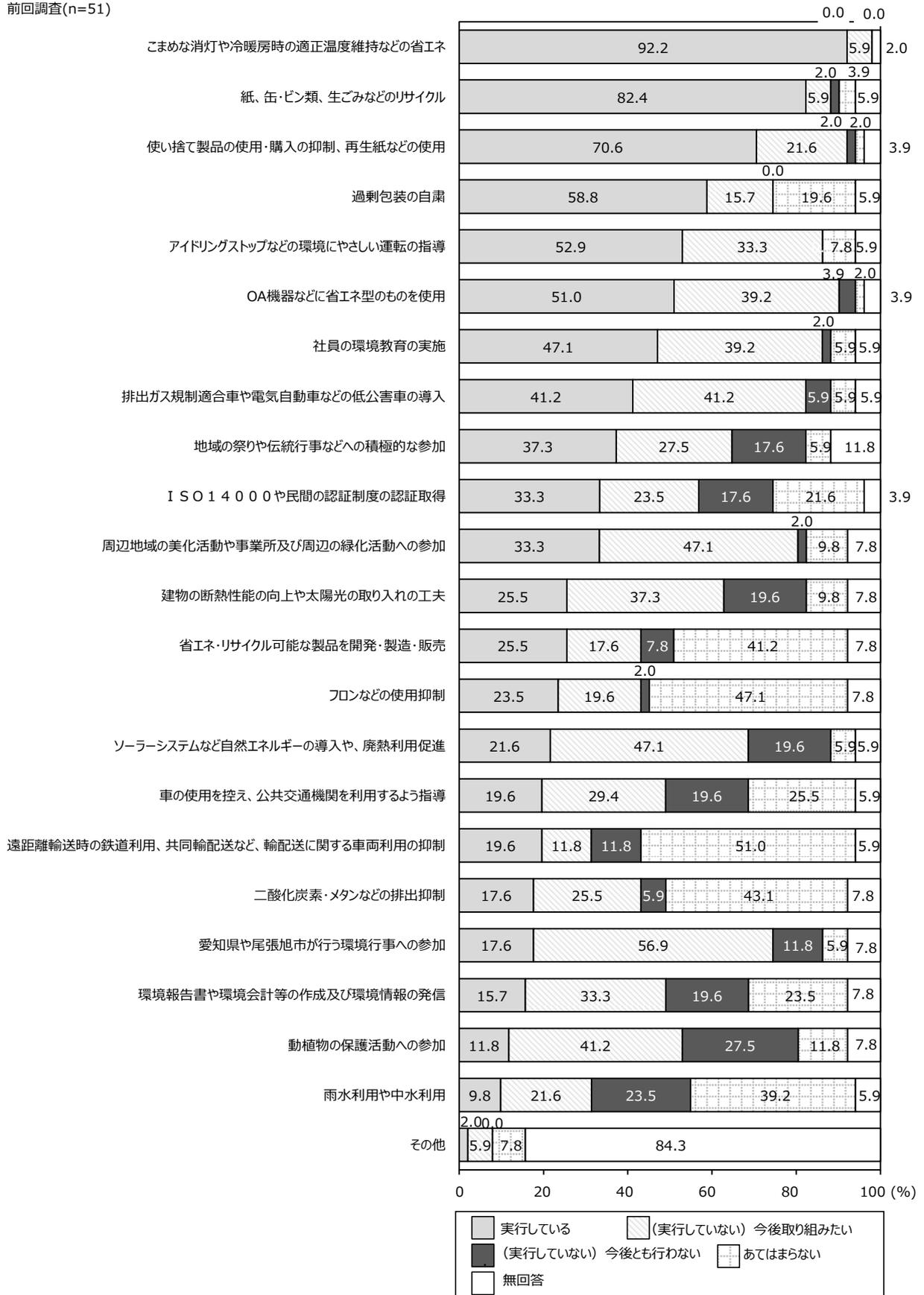
その他



・緑や樹木の多い市にしたい。

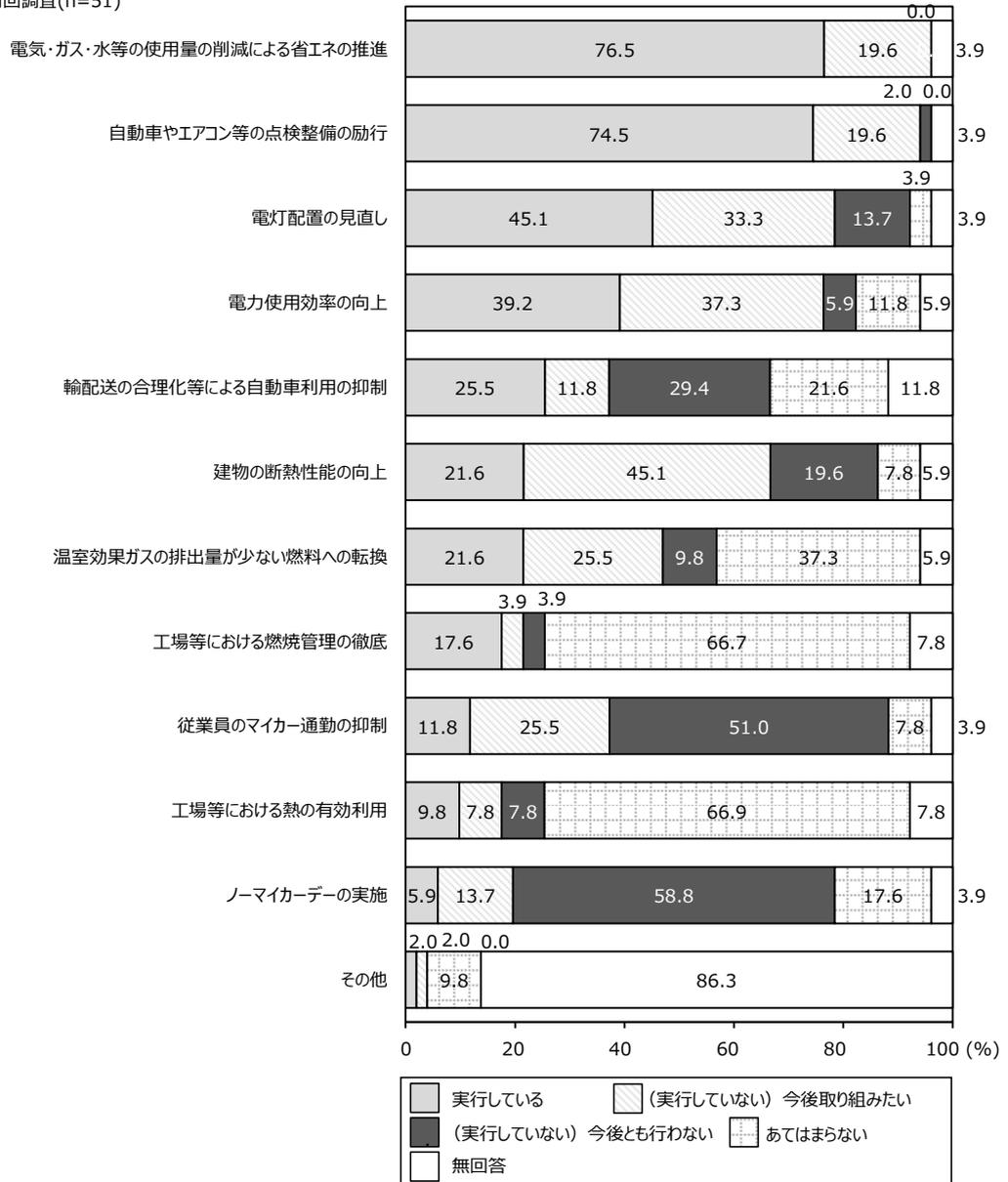
※前回調査（環境保全に関する行動）

前回調査(n=51)



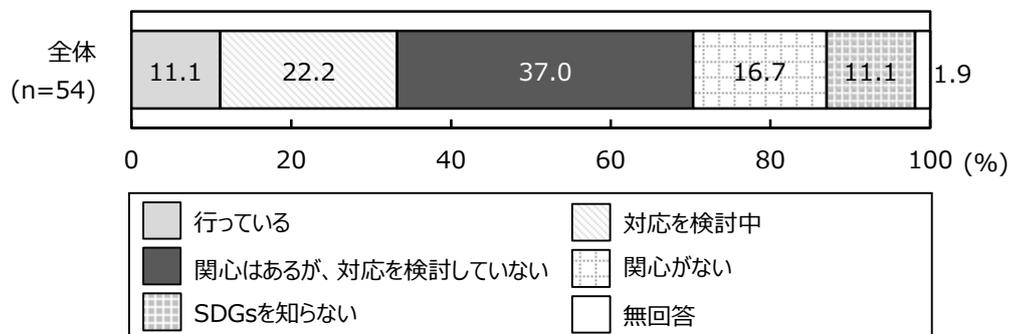
※前回調査（温室効果ガス削減のための行動）

前回調査(n=51)



問4 貴事業者では、SDGs(※)への貢献の視点を持った経営、事業活動を行っていますか。
【単数回答】

SDGs への貢献の視点を持った経営、事業活動では、「関心はあるが、対応を検討していない」が 37.0%と最も高く、次いで「対応を検討中」が 22.2%、「関心がない」が 16.7%となっています。



※SDGs：持続可能な開発目標の略称で、2030年を年限とする17の国際目標を定めたもの

【SDGsの取り組みの内容】

(問4で「行っている」と回答した方のみ)【自由記述】

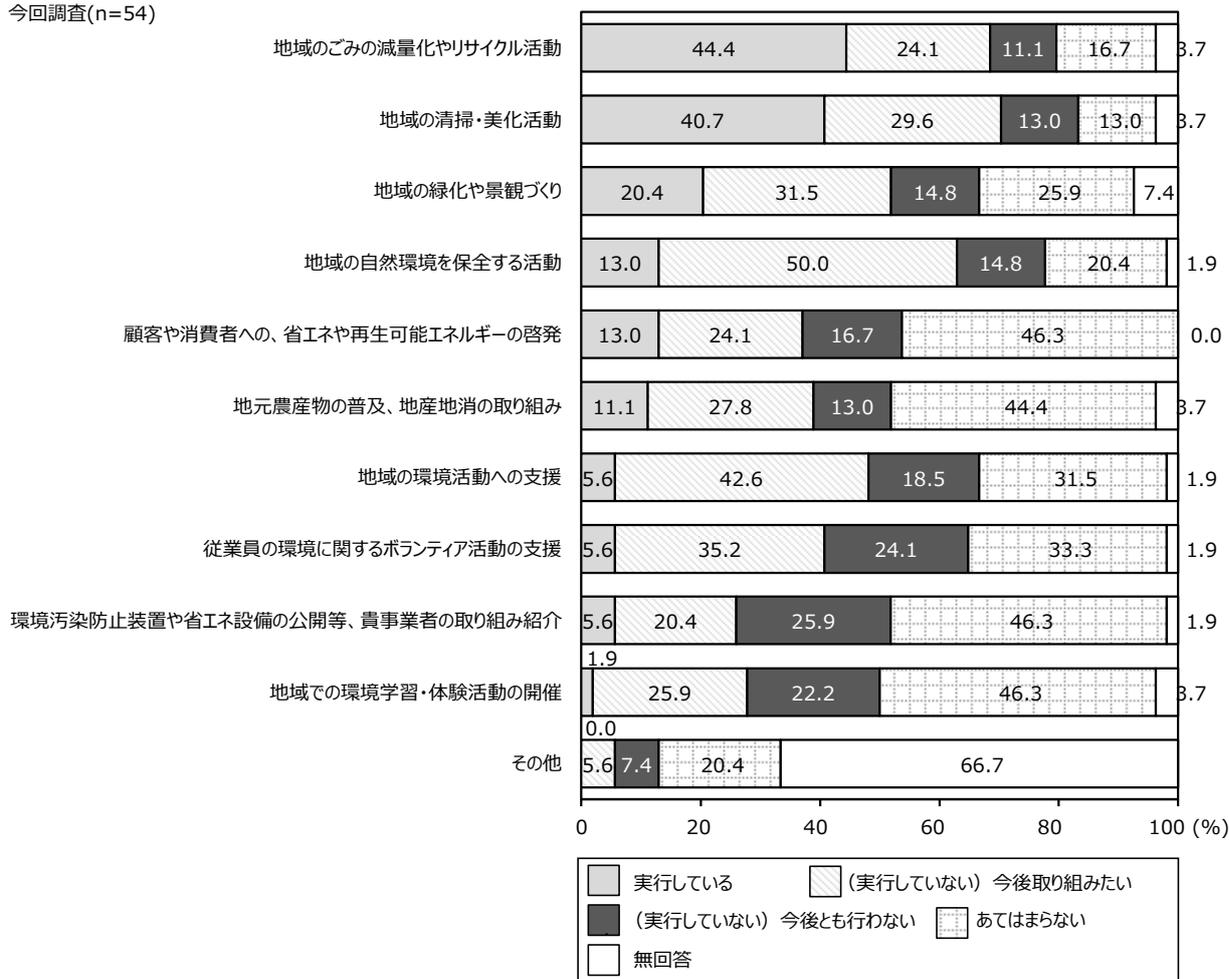
- ・木材、金属、プラスチック、コンクリート等の廃材は可能な限りリサイクルを行っている。

問5 貴事業者が現在行っている地域の環境保全のための取り組みについて、項目ごとにあてはまるものを選んでください。【単数回答】

現在行っている地域の環境保全のための取り組みでは、『実行している』で「地域のごみの減量化やリサイクル活動」が44.4%と最も高く、次いで「地域の清掃・美化活動」が40.7%、「地域の緑化や景観づくり」が20.4%となっています。

また、『（実行していない）今後取り組みたい』で「地域の自然環境を保全する活動」が50.0%、「地域の環境活動への支援」が42.6%となっています。

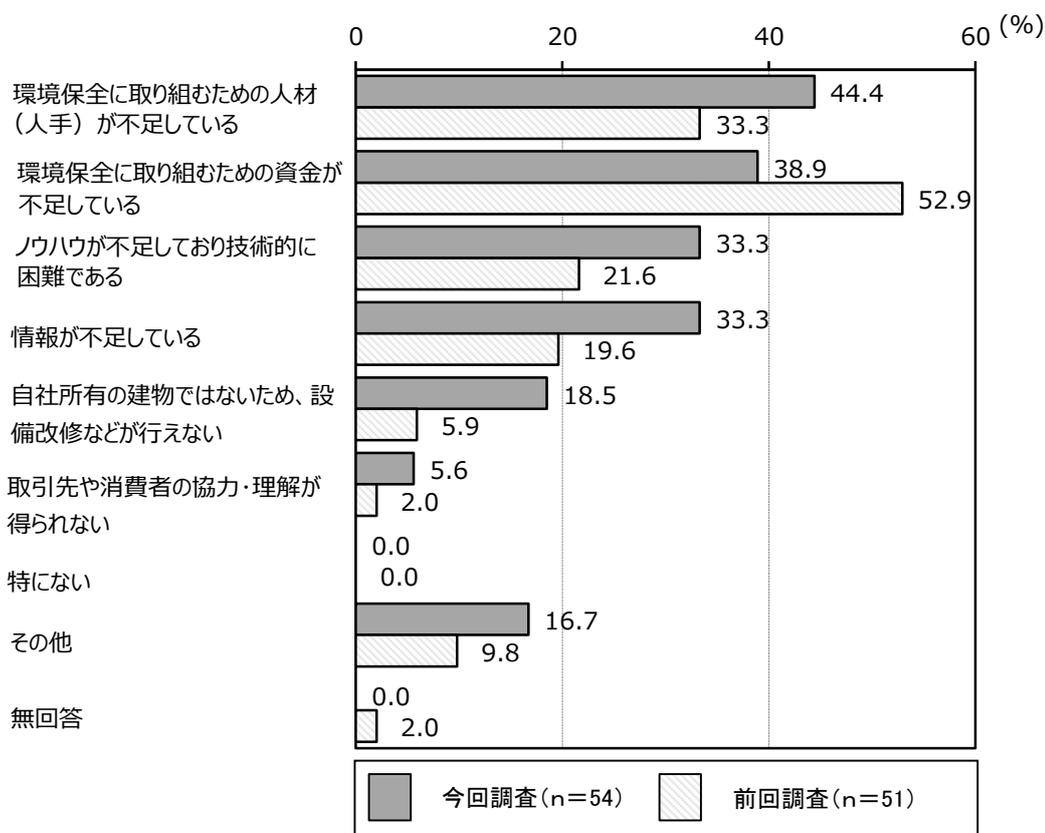
今回調査(n=54)



問6 貴事業者が環境保全に取り組む上で課題であると感じていることは何ですか。【複数回答】

環境保全に取り組む上で課題であると感じていることでは、「環境保全に取り組むための人材（人手）が不足している」が44.4%と最も高く、次いで「環境保全に取り組むための資金が不足している」が38.9%、「ノウハウが不足しており技術的に困難である」「自社所有の建物ではないため、設備改修などが行えない」がともに33.3%となっています。

前回調査との比較については、「環境保全に取り組むための資金が不足している」が前回より10ポイント以上低くなっており、資金不足に加え、人材も不足していることがうかがえます。



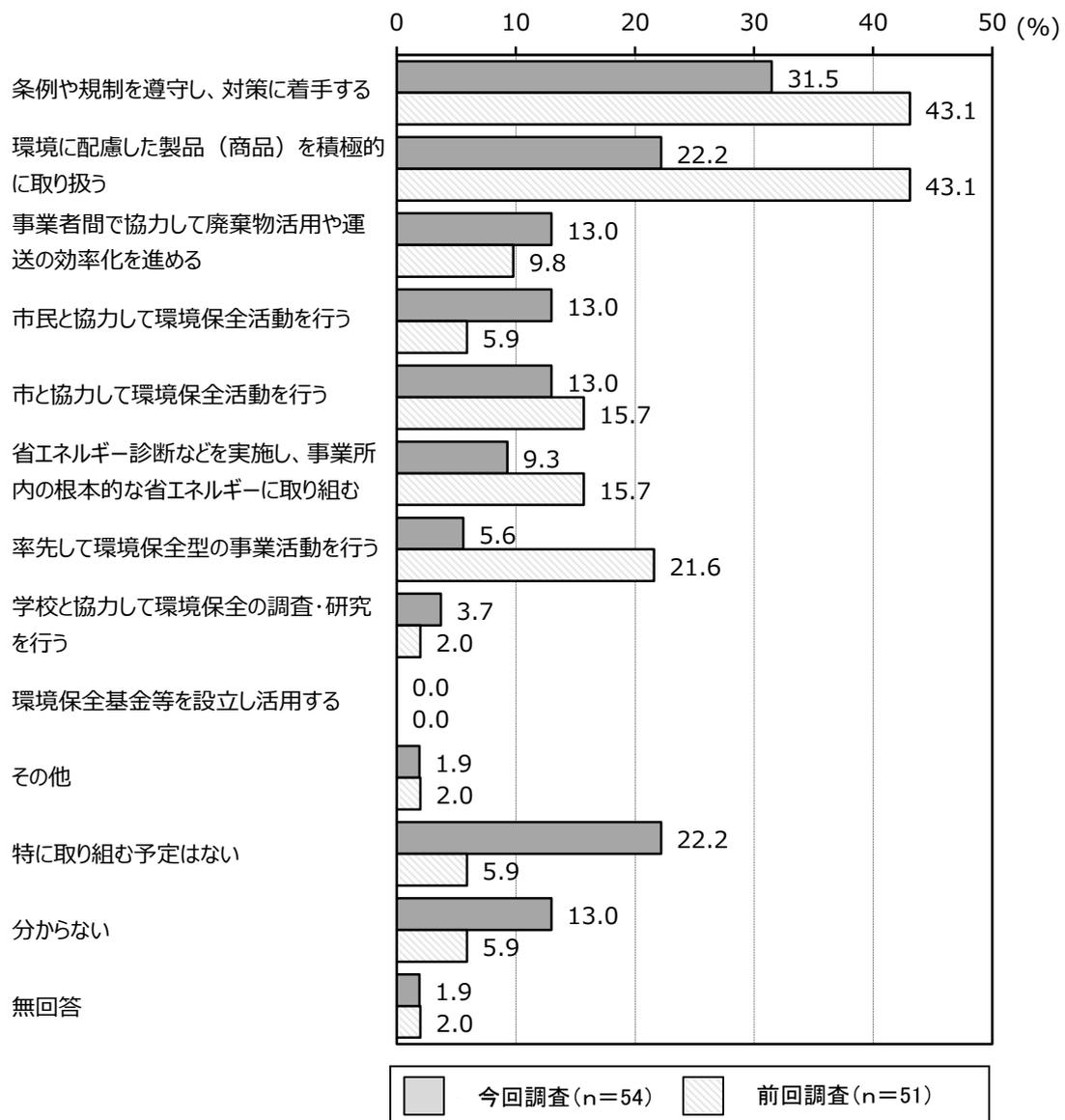
4. 今後の尾張旭市の環境について

問7 貴事業者は、今後環境保全のためにどのようなことに取り組んでいく予定ですか。

【複数回答（2つまで）】

今後予定している環境保全のための取り組みでは、「条例や規制を遵守し、対策に着手する」が31.5%と最も高く、次いで「環境に配慮した製品（商品）を積極的に取り扱う」「特に取り組む予定はない」がともに22.2%となっています。

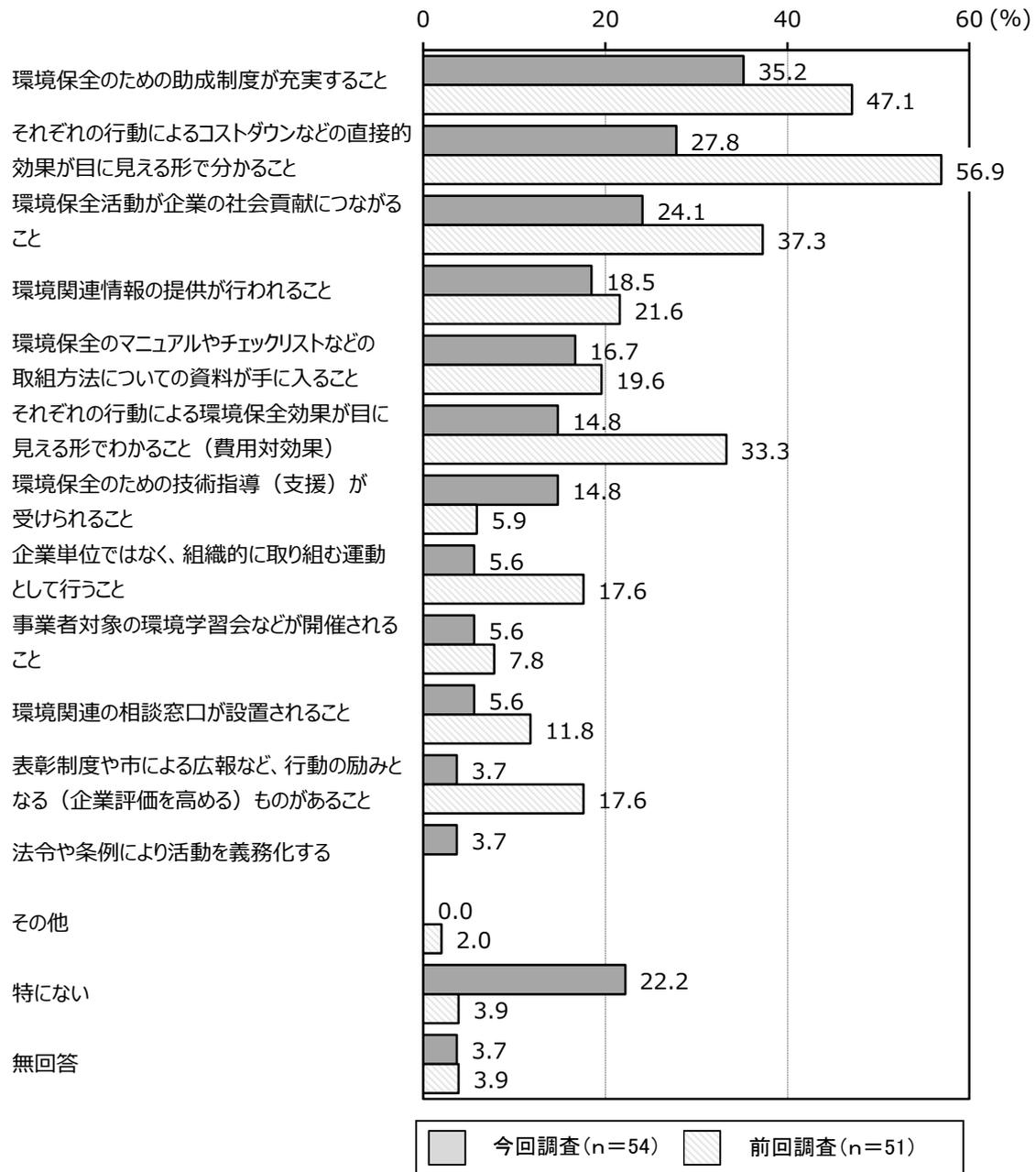
前回調査との比較については、「環境に配慮した製品（商品）を積極的に取り扱う」が前回より20ポイント以上、「条例や規制を遵守し、対策に着手する」「率先して環境保全型の事業活動を行う」が前回より10ポイント以上低くなっている一方、「特に取り組む予定はない」が前回より10ポイント以上高くなっています。



問8 貴事業者が、環境保全活動により積極的に取り組んでいただくためにはどのようなことが必要ですか。【複数回答】

環境保全活動により積極的に取り組むのに必要なことでは、「環境保全のための助成制度が充実すること」が35.2%と最も高く、次いで「それぞれの行動によるコストダウンなどの直接的効果が目に見える形で分かること」が27.8%、「環境保全活動が企業の社会貢献につながる」が24.1%となっています。

前回調査との比較については、「それぞれの行動によるコストダウンなどの直接的効果が目に見える形で分かること」が前回より30ポイント近く低くなっている一方、「特にない」が10ポイント以上高くなっています。



5. 今後実施すべき環境保全のための施策について

問9 尾張旭市の環境において、優れている点や劣っている点は何だと思えますか。また、今後尾張旭市で実施すべき環境保全施策などがありましたら、自由にご記入ください。

【記述回答】

優れている点は、緑が多い、住みやすいなど、劣っている点は、田畑が減りコンクリートが多い、道端・堤防・公園の草木の手入れが不十分など、今後実施すべき環境保全施策については、カーボンニュートラルに対する取組、休日などに利用できる河川敷、空家対策などの意見があがっています。

①優れている点

- ・瀬戸電周辺に田畑が残り、景観がよいところ。
- ・森林公園など緑が多い。
- ・行政の発信力、行動力。
- ・住みやすい町。
- ・町がきれい。森林公園周辺など、美観も優れている。
- ・森林公園も近く自然が身近に有り、池も多く水場が渡り鳥の休息地になっている。

②劣っている点

- ・田畑が減っている。コンクリートが多い。
- ・上下水道設備の普及が遅れている。道端、堤防等への草木の放置が多い。樹木の手入れ不足。道端等にある看板が壊れていても置きっぱなしにしている。
- ・カーボンニュートラルに対する取組。
- ・平池北の交差点のポケットパークが去年から草がボーボーでひどすぎる。小学生の通学路なのに子どもが虫にさされた。
- ・空家が増えると犯罪率も高くなると言われているが、今後も増えると予想。所有者が費用の面で先送りしているのが現状。尾張旭市の解体工事の補助金は上限 20 万なのでもっと上げて頂きたい。

③今後実施すべき環境保全施策

- ・本当に市民や、環境のためになる開発、発展なのかしっかりと考えて進んでほしい。
- ・カーボンニュートラルに対する取組。
- ・河川敷をもう少し休日などに利用出来ると良い。ゴミを片付け、責任者を決めた後、汚さない様指導の上利用できるると良い。遠方に出かけなくても近場で家族が楽しめる様願う。
- ・濁池の草や木も手入れしていなくてひどすぎる。
- ・空家が少なくなれば犯罪も起こりにくくなると考える。

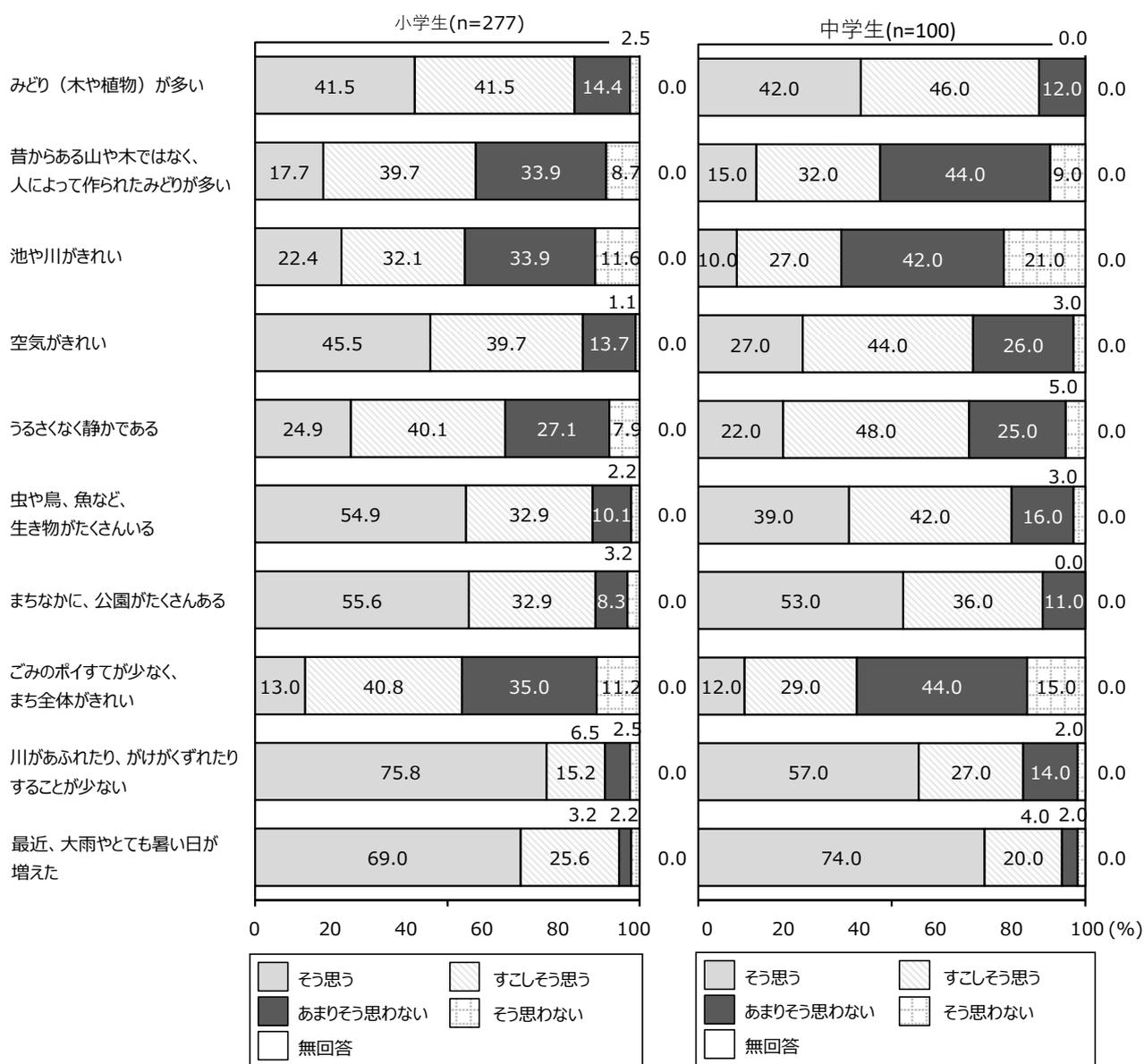
IV 小学生・中学生調査結果

問1 あなたは、住んでいる家の周りの環境について、どのように感じていますか？【単数回答】

家の周りの環境について感じることで、小学生の『そう思う』で「川があふれたり、がけがくずれたりすることが少ない」が75.8%と最も高く、次いで「最近、大雨やとても暑い日が増えた」が75.8%、「まちなかに、公園がたくさんある」が55.6%となっています。

中学生の『そう思う』で「最近、大雨やとても暑い日が増えた」が74.0%と最も高く、次いで「川があふれたり、がけがくずれたりすることが少ない」が57.0%、「まちなかに、公園がたくさんある」が53.0%となっています。

また小学生は『そう思う』と『少しそう思う』の合計がすべての項目において半数を超えています。中学生は『あまりそう思わない』と『そう思わない』の合計が「池や川がきれい」「ごみのポイ捨てが少なく、まち全体がきれい」「昔からある山や木ではなく、人によって作られたみどりが多い」で半数を超えています。



※その他記述回答

<小学生>

■良いと感じている意見

- ・環境はとて素晴らしいと思う。(2件)
- ・人と動物が触れ合う事ができる。
- ・ゴミの分別ができる
- ・尾張旭は、自然に育った木・川・池・花・森・林・山などが多い所が、多くあります。
- ・公園の設備がとても整っていると思う。

■良くないと感じている意見

- ・カラスにごみをあさられて、家の駐車場にごみが入ってくることがある。
- ・空き地が増えて来た
- ・町は、そんなにきれいではないと思います。
- ・一昨日草取りをしてそのゴミ袋に入った草を一輪車で運んでその後、お年よりの人に褒めてもらった。
- ・人間のせいで死ぬ動物が多くなってきている。
- ・近くの公園で、少しゴミが少し多い。
- ・ゴミがたくさん落ちている
- ・犬のフンを落としたままの人が多い。
- ・川や池は汚いと思う。なぜなら濁ったりしているから。濁っているだけならいいけど、今池の北の方のルートが分かれる所とか、たまにギシギシ言うし、コケとかで滑って困る。
- ・うんこ捨てる人が多くて踏みそうになったり踏んで困っているのでどうかしてください。
- ・道路の横の木や草を切らない方が安全だと思う。
- ・夜中に明るい。
- ・もう少し自然が、あるといいと、思う。
- ・道路に、ゴミがない方がいい。
- ・あまりゴミは落ちていないが、たまに色々なゴミが落ちているのでポイ捨てが1つもない町にしたい。
- ・私の家の近くに、森みたいなところがあります。そこは誰も手入れしていないところで、木が古びたり道に出たりしないように、他の森も整備したほうがいいと思う。
- ・少し草が少ない
- ・猫がよく居る。
- ・緑が減ってきた。
- ・危険なことがないようにしてほしい。
- ・自然や緑が少なく、建物が多い。
- ・最近、去年よりも暑い日が多くある？
- ・近くの木がばっさいされてる
- ・最近、ポイ捨てが増えた。

- ・風が強くなってきて、台風の心配が増量。風も強くなってきた。最近、雨で遊べる日が少なくなっている。梅雨は終わったと聞いていたが、梅雨は今が始まりなんじゃないかと思う。晴れ目と曇りがあって、晴れ七日晴れなのか曇りなのか分からない。雷が多いので、心配。
- ・花粉が辛くて、目を瞑りながら歩かないと辛いほどの日もありました。風が少ないので、夏は暑く、冬にたくさん風が吹くので寒い。
- ・緑をもうちょっと、増やしてほしい。
- ・ポイ捨てが多すぎるし、小さい子供たちの声がとてもうるさく感じる。
- ・雑草が通学路、集合場所に多い。
- ・野良猫が多い。
- ・海などにポイ捨てをするのが増えてきた。

<中学生>

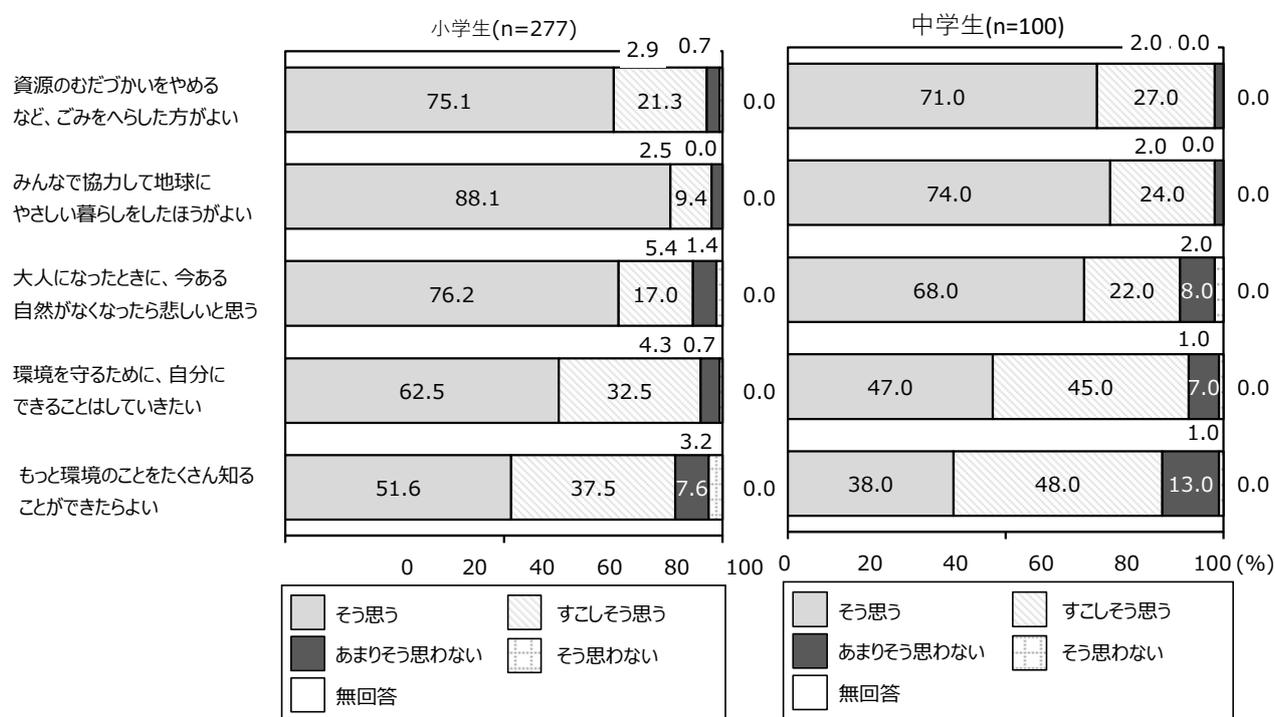
- ・パスポートが発行できなくて不便を感じる。グリーンシティは意味があるのかわからない。
- ・地球温暖化が進んでいる。
- ・シンボルロードでは緑が多くあるのに、踏切を渡ると途端に自然が少なくなってしまう。
- ・川や池をもっと綺麗にして欲しい。
- ・ショッピングモールを増やしてほしい。
- ・虫（ハチ、セミ、害虫）が多い。

問2 未来の尾張旭市の環境について、あなたはどのように思いますか？【単数回答】

未来の環境について思うことでは、小学生の『そう思う』で「みんなで協力して地球にやさしい暮らしをしたほうがよい」が88.1%と最も高く、次いで「大人になったときに、今ある自然がなくなったら悲しいと思う」が76.2%、「資源のむだづかいをやめるなど、ごみをへらした方がよい」が75.1%となっています。

中学生の『そう思う』で「みんなで協力して地球にやさしい暮らしをしたほうがよい」が74.0%と最も高く、次いで「資源のむだづかいをやめるなど、ごみをへらした方がよい」が71.0%、「大人になったときに、今ある自然がなくなったら悲しいと思う」が68.0%となっています。

また小学生、中学生ともに「もっと環境のことをたくさん知ることができたらよい」を除くすべての項目で『そう思う』と『少しそう思う』の合計が9割を超えています。



※その他記述回答

<小学生>

- ・自然を守りたいと思う。(2件)
- ・緑を増やしたい。(3件)
- ・病気がなくなること。
- ・自然と都会が共存できるまちづくりをしたい。
- ・私は、動物が好きなのでこれからも、動物について考えたらいいなと思う。
- ・未来も今の自然があればいいと思いました。
- ・木が全て無くなって酸素マスクで生活することになりそう。
- ・緑を減らさないでほしい。
- ・森が増えてほしい。
- ・田んぼが、多い。
- ・みんな仲良く出来る。
- ・環境を守るためには、たくさんの工夫が大切だと思う。その為には、みんな協力して活動できるように人と関係性を高めるように、まずは工夫した方がいいと思う。
- ・将来、環境が悪くなってやりたいことが出来なくなるのは嫌だから環境保護していきたい。
- ・環境のことを未来の子どもにも知ってもらいたい。
- ・緑をそんなけさないでほしい
- ・自分達が死んでしまった後も子孫に綺麗な自然や環境を見せたい。
- ・絶対、木が無くなる後、自分勝手な、歩道にゴミを捨てる、若者が現れる。
- ・生き物がたくさんいる町がいい。
- ・緑が少ないところがあるので、緑の羽募金などをして、お金を貯めて、緑をもっと増やしたら、環境も良くなるし、空気も美味しくなるので、空気も美味しくなるので、緑をもっともっと増やして、世界で緑が一番多いところ選ばれるような尾張旭にしていきたい。なので、緑の羽募金をもっとすればいいと思う。
- ・環境のことを考える授業をやったら地球の負担をより軽くして、暑い期間を縮めることができると思う。
- ・世帯関係なく、未来の環境について意見を出し合うホームページを作って、色々人の意見を取り入れていった方がいいと、私は思う。
- ・最近、ちょっと厚いだけで扇風機やエアコンを何時間も使いすぎてると思うことが多い。
- ・もっと尾張旭市が綺麗になってほしい。
- ・もっと今の環境よりもよりよくする為にSDGsに協力したい。

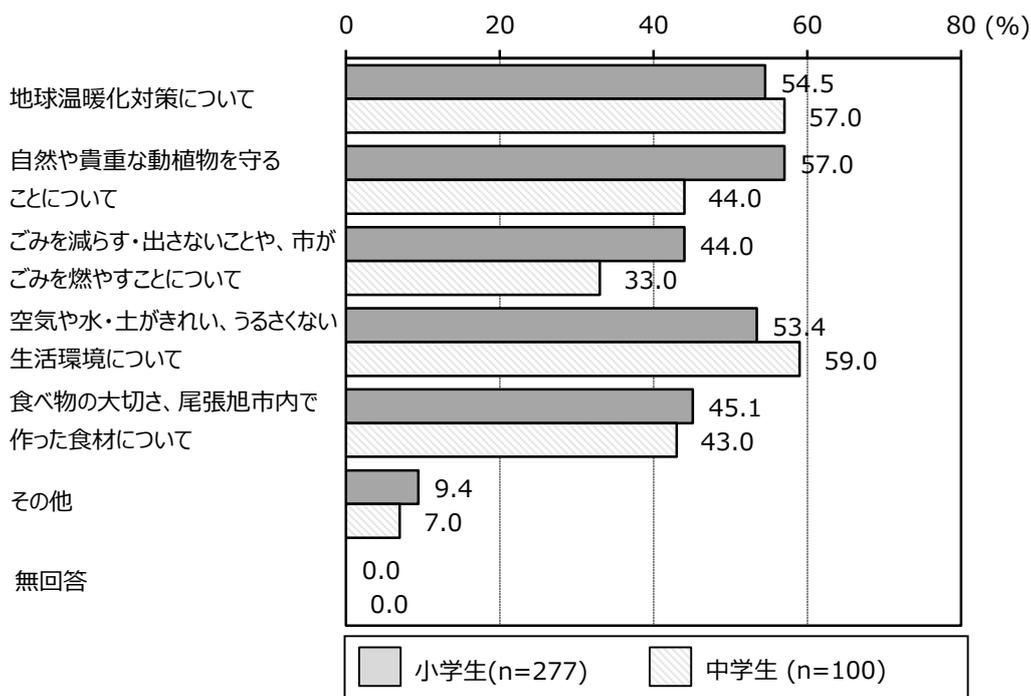
<中学生>

- ・今年の夏に、節電を呼びかけたことにより熱中症になる人が多くいたので、環境を大切にするのはいいが、お年寄りの人などは「節電」と聞くと極端になってしまうのでしっかりと呼びかけをしてほしい。
- ・自然を減らさないで欲しい。
- ・とても空気がキレイなまちにしたいなと思う。
- ・いつか臭くないようになってほしい。

問3 あなたは環境についてどんなことを学んでみたいと思いますか？【複数回答】

環境について学んでみたいことでは、小学生で「自然や貴重な動植物を守ることに」が57.0%と最も高く、次いで「地球温暖化対策について」が54.5%、「空気や水・土がきれい、うるさくない生活環境について」が53.4%となっています。

中学生で「空気や水・土がきれい、うるさくない生活環境について」が59.0%と最も高く、次いで「地球温暖化対策について」が57.0%、「自然や貴重な動植物を守ることに」が44.0%となっています。



※その他の意見

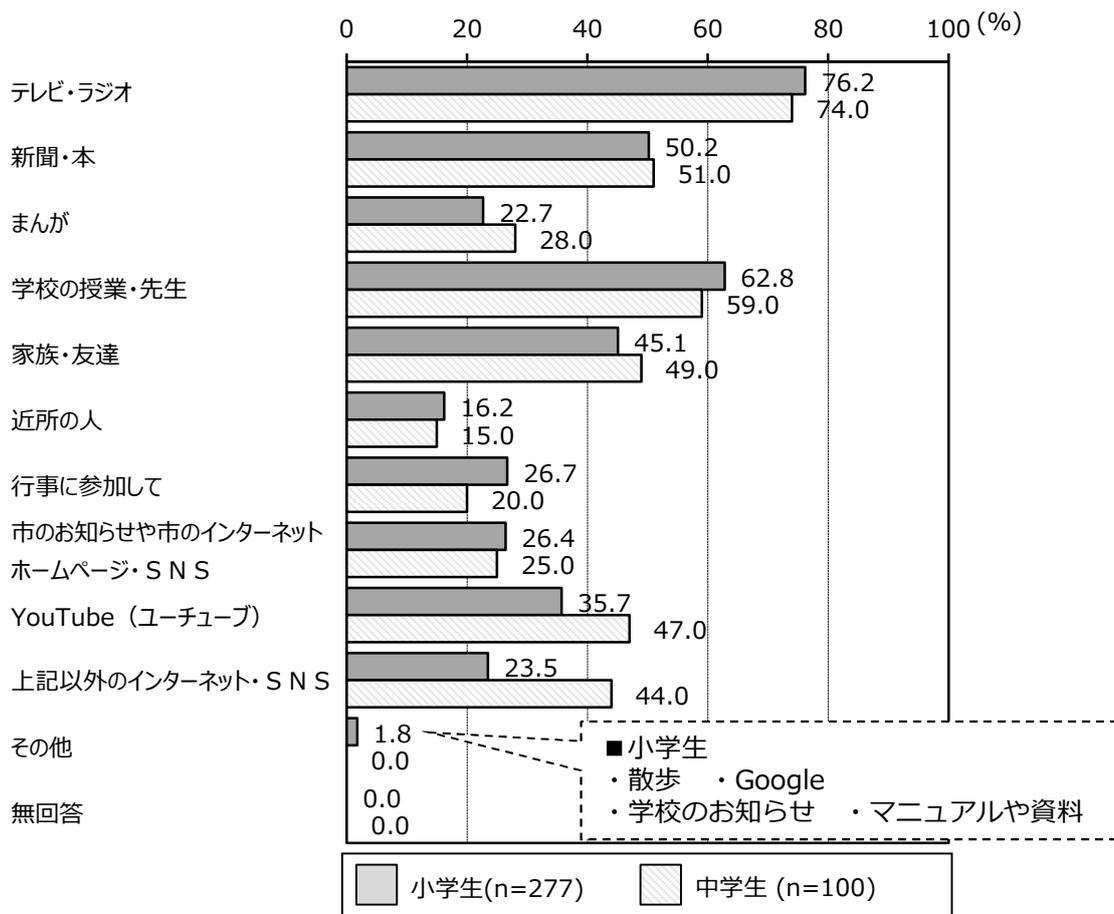
■小学生

- ・環境で変わる人の健康について。
- ・リサイクルして作られたもの。
- ・緑を多くするための取り組み。
- ・生き物の環境が良くなるようなことを学んでみたい。
- ・尾張旭市が抱えている問題について。
- ・自然災害。

問4 あなたが環境のことについて知る方法はなんですか？【複数回答】

環境について知る方法では、小学生で「テレビ・ラジオ」が76.2%と最も高く、次いで「学校の授業・先生」が62.8%、「家族・友達」が45.1%となっています。

中学生で「テレビ・ラジオ」が74.0%と最も高く、次いで「学校の授業・先生」が59.0%、「新聞・本」が51.0%となっています。また中学生は小学生と比較して「市のお知らせや市のインターネットホームページ・SNS」「YouTube（ユーチューブ）」「上記以外のインターネット・SNS」といったインターネットからの情報入手方法も高くなっています。



問5 尾張旭市の環境について、あなたが思っていることや、「将来こうなったらいいな」と思うことがあれば教えてください。

小学生では、自然あふれるまち、ポイ捨てが無い、空気が良い、生き物や人々が暮らしやすいまち、などの意見があがっています。

中学生では、ポイ捨てが無い、緑が増えるといい、環境や自然災害について啓発を行う、などの意見があがっています。

■小学生（主な意見）

- ・自然あふれるまち。(45件)
- ・ごみが少ないまち。(11件)
- ・ポイ捨てが無い。(11件)
- ・空気が良い。(6件)
- ・生き物や人々が暮らしやすいまち。
- ・将来、自然の緑などを守っていきたいと思った。
- ・道路が、きれい。自然のある公園は、残しておきたい。
- ・みんなが自然のことやゴミ問題のことについて考えているまちがいい。
- ・ゴミの燃やす量を減らしたり二酸化炭素をできる限り減らしたり、資源を無駄遣いしないようにしてほしい。また、木の伐採を減らしたり、それができない場合は、木の伐採をした後、また木を植えてほしい。
- ・将来に向けて、今の自然を守っていける事ができればいいなと思うし、「ゴミのない尾張旭市」をつくりたい。
- ・今より涼しく、雑草がなく、花がたくさんあってゴミもなく花が綺麗なときになってほしい。環境問題が授業にあることが当たり前で、街の人たちみんなが節電をしているようなことが起きていてほしい。
- ・自然がある、公園が広くなり、みんなが住みやすい街。みんながルールを守る、みんなが平等の世界。地球温暖化にも気をつけたい。
- ・将来CO2を減る技術があったら良いなと思う。そして、町中がきれいになったらもっと良いと思う。
- ・自然が少し少ないと思う。
- ・建築物より自然環境に力をいれてほしい。
- ・ゴミが少なくなって、色々な植物が増えるといいなと思う。貴重な動物が暮らしやすい良いかんきょうになったら良いなと思う。
- ・ゴミ置き場のゴミが散らばらないようになってほしいと思う
- ・公園に犬のフンを置き去りにしていないといいと思う。

■中学生（主な意見）

- ・ポイ捨てが無い、まちなかにごみが無い。（12件）
- ・緑が増えるといい。（9件）
- ・尾張旭市は緑や自然が多く、人々も穏やかな人たちが多く。特に問題などないが、環境への取り組みがあまり行われていないのでイベントなどを増やしたら良いと思う。地球温暖化や異常気象などの備えについて考えたい。あまり環境への取り組みについてやりたくないという子どもたちがいるかと思う。そのためにも分かりやすい漫画や本を作ったり、ホームページに環境への取り組みについての写真を添付したりしてほしい。今ある自然が災害などでなくなってしまうと大変なのでそれについての取り組みも考えておくと安心。南海トラフ地震がいつ起きるかわからないし、震度が大きいと思うので私たちにも何かできることがあると良い。
- ・矢田川がきれいになる。
- ・地球温暖化が今よりも良くなって、人も動物も生きやすい環境になっているといいなと思う。
- ・今のきれいな空気が未来にも残っていてほしい。
- ・自分達が大人になっても綺麗な環境のままだと良いなと思う。
- ・公園がたくさんある市になってほしい。
- ・尾張旭市は、ある程度発展している中でも自然も多く、かなりバランスがいいので、無理に発展させようとして自然を無くしたり、逆に自然を増やしすぎてしまったりすることはせず、このバランスのいい尾張旭をいつまでも続けて行ってほしいと思う。
- ・体育館にクーラーをつける。木を増やす。
- ・緑を残しつつ市内の都市化を進める。
- ・自然が多く暮らしやすい町にしたい。地球温暖化や食品ロスの対策をしていく必要がある。
- ・尾張旭市は自然が多く、綺麗な街だと思う。生き物もたくさん見つかるので自然が多いと思った。最近、カブトムシや、クワガタを見なくなったので、これからは、自然を増やして欲しい。
- ・せっかく住み良い街なのに公園の整備が行き届いてない。草刈りや掃除は地域の住民だけでは無理がある。
- ・キレイな空気の町で公園が沢山あって子供が楽しく暮らす。
- ・自然の量は今のまま維持してほしい、自然を残したまま公園など遊べるところを作ってほしい、ゴミの分別をみんな意識してほしい。
- ・今よりも自然な植物が増えて綺麗な街でいたい。公園を今よりも増やしたい。動植物を大事にするような街でいたい。生き物が沢山いるような街にしたい。
- ・自然はそのまま残しておくべきだと思う。将来も暮らしやすい街だと良いなと思う。
- ・もう少し涼しいまち。
- ・臭くなくなってほしい。
- ・木などを植える場合、植物をちゃんと管理してほしい。（例：道に木が飛び出ているなど。）
- ・道路が綺麗に整備されているまちになればいいと思う。
- ・綺麗な空気が流れる地域にしていきたい。
- ・緑・公園が沢山あるので何年後もそれが守られている地域にしていきたい。
- ・素晴らしい自然が広がる場所になって欲しい。

V 学校・保育所・幼稚園調査結果

1. 環境教育に対する取り組みについて

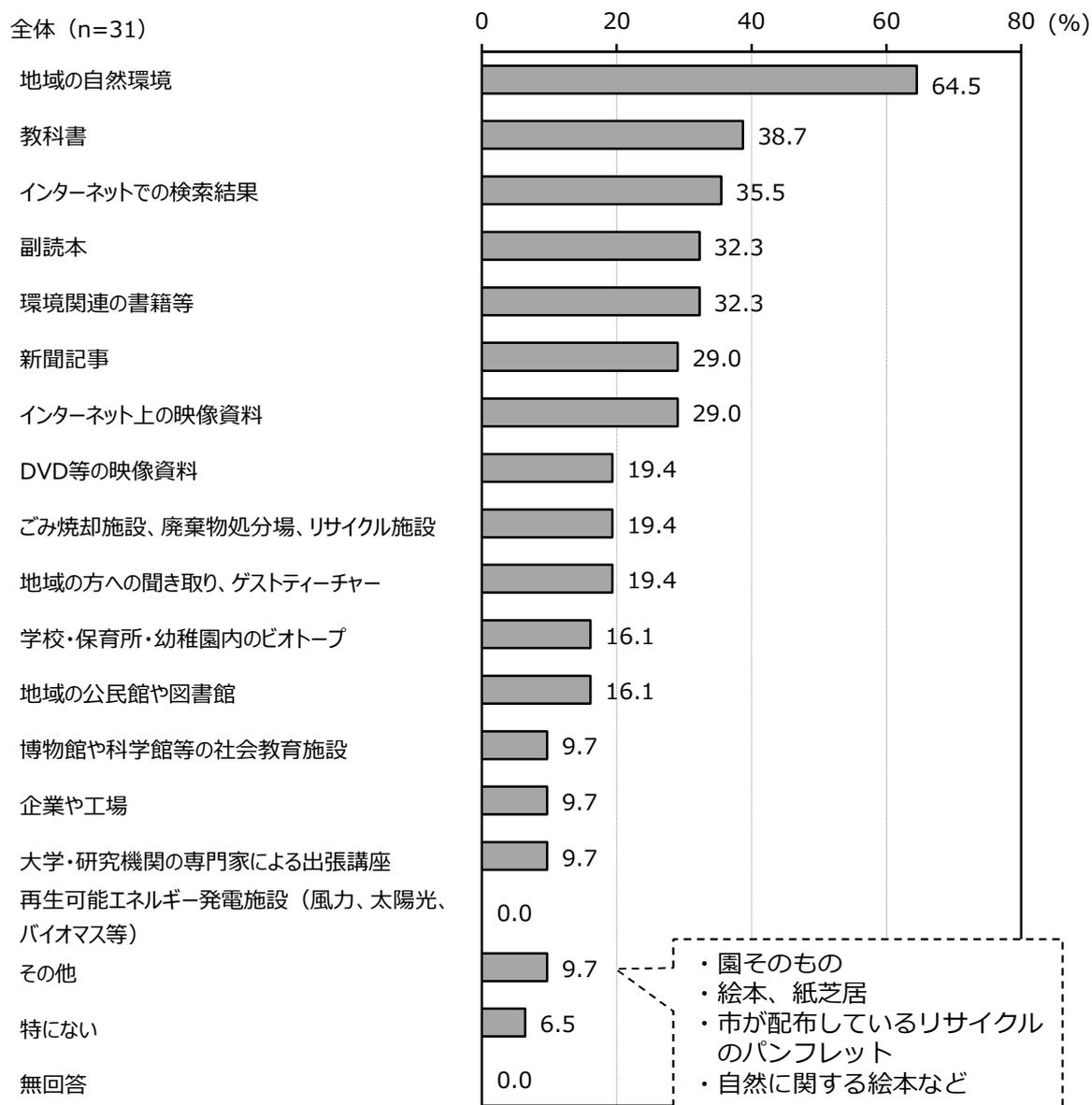
問1 どのような内容の環境教育を行っていますか。【複数回答】

行っている環境教育の内容では、「動植物や自然に触れ親しむこと」が90.3%と最も高く、次いで「ゴミの分別・紙のリサイクルなど、ゴミや資源循環に関すること」が80.6%、「生命の尊さや自然の大切さに関すること」が77.4%となっています。



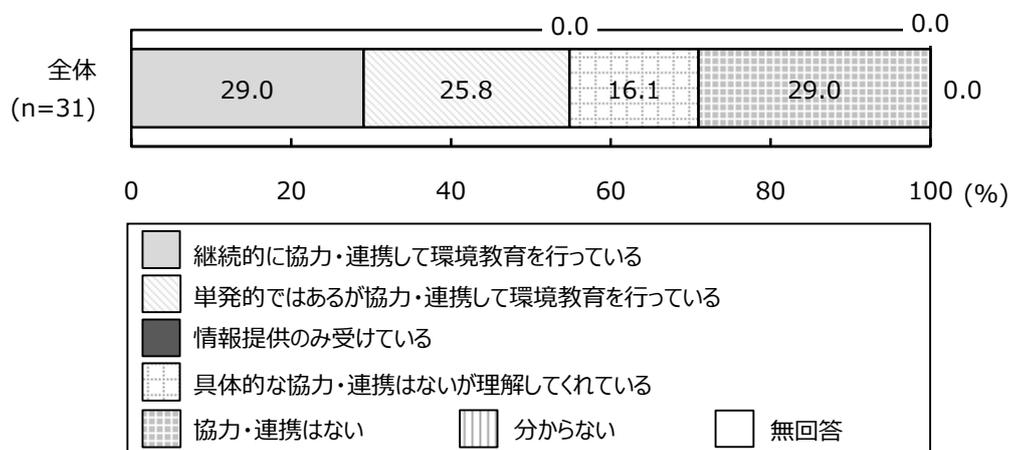
問2 環境教育を行うにあたり活用しているものは何ですか。【複数回答】

環境教育を行うにあたり活用しているものでは、「地域の自然環境」が64.5%と最も高く、次いで「教科書」が38.7%、「インターネットでの検索結果」が35.5%となっています。



問3 環境教育に取り組む際に地域・NPO・企業等との協力・連携はありますか。【単数回答】

環境教育に取り組む際に地域・NPO・企業等との協力・連携では、「町内会や地域住民、NPO、企業等と継続的に協力・連携して環境教育を行っている」「協力・連携はない」がともに29.0%と最も高く、次いで「町内会や地域住民、NPO、企業等と単発的ではあるが協力・連携して環境教育を行っている」が25.8%となっています。

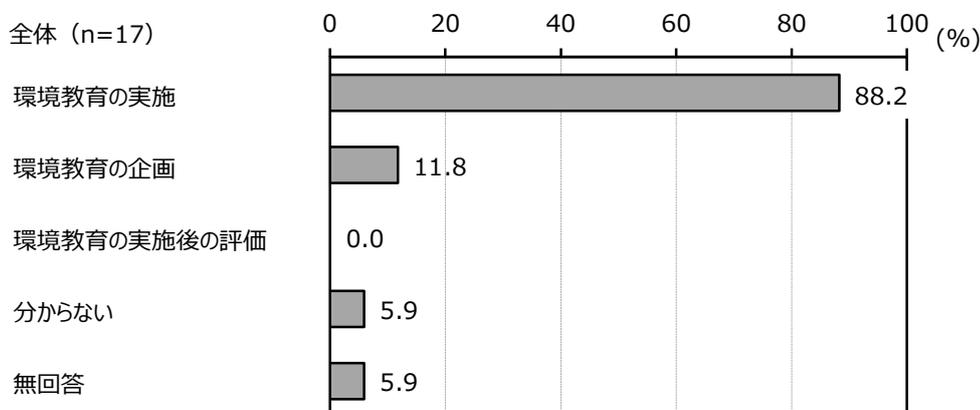


問4 環境教育のどのような段階で地域・NPO・企業等と協力・連携する機会がありますか。

【複数回答】

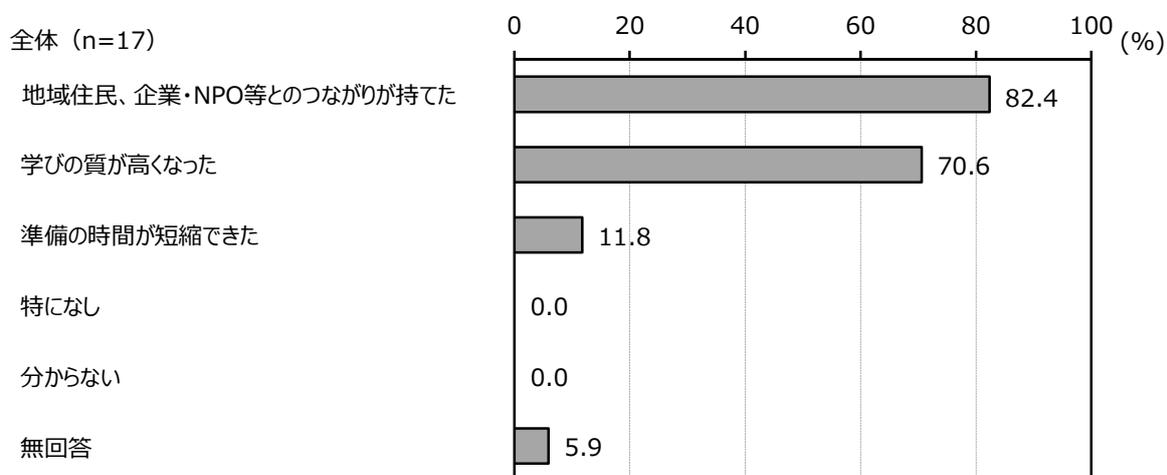
(問3で「町内会や地域住民、NPO、企業等と継続的に協力・連携して環境教育を行っている」「町内会や地域住民、NPO、企業等と単発的ではあるが協力・連携して環境教育を行っている」「町内会や地域住民、NPO、企業等から情報提供のみ受けている」のいずれかを回答した方のみ)

どのような段階で地域・NPO・企業等と協力・連携するかでは、「環境教育の実施」が88.2%と9割近くとなっています。



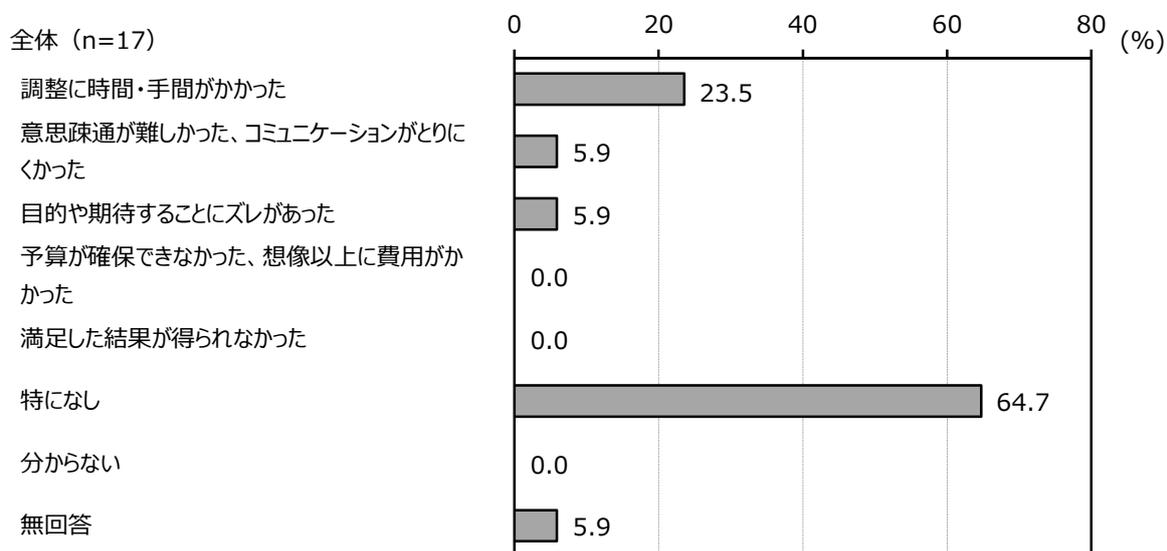
問5 地域・NPO・企業等と協力・連携してよかった点は何ですか。【複数回答】

地域・NPO・企業等と協力・連携してよかった点では、「地域住民、企業・NPO 等とのつながりが持てた」が82.4%と最も高く、次いで「学びの質が高くなった」が70.6%となっています。



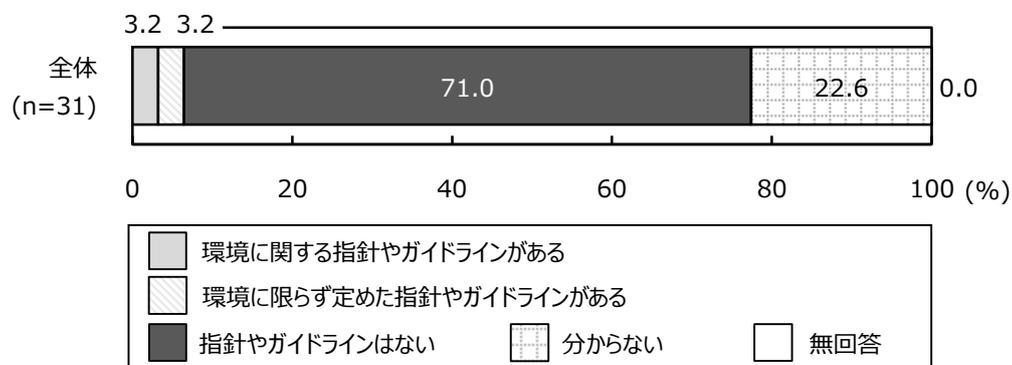
問6 地域・NPO・企業等と協力・連携してデメリットはありましたか。【複数回答】

地域・NPO・企業等と協力・連携したことによるデメリットでは、「特になし」が64.7%と最も高く、次いで「調整に時間・手間がかかった」が23.5%となっています。



問7 環境教育に取り組む際に、地域・NPO・企業等と協力・連携するための指針やガイドラインはありますか。【複数回答】

環境教育に取り組む際に、地域・NPO・企業等と協力・連携するための指針やガイドラインの有無では、「指針やガイドラインはない」が71.0%と最も高く、次いで「分からない」が22.6%となっています。

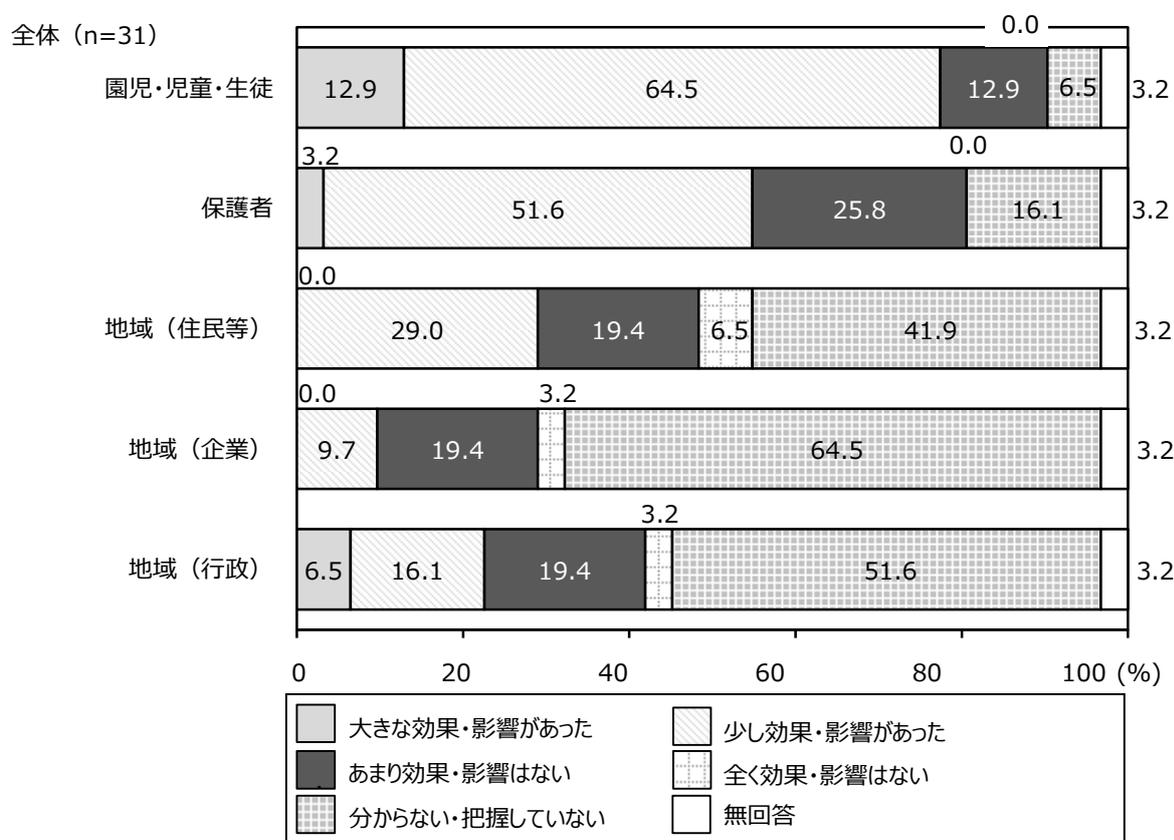


2. 環境教育に対する、園児・児童・生徒、保護者、地域への効果や影響について

問8 環境教育の実施により、以前(おおむね5年前)と比べて、園児・児童・生徒、保護者、地域に対し、効果や影響はあったと思いますか。

【単数回答】

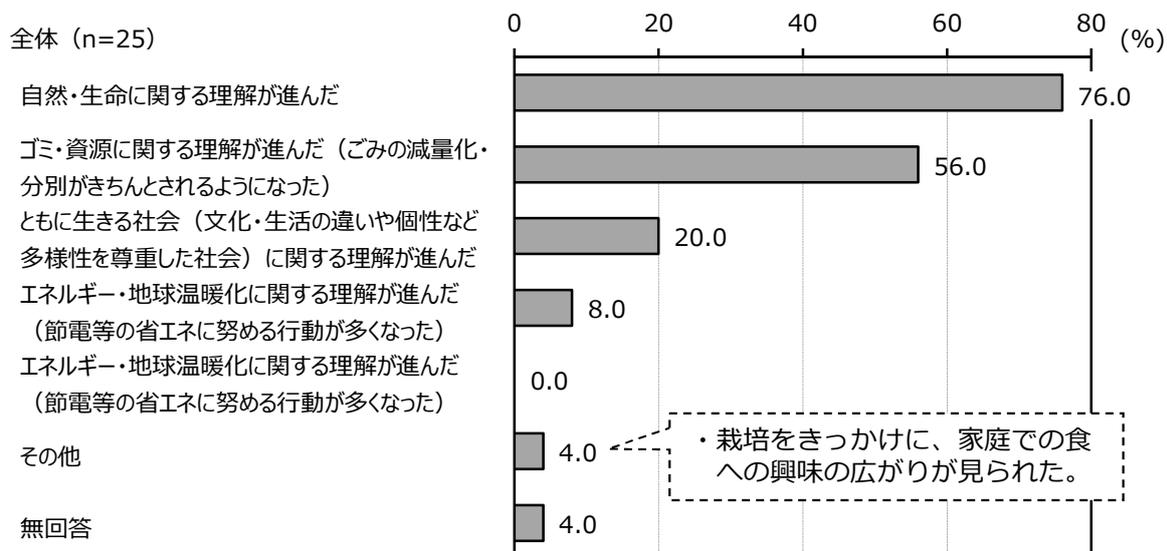
環境教育の実施により、以前(おおむね5年前)と比べて、園児・児童・生徒、保護者、地域に対し、効果や影響はあったと思うかでは、『園児・児童・生徒』『保護者』で「少し効果・影響があった」がそれぞれ64.5%、51.6%と最も高く、『地域(住民等)』『地域(企業)』『地域(行政)』で「分からない・把握していない」がそれぞれ41.9%、64.5%、51.6%と最も高くなっています。



問9 効果や影響が感じられたのはどのようなことからでしょうか。【複数回答】

(問8で『園児・児童・生徒』『保護者』に「大きな効果・影響があった」または「少し効果・影響があった」と回答した方のみ)

どのようなことで感じたかでは、「自然・生命に関する理解が進んだ」が76.0%と最も高く、次いで「ミ・資源に関する理解が進んだ（ごみの減量化・分別がきちんとされるようになった）」が56.0%、「ともに生きる社会（文化・生活の違いや個性など多様性を尊重した社会）に関する理解が進んだ」が20.0%となっています。

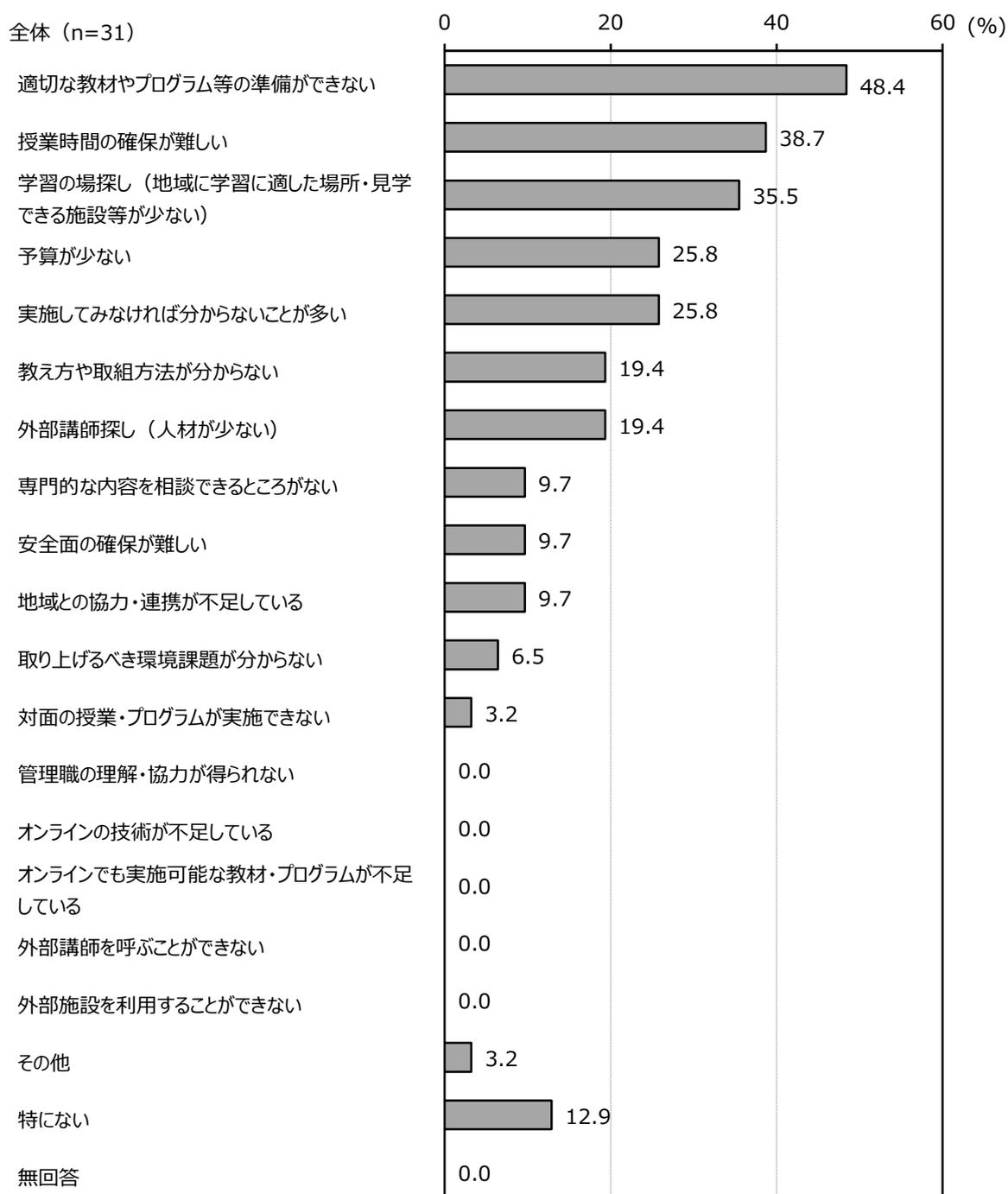


3. 環境教育を行う際の課題について

問 10 授業や学校活動で環境教育を行う際の課題は何ですか。

【複数回答】

授業や学校活動で環境教育を行う際の課題では、「適切な教材やプログラム等の準備ができない」が48.4%と最も高く、次いで「授業時間の確保が難しい」が38.7%、「学習の場探し（地域に学習に適した場所・見学できる施設等が少ない）」が35.5%となっています。



※その他の回答

- ・不用品を利用して教材にしているが、廃棄する時にコストがかかる。そもそも家庭ゴミなので配慮してほしい。
- ・幼稚園児が理解できる内容を学べる機会・場所が少ない。
- ・課題とは違うが、野菜を育てたり、虫の飼育をしたりすることは環境教育ととらえていいのか。年長児にはごみの分別について知らせる機会を作っている。
- ・乳児の園のため、できることが限られている。なかなか教育の幅が広がっていかないのが悩み。
- ・教える方の、生活遊びの中での取り入れ方の難しさ。単発ではなく継続して行うときに、他の保育活動との兼ね合いや、保育士のクラスの組み立て方が未熟な点があるので、環境のことを組み入れて、となると決まった活動になりがち。

4. 今後実施すべき環境保全のための施策について

問 11 今後尾張旭市で実施すべき環境教育や環境保全施策などがありましたら、自由にご記入ください。【自由記述】

紙芝居など視覚的に分かりやすい教材の用意、外部からの話を聞く機会を設ける、市内の施設で長期休業中に参加できるイベントの実施や応募作品の展示、森林公園を授業に活かす、などといった意見があがっています。

- ・紙芝居など視覚的に分かりやすい教材の用意。
- ・園では、身近な環境での興味、関心を広げることで、環境に対する意識がもてるきっかけになるといいと思う。年長児であれば、外部からの話を聞く機会があってもよいかと思う（保護者へのアピールとなるところもあるかと思う）。
- ・実際に来園して環境教育をしていただける人がいれば嬉しい（廃材を使って、製作し、環境の話をする等）。
- ・畑を教えてくれる地域の人との関わりを増やす。
- ・長期休業中に参加できるイベントや応募作品があると良いと思う。長期休業中に、市内の様々な施設に遊びに行くと児童から教えてもらった。その施設等で環境や市の環境について学んだり、深く考えたりする場が増えるとより良いと思う。
- ・子どもたちにとって、森林公園はとても身近な場所なので、もっと授業活動にいかせることができたらと思う。
- ・環境について保育士が考えたり学んだりできる機会を作る。
- ・ありのままの自然に触れる環境を大切にしているため、人工的なビオトープには違和感を覚える。歪曲された環境教育がまかり通っているようだ。
- ・園児に取り上げると良い内容の具体化。
- ・幼稚園児でも理解できそうな教材（絵本・紙芝居・DVD）があれば、サンプルや資料を提供していただきたい。
- ・今後実施予定の活動があるが、市役所と連携して他園に紹介するなど協力体制を作れば、と考えている。
- ・SDGsの考えを広めていけるように教育現場からも発信していきたい。

VI 市民団体調査結果

1. 活動について

問1 活動内容【単数回答】

活動内容は、「緑化推進、管理・保全活動」が最も多く、次いで「自然環境の保全」「公園の清掃、美化、植栽の管理」となっています。

選択肢	回答数
緑化推進、管理・保全活動	6
自然環境の保全	5
公園の清掃、美化、植栽の管理	5
環境保全に関する啓発活動	3
自然体験・環境学習の指導支援	3
まち・道路の美化	2
ごみの減量・リサイクルの推進	2
大気・水質等の汚染物質に関する計測や情報提供	0
その他（着物の端切れの再利用を通し、小物作成等楽しい創造力を育む）	1

問2 財源【複数回答】

財源は、「行政の補助・助成金」が最も多く、次いで「会費・入会金」となっています。

選択肢	回答数
行政の補助・助成金	5
会費・入会金	4
寄付金・協賛金	2
自発的事業による収入	2
民間の補助・助成金	1
行政の委託事業による収入	1
民間の委託事業による収入	0
その他	0

問3 活動の頻度【単数回答】

活動の頻度は、「月1回程度」が最も多く、次いで、「週1回程度以上」「年1回程度」が多くなっています。

選択肢	回答数
週1回程度以上	1
月1回程度	2
2～3ヶ月に1回程度	0
半年に1回程度	0
年1回程度	1
年1回未満	0
その他（月1回の役員会・日常的活動・講習会、月2～3回）	2

問4 活動を行う上で感じている課題【複数回答】

活動を行う上で感じている課題は、「人材の不足」「団体の存在や活動の認知度の不足」が最も多く、次いで、「活動資金の不足」「新しい情報等の不足」となっています。

選択肢	回答数
人材の不足	4
団体の存在や活動の認知度の不足	4
活動資金の不足	1
新しい情報等の不足	1
活動場所の不足	0
機材の不足	0
技術・技能の不足	0
行政や他団体、事業者とのネットワーク不足	0
その他（ネット配信力の不足、会員の高齢化対策）	3

2. 環境に配慮した行動の実践状況について

問5 以下の環境保全の各取り組みについて、貴団体の取り組み状況【単数回答】

環境保全の各取り組みについては、徹底して取り組んでいることとして、「環境報告書を作成するなどし、取り組みを定期的に公表している」が最も多くなっています。取り組んでいることとしては、「団体員への環境教育、意識啓発を定期的に実施している」が最も多くなっています。

	選択肢と回答数				
	徹底して取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいない	今後取り組む予定	該当しない
環境負荷の少ない物品の購入（グリーン購入）に努めている	0	2	1	0	1
環境報告書を作成するなどし、取り組みを定期的に公表している	2	1	0	0	2
様々な環境配慮活動を実践している（廃棄物の削減・節電など）	1	3	0	0	1
団体員への環境教育、意識啓発を定期的に実施している	0	4	1	0	0
自然保護団体、環境保全団体などの活動に対し、協力、支援などを行っている	0	3	1	0	0

※その他の取組

- ・廃棄物の削減だけでなく、生ごみ、古着などの再資源化に取り組んでいる。

問6 貴団体は環境についての情報や知識（環境規制や助成制度の変更等）を、どこで入手していますか。【複数回答】

環境についての情報や知識の入手先は、「一般向けの新聞や雑誌」が最も多く、次いで、「テレビやラジオ」「インターネット・SNS」「市の広報誌やホームページ」「環境保全団体の広報誌やイベント」となっています。

選択肢	回答数
一般向けの新聞や雑誌	4
テレビやラジオ	3
インターネット・SNS	3
市の広報誌やホームページ	3
環境保全団体の広報誌やイベント	3
業界向けの新聞や雑誌	2
企業の広報誌やイベント	1
他の企業からの情報提供	0
その他（市の講座「あさひエコ大学」）	1
特になし	0

問7 市のホームページや広報誌などにおいて、提供・発信してほしいと思う環境保全に関する情報は何か。【3つまでの複数回答】

市のホームページや広報誌などにおいて、提供・発信してほしいと思う環境保全に関する情報は、「地球温暖化問題など、地球環境問題に関する情報」「市内のごみ焼却量や再資源化、リサイクルの状況などに関する情報」が最も多くなっています。

選択肢	回答数
地球温暖化問題など、地球環境問題に関する情報	3
市内のごみ焼却量や再資源化、リサイクルの状況などに関する情報	3
市内の大气や水質、騒音の状況など、生活環境に関する情報	2
SDGs、再生可能エネルギーなど、環境に関する新しい取り組みの情報	2
市内に生息する動植物や貴重な自然環境などに関する情報	1
市内で環境保全活動をしている市民団体やNPO等に関する情報	1
その他（SDGsは日本が古来から行っていることの発信（SDGs=もったいない精神である）、市のSDGsの目標と現状）	2
特になし	1

問8 貴団体はSDGsを知っていますか。【単数回答】

SDGsの認知度は「よく知っている」が最も多くなっています。

選択肢	回答数
よく知っている	5
言葉も内容もなんとなく知っている	1
言葉は知っているが内容は分からない	0
全く分からない	1

問9 貴団体の活動方針や活動内容にSDGsを取り入れていますか。【単数回答】

団体における、活動方針や活動内容にSDGsを取り入れているかどうかについては、「活動方針や活動内容にSDGsをすでに取り入れている」と「活動方針や活動内容にSDGsを取り入れていないし、今後も予定はない」に二分されています。

選択肢	回答数
活動方針や活動内容にSDGsをすでに取り入れている	4
活動方針や活動内容にSDGsを取り入れていないが、今後取り入れる予定がある	0
活動方針や活動内容にSDGsを取り入れていないが、機会があれば取り入れたい	0
活動方針や活動内容にSDGsを取り入れていないし、今後も予定はない	3

問10 特に意識しているSDGsは何ですか。【単数回答】

(問9で「活動方針や活動内容にSDGsをすでに取り入れている」と回答した団体のみ)

特に意識しているSDGsは、「住み続けられるまちづくりを」が最も多くなっています。

選択肢	回答数	選択肢	回答数
貧困をなくそう	0	人や国の不平等をなくそう	0
飢餓をゼロに	0	住み続けられるまちづくりを	3
すべての人に健康と福祉を	1	つくる責任、つかう責任	1
質の高い教育をみんなに	1	気候変動に具体的な対策を	0
ジェンダー平等を実現しよう	0	海の豊かさを守ろう	2
安全な水とトイレを世界中に	0	陸の豊かさを守ろう	1
エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	0	平和と公正をすべての人に	0
働きがいも経済成長も	0	パートナーシップで目標を達成しよう	1
産業と技術革新の基盤をつくろう	0		

問 11 活動方針や活動内容に SDGs を取り入れる理由は何ですか。また、SDGs に取り組む中で感じる課題があればお教えてください。【複数回答・記述回答】

(問 9 で「活動方針や活動内容に SDGs をすでに取り入れている」または「 2. 活動方針や活動内容に SDGs を取り入れていないが、今後取り入れる予定がある」と回答した団体のみ)

活動方針や活動内容に SDGs を取り入れる理由は、「自団体の活動目的の達成につながると考えたから」が最も多くなっています。また、課題については、既存の活動との結びつき、行政との協働による里山の保全があがっています。

選択肢	回答数
自団体の活動目的の達成につながると考えたから	3
SDGs の考え方を取り入れることで自団体の活動に役立つと考えたから	2
市内で活動する団体の責任として重要だと考えたから	1
リスク対策のために重要だと考えたから	0
活動に関わる企業や市民からの要請があり対応せざるを得ないから	0
その他	0

【SDGs に取り組む際の課題】

- ・ SDGs が出てくる前から取り組んでいる活動と SDGs との結び付け
 (当団体は毎年、次の年度を動活動の流れをつかむか、SDGs はすでに 5 年前から実施しているが、SDGs と言われる前から活動として実施しているものばかりである。新聞、週刊誌、月刊誌、専門書を読んでおり、チェックを入れて資料にしている。スタートのチャンスを待っているのが私たちの長所であり、COP10、生物多様性など、毎年講演会を開催しており、資料も作成しているので、団体としては皆様に公開している。)
- ・ 市内の里山が減っており、どう守るか、行政と一緒に考えていきたい

問 12 活動方針や活動内容に SDGs を取り入れない理由は何ですか。また、SDGs に取り組むための課題があればお教えてください。【複数回答・記述回答】

(問 9 で「活動方針や活動内容に SDGs を取り入れていないが、機会があれば取り入れたい」または「活動方針や活動内容に SDGs を取り入れていないし、今後も予定はない」と回答した団体のみ)

活動方針や活動内容に SDGs を取り入れない理由は、「何から取り組んでよいか分からないから」が最も多くなっています。

選択肢	回答数
何から取り組んでよいか分からないから	2
取り入れる意義が分からないから	1
自団体の活動の活性化につながらないから考えるから	0
人材が不足しており取り組む余裕がないから	0
資金が不足しており取り組む余裕がないから	0
自団体には関係ないと考えているから	0
その他 (SDGs は日本人が古来から行っていることであり、英語で表記されて、お祭りのように SDGs と言っている。常にもったいない精神で活動しているから)	1

【SDGs に取り組む際の課題】

(記載無し)

3. これからの尾張旭市の環境政策について

問 13 尾張旭市環境基本計画では、望ましい環境像『環境を考え、ともにつくる、私たちのまち』の実現のために、5つの分野別目標を設定しています。それぞれの分野別目標の重要度をどのように考えますか。【単数回答】

尾張旭市環境基本計画における5つの分野別目標の重要度については、「学び広げるまちづくり」を「重要」と考える団体が最も多くみられます。

	選択肢と回答数				
	重要	やや重要	どちらともいえない	やや重要ではない	重要ではない
1. 学び広げるまちづくり (環境教育・環境保全活動・環境情報)	5	0	0	0	0
2. ごみのないまちづくり (ごみの減量・資源化・適正処理)	4	3	0	0	0
3. 地域で地球を考えるまちづくり (省エネ、再生可能エネルギー、地球温暖化対策)	3	1	1	0	0
4. 自然とふれあうまちづくり (緑と水辺の保全・緑化・生物多様性保全)	3	2	0	1	0
5. 暮らしやすい快適なまちづくり (生活環境の保全・環境美化)	3	2	0	1	0

問 14 今後、尾張旭市と協働した活動を行う場合、どのような形で取り組むことが可能だと考えますか。【複数回答】

今後の尾張旭市と協働した活動の形については、「環境イベントの開催や支援」「市の実施するアンケート等への回答」が最も多くなっています。

選択肢	回答数
環境イベントの開催や支援（例：こども向け環境教室の企画・運営での協働）	6
市の実施するアンケート等への回答（例：環境基本計画策定時のアンケート調査回答）	6
貴団体が保有する知識や技能の提供（例：市ホームページに載せる専門知識のご提供）	3
市が主催する講習会やイベントへの講師の派遣（例：水生生物調査での解説者の派遣）	2
その他（独自イベントで「もったいない」を発信する、生物多様性保全のために里山を守る取組（協議会などの開催を共同で行う）、保育園の5歳児を中心とした教育・小学校4年生を中心とした教育（環境と歴史）・SDGs 4の教育の質の向上・ゆとり教育から生きる力の教育・私たちはこれらを中心に子どもたちに人の品格はどうしたら可能になるのかを教育している）	3

4. 今後実施すべき環境保全のための施策について

問 15 尾張旭市の環境において、優れている点や劣っている点は何だと思えますか。また、今後尾張旭市で実施すべき環境保全施策などがありましたら、自由にご記入ください。

【記述回答】

優れている点は、緑と住環境が調和している、公園都市、劣っている点は、市民への啓発、池の中の改善に消極的、市街地から矢田川へ流れる小河川に親水性が無く下水化、近隣市町村より遅れていると感じる環境保全施策など、今後実施すべき環境保全施策については、市内の里山を守る取組、声を聞きディスカッションする場、有償（ポイント付与可）の環境活動、脱炭素に向けた施策の策定と周知、小河川に親水性を持たせ小魚の復活、などの意見があがっています。

※主な記述内容

①優れている点

- ・公園都市
- ・緑と住環境が調和している。

②劣っている点

- ・森林公園や県有林に緑地の多くを頼り、危機感がないため、環境保全施策が近隣の市町村より遅れてしまった。
- ・池の中の改善に消極的である。
- ・市民への啓発活動。
- ・市街地から矢田川へ流れる小河川に親水性がなく、下水化し、魚がいない。

③今後実施すべき環境保全施策

- ・環境については、議論をしながら、生の声を聞かないと良い意見は出てこないと思う。むしろ、市のことであるならば、必ずディスカッションをして時間をかけるべきだと思う。
- ・市民の心身の健康を守り、暮らしやすい快適なまちづくりの重要課題として、市内の里山を守る取組を具体的に始める時である（山辺の散歩道周辺の里山）。
- ・市民を巻き込んだ環境活動を有償で行う。ポイント制も可。ボランティアでは参加が限られる。
- ・脱炭素社会に向け、政府は本腰を入れている。このような中、自治体に要求される施策の重要度はますます高くなる。そこで尾張旭市は具体的に脱炭素社会に向けた方針や施策の策定が急務。早期に市民に提示し周知することが大切です。そして市民と協働して大きな目標達成への工程を示すことが重要。
- ・市内排水、小河川に親水性を。水質浄化をもっと進め、小魚の復活と親水区間を設ける。